

釧路湿原ガイド

ganbo

正 誤 表

の部分

テーマリスト・行	誤	正
表紙77・上から3行目	基 礎	基 盤
A-19・上から5行目	良 則	良 範
B-3・上から4行目	[133 (	[113 (
C-9・表上から8枠目	エンコンソウ	エンコウソウ
C-10・表上から3枠目	ユキサギ	ユキザサ
C-1077・図の説明	全 緑	全 緑
C-1177・右下の説明	3枚の (内花被)	3枚の花びら (内花被)
C-17・下から2行目	チセの知恵	「チセの知恵
C-1777・下から1行目	ヘベレセットの	ヘベレセツとの
D-33・下から1行目	うすいクリー色で	うすいクリーム色で
D-35・下	空欄に挿入	天然記念物に指定し保護に努めています。
E-177・上から9行目	雪の上に	氷の上に
E-177・上から10行目	凍りが割れて	氷が割れて
E-9・上から4行目	気がつくと思い	気がつくと思い
F-1・下から4行目	「何とも彼とも	「何ともかんとも
F-2・上から5行目	未 開 明	未 解 明
F-4・上から4行目	白 糖	白 糖
G-1177・表上から2枠目	(赤沼町)	(赤沼南)
G-18・表目録協定5枠目	グンカンドエ	グンカンドリ

釧路湿原国立公園

自 然 解 説 マ ニ ュ ア ル



平成元年 3 月
環境庁釧路湿原国立公園管理事務所

釧路湿原国立公園の自然解説マニュアル

このマニュアルは、釧路湿原国立公園において自然解説活動を行うに際して必要な基礎的情報を収録したものです。

昭和63年度、釧路湿原国立公園管理事務所がパークボランティア活動基礎整備事業の一環として開講したボランティア養成講座を受講された方々が協力し合って作成しました。

★ このマニュアルの使い方

④ マニュアルは、目次のように、A～Gまで7つの分野に別けています。

カード式にしたのは、コースや場所、季節によって使いやすいうように編集したり、新しいテーマを追加したり、また、データを更新したりすることができるようにと考えたためです。例えば、市販のB6版情報カードなどを使って、より実際に役立つマニュアルに育てて頂きたいと思います。

④ カードの裏に図や表などをつけましたが、例えば、マーカーペンで着色したり、写真を貼るなどの工夫をお願いします。

④ 実際にフィールドで使うカードの場合は、上のような工夫をした後、カード1枚ごとにラミネート加工をすると防水性、耐久性、利便性が増します。

平成元年3月

釧路湿原国立公園管理事務所

このマニュアル作成にあたって、財団法人・前田一步園財団及び釧路湿原関係市町村連絡協議会の助成を頂きました。

釧路湿原国立公園の自然解説マニュアル

このマニュアルは、釧路湿原国立公園において自然解説活動を行うに際して必要な基礎的情報を収録したものです。

昭和63年度、釧路湿原国立公園管理事務所がパークボランティア活動基礎整備事業の一環として開講したボランティア養成講座を受講された方々が協力し合って作成しました。

★ このマニュアルの使い方

④ マニュアルは、目次のように、A～Gまで7つの分野に別けています。

カード式にしたのは、コースや場所、季節によって使いやすいうように編集したり、新しいテーマを追加したり、また、データを更新したりすることができるようにと考えたためです。例えば、市販のB6版情報カードなどを使って、より実際に役立つマニュアルに育てて頂きたいと思います。

④ カードの裏に図や表などをつけましたが、例えば、マーカーペンで着色したり、写真を貼るなどの工夫をお願いします。

④ 実際にフィールドで使うカードの場合は、上のような工夫をした後、カード1枚ごとにラミネート加工をすると防水性、耐久性、利便性が増します。

平成元年3月

釧路湿原国立公園管理事務所

このマニュアル作成にあたって、財団法人・前田一步園財団及び釧路湿原関係市町村連絡協議会の助成を頂きました。

釧路湿原自然解説コース



- ① 岩保木山と釧路川水門周辺
- ② 細岡展望台と達古武沼周辺
- ③ 塘路湖・サルボ・二本松展望地点
- ④ シラルトロ沼・茅沼「慈の家」周辺
- ⑤ コッタロ第1・第2展望地点
- ⑥ 宮島岬とキラコタン岬
- ⑦ タンチョウ給餌場（鶴見台・サンクチュアリ）
- ⑧ 温根内・赤沼周辺
- ⑨ 釧路湿原展望台と北斗展望台

釧路湿原国立公園自然解説テーマ・リスト

分野	No	タイトル
A 公園 利用 情報		【釧路湿原国立公園交通事情】
	1	概況
	2	道路情報
	3	J R 釧網本線を利用して①
	4	②
	5	バスを利用して
	6	…その他の交通手段
	7	釧路川堤防の利用について
		【湿原展望地ミニガイド】
	8	①岩保木山・岩保木水門周辺
	9	②細岡・達古武沼周辺
	10	③塘路湖・サルボ沼周辺
	11	④シラルトロ沼周辺
	12	⑤コッタロ湿原周辺
	13	⑥キラコタン岬周辺
	14	⑦宮島岬周辺
	15	⑧北斗・温根内周辺（その1）
	16	（その2）
	17	細岡展望台からの鳥瞰
	18	野営場（キャンプ場）情報 （裏：公園周辺の宿泊、休憩施設）
	19	公園内外の行事やお祭り

分野	No	タイトル
A		（裏：市町村の人口・味・見どころ）
	20	タンチョウの給餌場情報（その1）
	21	（その2）
	22	（その3）
B 地形・地質		（裏：丹頂鶴自然公園）
	1	釧路湿原の生い立ち
	2	釧路湿原のまわりには多くの遺跡がある（裏： 湿原の先史時代年表）
		【釧路川】
	3	①概況（裏：釧路川水系縦断面図）
	4	②釧路川水系とその流域
	5	③大正9年の大洪水
	6	④釧路川の治水（その1）
	7	（その2）
C 植物	8	湿原の種・谷地眼
	9	海跡湖
	1	湿原には3つのタイプがある
	2	ヨシとスゲ（湿原の主役？脇役？）
	3	ヨシとスゲの観察
	4	ミズゴケ湿原（その発達率は年1ミリ）
	5	湿原景観の演出家—ハンノキ林

分野	No	タ イ ト ル
C	6	湖沼に生活する植物（水草）
	7	マリモの種類と生育地
	8	湿原周辺で見られる樹木は約30種
	9	釧路湿原の花暦①
	10	釧路湿原の花暦②
	11	釧路湿原の花暦③
	12	谷地（野地）坊主はどうしてつくられる
	13	湿原の植物と人間 （湿原の植物生産性と北方民族の知恵①）
	14	湿原の植物と人間 （湿原の植物生産性と北方民族の知恵②）
	15	湿原と人間社会のかかわり （湿原の機能と利用①②）
	16	アイヌ民族における有用植物①②
	17	ヨシはアイヌ民族の大事な建築用材
	18	ヒシの実・ベカンベ
	19	ノリウツギ（繻空木） …北海道ではサビタ
	20	マコモの実の野性のこめ（ワイルドライス）
動物	1	釧路湿原の動物相
	2	釧路湿原の哺乳類
	3	エゾシカの生活

分野	No	タ イ ト ル
D	4	湿原のエゾシカ
	5	リス（齧歯目・リス科の小型哺乳類） 【湿原周辺で見られる鳥の特徴】
	6	森林・高山の鳥①
	7	森林・高山の鳥②
	8	原野、低木林の鳥①
	9	原野、低木林の鳥②
	10	河川、湖沼の鳥
	11	田園、都会の鳥
	12	釧路湿原とその周辺で見られる主な野鳥①②
	13	タンチョウの生活①
	14	タンチョウの生活②
	15	タンチョウの生活③
	16	タンチョウの生活④
	17	タンチョウの生活⑤
	18	タンチョウの保護増殖事業
	19	タンチョウの給餌場の条件
	20	タンチョウの被害と事故
	21	タンチョウの小史①
	22	タンチョウの小史②
	23	釧路湿原で見られるワシ・タカ類
	24	シマフクロウ （亜種名「エゾシマフクロウ」は神の鳥）

分野	No	タ イ ト ル
歴史・民俗	25	日本に渡来するハクチョウ （裏：伝説に由来する「白鳥」の話）
	26	渡りのチャンピオン「オオジシギ」 （裏：私はサギの仲間「アオサギ」）
	27	動物たちのメッセージ（足跡）
	28	おしゃれな旅人（カモ類）
	29	森の中は住宅難（巣穴）
	30	動物たちの食事あと（食痕）
	31	釧路湿原にすむ魚
	32	湿原の主「イトウ」
	33	湿原のホタル
	34	トンボー釧路湿原は日本で貴重な生息地ー
	35	釧路湿原だけにすむ「キタサンショウウオ」
気象・天文	1	釧路地方1年の気象の移り変わり
	2	釧路湿原を作った気候
	3	釧路はなぜ霧が多い
	4	湿原おろし
	5	天気当てー観天望気とはー
	6	釧路地方のお天気・一口メモ
	7	塘路湖の御神渡り
	8	スター・ウォッチングと星座
	9	四季の星座

分野	No	タ イ ト ル
歴史・民俗	1	開拓夜話(1)・鳥取土族
	2	開拓夜話(2)・貫誠社 （裏：釧路川を五十石船が行くー地名の話ー）
	3	塘路湖のベカンベ祭り
	4	アイヌ民話ー釧路湿原に鯨がいたー （裏：アイヌ民話ー湿原と丹頂ー）
	5	アイヌ民話ー遠矢のチャシとタンチョウブルー （裏：アイヌ民話ーオオジシギ・白糠に伝わる神話ー）
	6	アイヌ民話ー蚊の長老の娘とアイヌの英雄ー
	7	アイヌ語ー地名の話ー （裏：アイヌ語ー地名に出てくる主な単語ー）
	8	アイヌ語ー地名の解釈ー①
	9	アイヌ語ー地名の解釈ー②
自然保護行政	1	日本の自然保護制度
	2	日本の自然公園制度の歴史 （裏：国立公園一覧）
	3	日本の自然公園制度 （裏：国定公園一覧）
	4	世界の国立公園（裏：世界の国立公園と日本の国立公園）
	5	釧路湿原国立公園の誕生まで

分野	No	タ イ ト ル
G	6	釧路湿原国立公園 【自然公園の保護と利用】
	7	①保護のための規制
	8	②保護のための開発規制 (裏：道立自然公園一覧)
	9	③保護のための費用負担
	10	④自然公園の利用
	11	⑤利用のための施設等の整備
	12	国設・釧路湿原鳥獣保護区
	13	天然記念物・釧路湿原
	14	野性動植物保護と国際協力
	15	ラムサール条約①
	16	ラムサール条約②
	17	渡り鳥保護の国際協力
	18	渡り鳥保護条約
	19	ワシントン条約って何
	20	昭和60年釧路湿原の火災
	21	釧路湿原の水利用
	22	8月第一日曜日は 「自然公園クリーンデー」
	23	自然解説の目的と考え方 (裏：自然解説の心得)
	24	自然解説(観察)の実際

A-1 【釧路湿原国立公園交通事情】 ... 概況

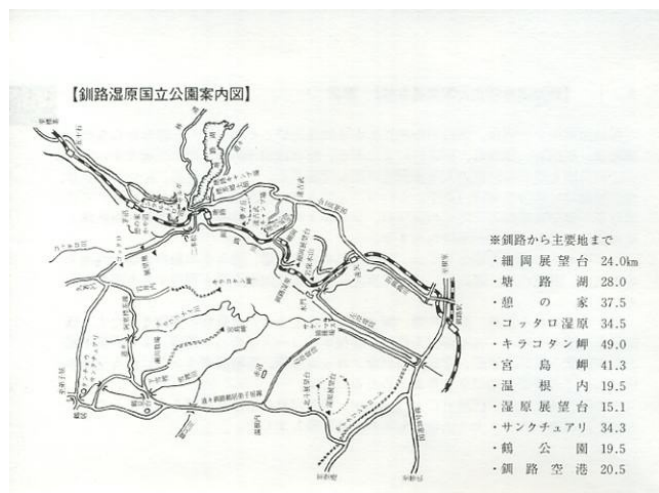
釧路湿原国立公園は、釧路市の北に広がる釧路湿原とその周辺の丘陵地からなり、釧路市、釧路町、標茶町、鶴井村にまたがる、総面積26,861ヘクタールの国立公園です。

この公園を訪れる一般の人々が到達可能な探勝ポイント、興味地点、いいかえれば、自然解説に好都合な場所（以下、このマニュアルでは観察ポイントという）としては、湿原を一望できる周辺丘陵地の展望台、シラルトロ沼、塘路湖、達古武沼の海跡湖とその周辺の野営場などが挙げられます。

それぞれへの到達方法としては、湿原周辺を走る国道、道道その他の道路を利用する方法と、湿原の東、釧路川に沿って南北に走るJR釧網本線を利用する方法などがあります。

以下は、これら道路、鉄道その他、国立公園に指定された後新たに開設されたJR釧路駅前発湿原一周コースや細岡大望を往復するコース等のバス路線、JR釧網本線の新季節駅、釧路湿原駅、湿原探勝列車ノロッコ号など、各解説ポイントに至る交通事情についての必要な情報をとりまとめたものです。

その他、国立公園の区域外にありますが、釧路湿原の象徴ともいうべきタンチョウの冬の給餌場へのアクセス情報をあわせて記載しました。



釧路湿原国立公園の公園の利用に関連する道路状況は裏面の道路概況図参照。

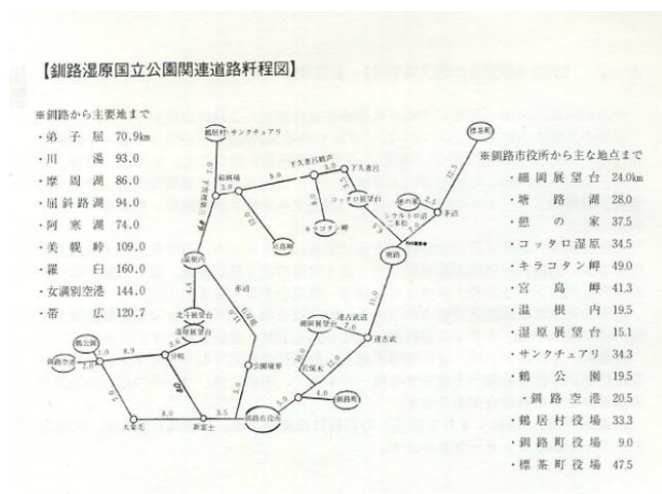
湿原の東側の各観察ポイントへは、いずれも国道391号線から分岐する道々や釧路町、標茶町の町道等を利用します。 国道391号線では釧路市を起点とし、弟子屈、川湯、野上峠、小清水を経由して網走市に至る国道です。 岩保木水門、細岡展望台、サルゴ展望台、塘路湖、シラルトロ沼などへはこの国道から分岐する釧路町、標茶町の町道を利用します。

湿原西側は、湿原に沿って丘陵部をほぼ南北に走る道々、釧路鶴居弟子屈線を利用します。沿線には釧路市湿原展望台、道道付帯の北斗展望園地、国立公園を出外れてからは渡部トメさんのタンチョウ給餌場・鶴見台があります。

湿原の東西を最短距離で結ぶのは道道・阿寒標茶線、同・クチヨロ原野塘路線です。阿寒標茶線の一部、クチヨロ原野塘路線は全線未舗装。運転注意です。

宮島岬、キラコタン岬へは阿寒標茶線から鶴居村の村道で取りつきます。 クチヨロ原野塘路線は国立公園内を横断する唯一の車道で、沿線には、コッタロ湿原の眺望が優れるコッタロ展望台があります。

国道240号線（通称・まりも国道）の沿線には釧路空港、丹頂鶴自然公園、阿寒町タンチョウ観察センターがあります。



A-3 【釧路湿原国立公園交通事情】・・・JR釧網本線を利用して①

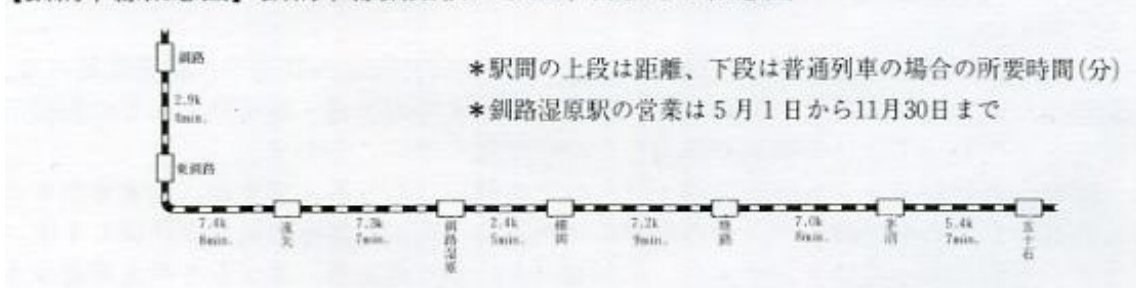
JR釧網本線は、釧路市から網走市に通ずる全長約170kmの鉄道で、釧路湿原の東、釧路川に沿ってほぼ南北に縦断しています。それまでの交通・輸送路としての釧路川にとって代わって、この鉄道が全通したのは昭和6年のことです。

湿原の各観察ポイントへの交通手段としての利用はもちろんですが、列車そのものも全校の自然観察手段です。その車窓には釧路川と広大な湿原の風景が展開します。また、季節によってはタンチョウ、オジロワシ、多くの水鳥、エゾシカやキタキツネなどの野生動物が多くみられます。多くの人に紹介したい利用方法だと思います。

列車は1日8往復、ほぼ2時間に1本の割合で運行されています。ダイヤが改定されるごとに時刻表のコピーをこのカードに添付しておくとう便利でしょう。

各観察ポイントへの最寄駅となるのは「遠矢」、「釧路湿原」「細岡」、「塘路」、「茅沼」「五十石」の各駅ですが、釧路湿原国立公園指定を契機に昭和63年新設された季節駅「釧路湿原駅」は細岡展望台への最寄駅、茅沼駅はタンチョウの来る駅として知られています。また、遠く明治年間、釧路川を曳舟によって漕いだ五十石船の運航限界点がこの地であったことからつけられた地名「五十石」が駅名として残っています。

【釧網本線概念図】 釧網本線釧路駅から五十石までの概念図



ノロッコ号

釧路湿原を探勝するために1日2往復運航される季節列車です。釧路駅と塘路駅間を普通列車のおよそ半分のスピードで走ります。運行期間は6月下旬から7月中旬までは土曜、日曜、7月中旬から8月中旬は毎日、8月下旬は土曜・日曜、9月も、1往復になりますが、15日の敬老の日までの休日に運転されます。その年の情報を入手しておくとう便利かと思います。（問合せは釧路駅へ：TEL0154-22-4314）

A-4 【釧路湿原国立公園交通事情】・・・JR釧網本線を利用して・・・②

☆観察ポイントと最寄駅

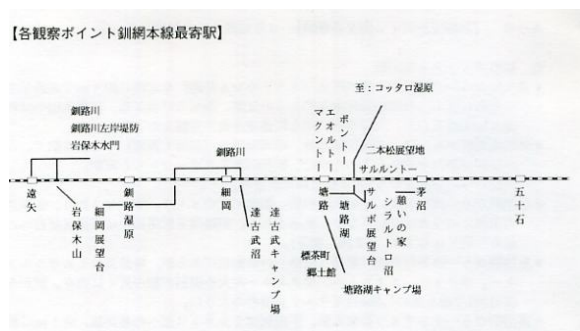
*遠矢駅から・・・この駅から釧路町道（トリトウシ4号線）を北西に約4kmで釧路川左岸堤防に至る。新旧の岩保木水門もこの位置。 湿原の好展望地、岩保木山へや町道2km手前を右折、丘陵地帯に上る町道達古武7号線をたどる

*釧路湿原駅から・・・随一の湿原展望地、細岡展望台（細岡大観望）への最寄駅で、この細岡展望台を訪れる人のために、昭和63年7月オープンした新駅。 駅前からの急坂を上り300m程で細岡展望台。

*細岡駅から・・・達古武沼に至近距離の駅。釧路川でのイトウ、アメマス釣り、冬季達古武沼でのワカサギ釣りなどに利用される。 釧路湿原駅閉鎖中は細岡展望台への最寄駅となります。（2km、30分）

*塘路駅から・・・標茶町南端の集落「塘路」の市街地にある駅。塘路湖はじめサルルントー、ポントー、エオルトー、マクントーの大小湖沼が駅の近くに点在。駅から国道391号線を北に1.5km程でサルボ展望台の入り口。

*茅沼駅から・・・タンチヨウの来る駅、茅沼駅はシラルトロ沼への最寄駅。 南1kmに標茶町立の温泉宿舎「憩いの家・かやぬま」があり、ここを起終点とするサイクリングロードの先端から塘路までの歩道（木道）が整備されつつある。



釧網本線は、釧路湿原国立公園の他阿寒国立公園、網走国定公園を通して網走に至る、優れた自然探勝路線です。 また、知床国立公園への交通手段でもあります。

A-5 【釧路湿原国立公園交通事情】...バスを利用して

☆ 各観察ポイントへの到達手段として利用できる定期バス路線

＊釧路駅前発川湯温泉行き（阿寒バス）…釧路市失言展望台、鶴見台を経由する。

釧路市湿原展望台までは所要時間32分です。

夏季には一日10往復程度が運行されるが、季節により、平日、土日、祝祭日の別により、時刻、便数が異なるので常に新情報を入手しておきたい。

＊釧路駅前発阿寒湖畔、美幌駅行き（阿寒バス）…丹頂鶴自然公園、阿寒町タンチョウ観察センター（丹頂の里）を経由する。

＊釧路湿原一周号（阿寒バス）…釧路駅前発、釧路市湿原展望台、コッタロ展望台、細岡展望台を経由して釧路湿原を3時間35分で一周する予約制の季節定期刊行バス。4月29日から10月10日まで運行。

＊細岡展望台観光バス（くしろバス）…愛称「サルルンカムイ号」。季節定期観光バス。釧路駅前発の後、市内の東映、オリエンタル、ノースシティ、パシフィック、キャッスルの各ホテルでお客さんをピックアップ、細岡展望台を往復します。所用時間は2時間10分～2時間20分、細岡展望台では45分～50分の探勝時間があります。（便によって時間差があります）。予約制。6月上旬から10月中旬まで運行。1日3便。

定期バスに関する問い合わせは

阿寒バス(株)……0154-37-2221

釧路バス(株)……0154-22-7155

〔釧路湿原一周号（阿寒バス）〕 4/19～10～10運行（平成2年）

釧路駅発→湿原展望台→コッタロ展望台→細岡展望台→釧路駅着

9:00……………12:35（6/17）

13:20……………16:55

（9:00発は6月17日から運転。大人2050円、子供1030円、展望台入館料は別途）

〔細岡展望台観光・サルルンカムイ号〕 6/1～10/10運行

釧路駅前発→展望台着

8:30……………9:10（45'）

11:00……………11:40（50'）

14:30……………15:10（50'）

展望台発→釧路駅前

9:50……………10:40

12:30.....13:15

16:00.....16:50

（市内の東映、オリエンタル、ノースシティ、パソフィック、キャッスルの各ホテル巡回乗降。
大人1000円、子供500円）

A-6 【釧路湿原国立公園交通事情】...その他の交通手段

①タクシー、レンタカーの利用。

釧路市内からタクシー、ハイヤーを利用した各観察ポイントへのおおよその料金の目安を以下に掲げましたが、その他釧路市湿原展望台、丹頂鶴自然公園を含めたタクシー観光ルートも設定されている。大型、中型、小型車の別やコースによっても料金が異なるので、釧路ハイヤー協会や釧路個人タクシー協同組合（Tel…下記）、あるいは各タクシー会社に問い合わせたり、相談すると良いでしょう。

- ・ 釧路市湿原展望台（往復）…6,500円
- ・ 細岡展望台（往復）…8,500円
- ・ 鶴見台（片道）…5,500円
- ・ 茅沼憩の家（片道）…8,000円
- ・ 鶴居市街（片道）…6,000円

レンタカーについては釧路市内や釧路公園に複数の営業所があります。電話番号のメモを作ったり、パンフレットを入手しておきましょう。

釧路ハイヤー協会	0154-52-1331
釧路個人タクシー協同組合	0154-22-3156

②空の玄関、海の玄関。

☆ 釧路湿原国立公園のいわば空の玄関、釧路空港の発着便。

釧路—東京 全日空（ANA）と日本エアシステム（JAS）が就航。

所要時間は90分～105分、一日5往復。

釧路—札幌（千歳） 日本エアシステムが就航。

所要時間は45分、一日4往復。

釧路—札幌（丘珠） エアーニッポン（ANK）が就航。

所要時間は65分、一日2往復。

＊いずれも発着時間や機種が臨時に変更になったりします。問い合わせは下記。

全日空（ANA） 0154-25-5678

日本エアシステム（JAS） 0154-22-3322

エアーニッポン（ANK） 0154-23-1166

☆ 釧路西港フェリーターミナルからのカーフェリー。

釧路―東京間 1,120kmを約30時間で結ぶカーフェリーが就航しています。

問い合わせは下記。

近海郵船釧路船客予約センター 0154-24-5134

釧路ターミナル事務所 0154-51-8261

A-7 【釧路湿原国立公園交通事情】...釧路川堤防の利用について

釧路川の左右岸に堤防が設けられた経緯については後述しますが（B-7 参照）、これは河川施設であり釧路開発建設部が管理し、嵩上げ工事が行われており、一般者の侵入は禁止です。

戦前、釧路と鶴居を結ぶ交通手段は専ら軌道利用でしたが、戦後、この堤防を利用して、釧路・中雪裡（鶴居市街地）間に阿寒バスが定期バス路線を開設し、一般車輛も通行していました。しかし、この堤防道路は、昭和27年十勝沖地震の際、陥没するなどの大被害を受け、バスは北斗経由の山道を遠回りすることになりました。災害復旧の後も地盤が不安定なため維持費がかさみ、道路としての利用が難しいことから、北斗経由の山道を道々に昇格させて改良工事を進め、昭和31年完成とともにバス路線はこの新しい道々に変わりました。それ以来、この堤防は交通路としての役目を終え、専ら本来の堤防として管理されています。

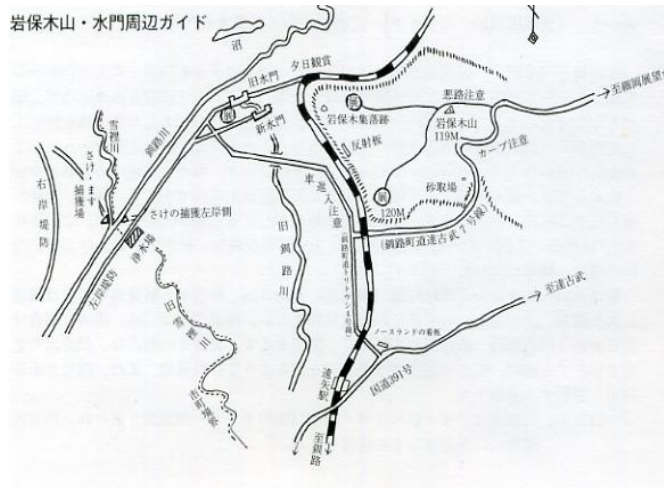
湿原体験のため利用する場合は徒歩、または自転車とし、かつ湿原内への立ち入りは避けるよう指導したい。

A-8 【湿原展望地ミニガイド】...①岩保木山・岩保木水門周辺

岩保木水門は、大正9年の釧路川洪水を契機に翌大正10年から実施された治水事業、釧路川の分流・直線化工事の一環として建設されたもので、昭和6年に完成しました。釧路川の木材流送に必要なため作られましたが、時を同じくして開通した釧網本線に木材運搬の主役を譲り、この水門は完成以来開けられたことがないと言われます。水門につながる堤防の上に立つと、豊かな釧路川の流れを介して広がる湿原、遠く阿寒連山を望み、広大な釧路湿原が実感できます。特に、初秋の落日風景は圧巻。最近はカヌー下りの到達地点としても利用されています。この堤防を2.5km程南、下流方向へ行くとサケ・マス捕獲場があり、秋から冬にかけて約15万匹の捕獲、採卵がおこなわれています。

岩保木山へは遠矢から釧路町道（砂利道）を約5km。町道から展望地への道は複雑に入り組み、路面も無いので車での侵入は控えたい。好展望地は二点。南寄りの点は湿原南部と旧釧路川、釧路市街を眼下に一望できます。北寄りの地点は、釧路川の蛇行と点在する池沼、広がる湿原が空撮写真を見るような好展望地。また、湿原を走る列車を撮影する適地とか。

[一口メモ] 岩保木はアイヌ語のイワ・ポキ（山の下・下）が語源と言われ、周辺丘陵地には集落跡などの遺跡もある。



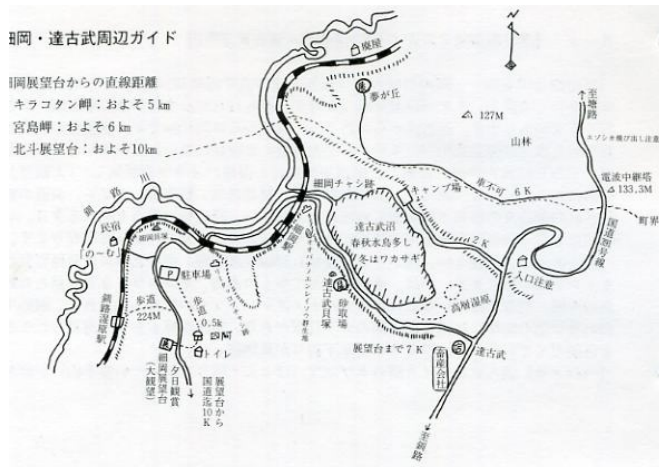
A-9 【湿原展望地ミニガイド】...②細岡・達古武沼周辺

細岡展望台へは遠矢と達古武で国道391号線から分岐する釧路町道に行く方法と、JR釧路湿原駅（5月1日から11月30日まで営業の季節駅）から行く方法があります。 達古武からは約7km、遠矢からは約10kmです。 展望台の整備されている地点は国立公園指定以前から「大観望」と呼ばれ知られていました。 釧路湿原の東側丘陵地の中央に位置し、釧路川の蛇行と湿原パノラマが展開し、「大観望」の名にふさわしい展望地です。 公園指定の後、展望園地、駐車場、トイレ、歩道が整備され四季折々の湿原景観が楽しめ訪れる人も多い。 特に秋の湿原を染める夕日、早朝湿原を覆う神秘的な朝もやの時期にはアマチュアカメラマンのメッカとなります。

達古武沼は、周囲5km、深さ3m、面積1.36平方キロメートルの海跡湖。 沼の北岸には釧路町営のキャンプ場があります。 沼は、季節によって多くの水鳥、オジロワシなどがみられ野鳥の楽園。 周辺道路沿いなどにはオオバナノエンレイソウの群落も見られる。 釧路川沿い及び沼の南岸には縄文前中期のカキ貝塚があり、釧路湿原がかつて海だったことを証拠立てている。

冬、ワカサギの氷下釣りが風物詩。

[一口メモ] 達古武（たつこぶ）はアイヌ語のタプコプ（ぽこんと盛り上がっている小山）が語源。

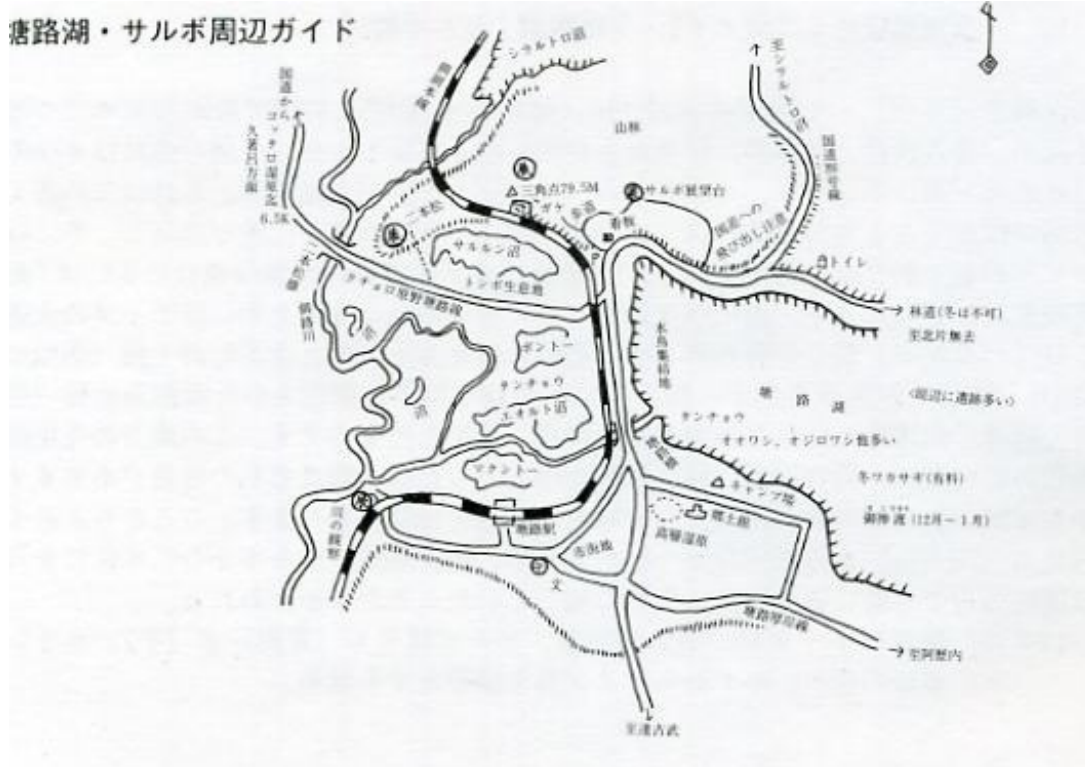


A-10 【湿原展望地ミニガイド】 ...③塘路湖・サルボ周辺周辺

塘路湖は周囲18km、深さ7MCフーズ、面積6.37平方キロメートルで釧路湿原の三つの海跡湖沼（達古武沼、塘路湖、シラルトロ沼）のうち最も大きい。湖の西には4つの沼（サルルン沼、ポントー、エオルト沼、マクントー）が点在する。水鳥はじめ多くの野鳥が観察できる地域です。湖にはフナ、コイ、ヤチウグイ、等が生息し、冬にはワカサギの氷下釣りができます（有料）。また12月下旬湖面の結氷が進むときには「御神渡現象」が見られます。湖にペカンペ（菱の実）の実る9月上旬にはアイヌの人たちにより「ペカンペ」祭りが行われます。湖畔にはキャンプ場と標茶町郷土館（開館は5～10月、無料）がありますが、郷土館は明治18年標茶に開設された釧路集治監（刑務所の前身）の建物を昭和44年現在地に移設、復元したものです。この地方の先史時代からの歴史資料、動物標本、特に蛾類を中心とした展示物は必見の価値があります。

サルボ展望台は湖の北、国道から分岐する歩道を10分程登ります。ここからと近くの三角点（79.5m）から湖沼群が一望できます。湖の周辺、サルボから二本松にかけては湿原周辺でも特に遺跡が多く生活に適していたことがうかがわれる。

（一口メモ） 塘路はト・オロ、沼の所の意、サルボはサル（葦原）ポ（子）、小さい葦原の意の、いずれもアイヌ語を語源とする地名。

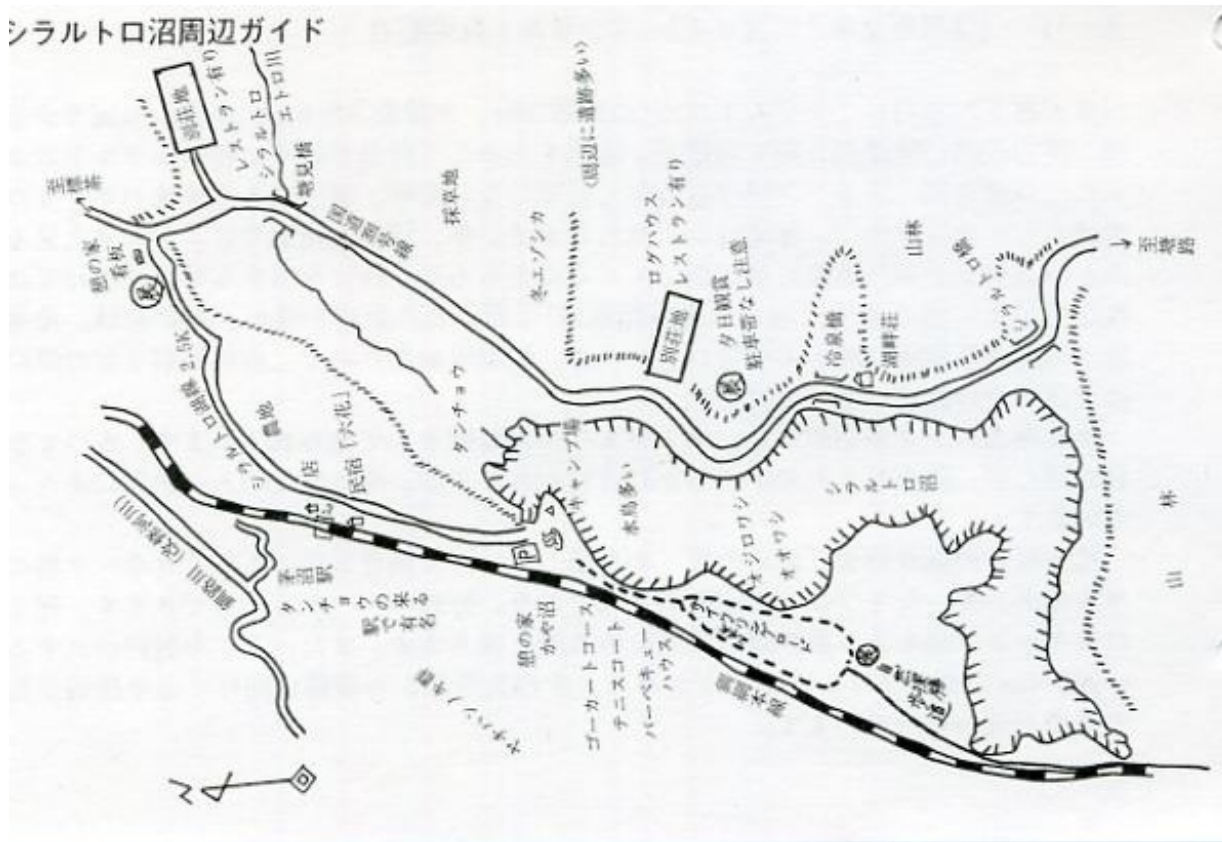


A-11 【湿原展望地ミニガイド】...④シラルトロ沼周辺

シラルトロ沼は周囲9.8km、水深最大2.8m、面積1.81平方メートルでかぎ型。 達古武沼、塘路湖と同じ海跡湖。 水鳥を主として野鳥が多く、特にシラルトロエトロ川の流入部、キャンプ場付近は冬も結氷しないため、渡ってきたオオハクチョウが越冬し、オジロワシ、オオワシもみられます。 冬、周辺丘陵地ではエゾシカを見ることがありますが、道路に飛び出してくることもあり、特に夕方から早朝にかけては要注意です。 沼の東岸に沿って走る国道391号線からの眺望が優れ、特に初秋、冷泉橋から眺める湖面に映える夕日は美しいが、駐車場がないので、自然観察などの際には交通安全の確認は不可欠です。

現在無人のJR茅沼駅は冬、タンチョウの来る駅として知られています。 かつて駅員がいた頃、餌を与えたのがきっかけと言われますが、今は地元の人が給餌にあたっています。

標茶町営の温泉宿舎「憩いの家・かや沼」では町で飼育している羊、サホーク朱のラムステーキ、シャブシャブが提供されており、野外バーベキューもできます。 近くにはキャンプ場もあり家族連れで楽しめる所といえます。 また、ここを起終点とする一周2.4kmのサイクリングロードがあり、その先端部から塘路に向けて湿原探勝歩道の整備が進められています。



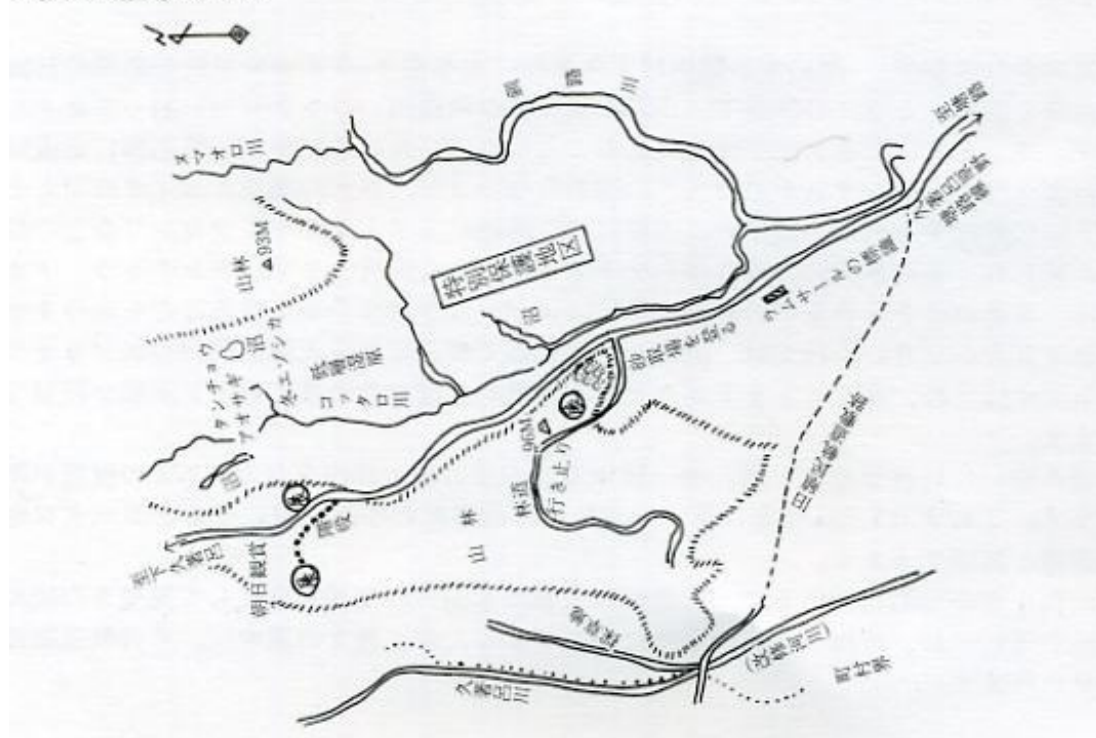
A-12 【湿原展望地ミニガイド】...⑤ コッタロ湿原周辺

塘路から鶴居村下久著呂に至る道々、クチヨロ原野塘路線約10kmは湿原を横断する唯一の車道で、二本松橋を渡り釧路川、コッタロ川に沿って北上します。コッタロはアイヌ語が語源であることに違いないのですが、地名解に定説はないようです。コッタロ湿原は人手の加わらないヨシ、スゲの湿原とコッタロ川とその支流の蛇行する河川が美しい。湿原には、池沼にミズドクサやミツガシワなどの群落が見られ、また氷河期の遺存種ハナタネツケバナも生育します。タンチョウ、アオサギ、オオハクチョウなどの野鳥、冬にはエゾシカを湿原の中で見ることもあります。また5月から9月にかけては、池沼やその周辺で標茶町指定天然記念物のエゾカオジロトンボはじめ、キタイトトンボなどの北海道特産種を含め多くのトンボ類が観察できます。

道々沿いに好展望地二箇所。第一展望地点では背後の砂山を登ると270°の展望が開けます。これより1.5kmほど北の第二展望地点は道路左の小高い丘に登るとコッタロ湿原全体が眺望できます。

昭和4年から昭和38年まで、塘路から久著呂方面への交通手段として馬曳きの殖民軌道が運行され、荷物や旅客の運搬に当たりましたが、道々の途中に、その軌道軌跡が見られます。

コッタロ湿原ガイド



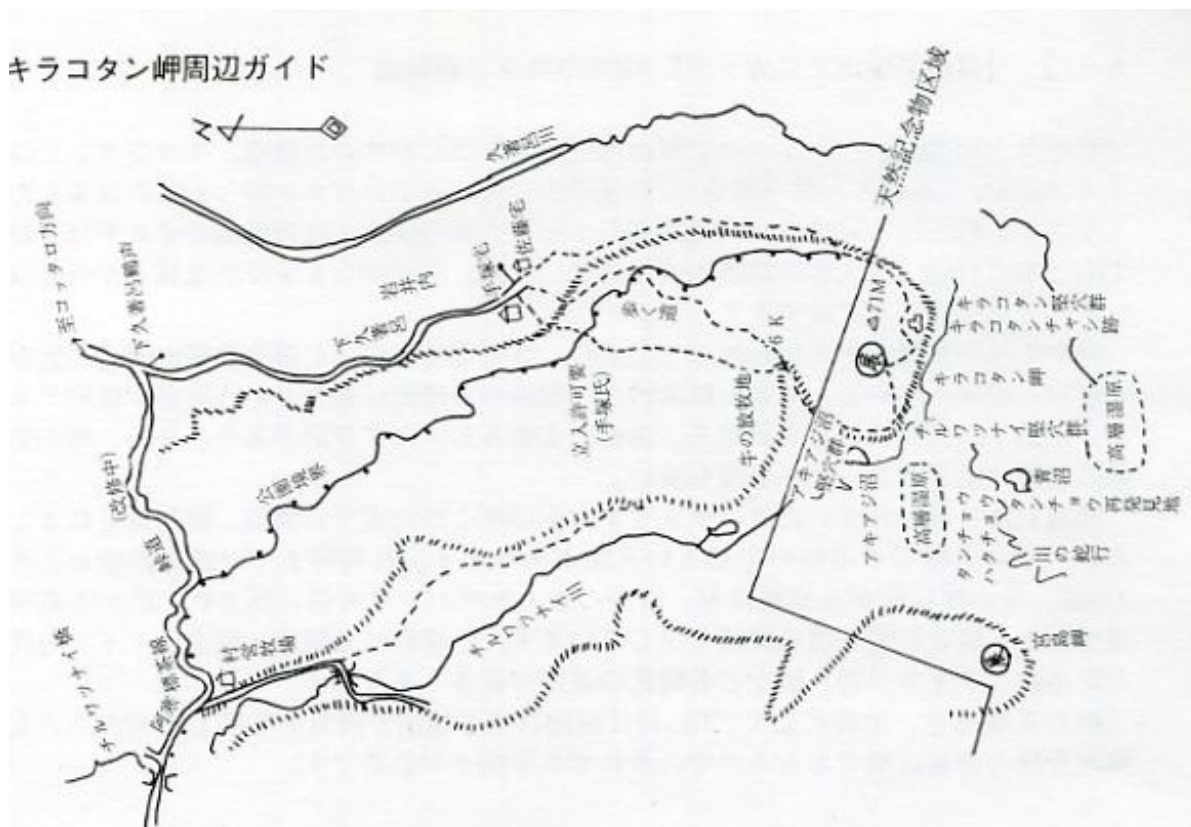
A-13 【湿原展望地ミニガイド】...⑥キラコタン岬周辺

キラコタン岬は湿原に突き出た岬状の丘陵地。キラコタンとはアイヌ語で、「逃げる・村（集落）」の意味で、昔はキラムコタン岬とも言われました。キラコタン岬へ行くには道々阿寒標茶線から下久著呂鶴声と村営牧場でそれぞれ分岐する二本の村道（下久著呂岩井内線と曙峰二号線）を利用しますが村道終点から先はいずれも車で行くことはできません。

岬からはチルワツナイ川の蛇行を正面に、高層湿原を交えた湿原模様が間近に広がり静寂な環境とあいまって最も原生的で、湿原の最深部に来たという実感が体験できる。正面1km程先には青沼が見え、西側にまわるとアキアジ沼があり、また、岬の先端の各所に湧き水があって冬も凍らない。

絶滅したとされていたタンチョウが大正13年この付近で10数羽、再発見されましたが、その意味でも湿原の聖域と言う感があります。宮島岬までは直線距離およそ2.5km、その間に広がる高層湿原、青沼の東、ヤチハンノキ群に囲まれて広がる高層湿原など、変化に富む湿原景観を呈しています。丘陵部には縄文・擦文、アイヌ時代の集落跡、チャシ（砦）跡など各時代の遺跡が数多くあります。

岬の最短部分、面積にして120ha程は釧路財務事務所が所管する国有地であり、天然記念物の指定区域でもあるので、それぞれ手続きが必要です。

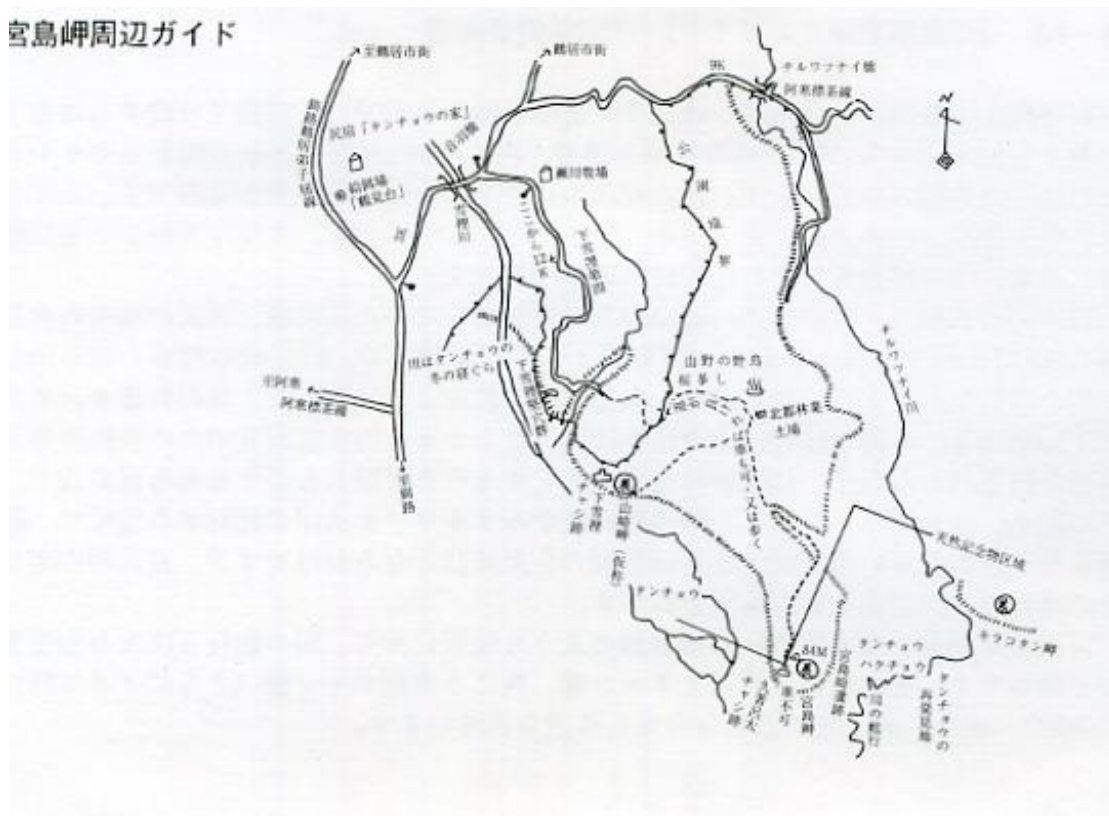


A-14 【湿原展望地ミニガイド】...⑦宮島岬岬周辺

宮島岬へは道々阿寒標茶線から鶴居村下雪裡で分岐する村道下雪裡1号線をたどります。瀬川牧場を過ぎ、約2.8kmの村道が終る頃からゆるやかな起伏の森林地帯を行います。湿原周辺の丘陵部では最も森の豊かなところす。ミズナラ、シラカバ、ハルニレ、センノキ、ハンノキ、エゾイタヤ、エゾヤマザクラ等30種程、灌木、つる植物も交えた広葉樹の天然生淋です。

宮島岬の名称は、大正3年、釧路で木材行を営んでいた宮島徳三郎氏が現在の宮島岬の山林120haを取得し、昭和30年前後までここに住んで、鉄道枕木原木の切り出しや馬の放牧をしていたところからそう呼ばれるようになったと言われます。また、大正13年10月、北海道庁の技手斎藤春治氏がタンチョウの生息調査のため陸路現地入りした際案内したのが、以前から自身もタンチョウを目撃したこともある宮島氏で、その結果、宮島岬とキラコタン岬の間に広がるチルワツナイ川の蛇行する湿原で、全滅したと思われていたタンチョウ10数羽の生息確認となるわけですが、宮島岬の名はそのときの功勞に由来するとも言われます。

宮島岬周辺ガイド



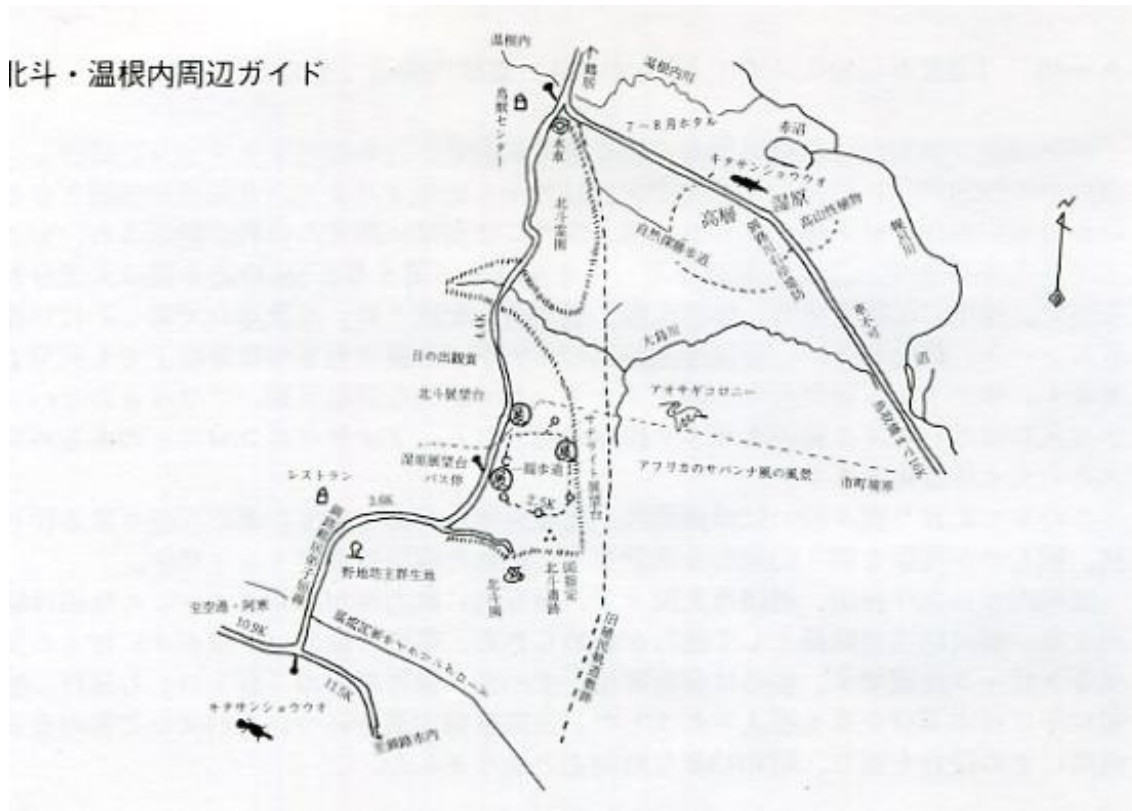
宮島岬は湿原に突き出たいわば出城のような位置にあり、川の蛇行と広大な湿原景観が絶景です。先端部に久著呂太チャシ跡、西に下雪裡チャシ跡（ともにアイヌ時代の遺跡）、また、縄文期の遺物包含地も確認されています。

A-15 【湿原展望地ミニガイド】...⑧北斗、温根内周辺（その1）

釧路市湿原展望台は釧路市出身の建築家毛綱毅曠が谷地坊主をモチーフに設計し、釧路市が昭和59年に建設したものです。11月から翌年4月までの月曜日が休館となるほかは年中無休。駐車場、トイレ完備。館内には湿原に関する資料が展示され、レストランもあります。ここを起終点として丘陵地を一周する2.5kmの遊歩道は大部分が木道で、途中につり橋もあり、休憩広場、展望台も配置され、家族連れで楽しむには絶好のコース。野鳥も多い。丘陵地先端部のサテライト展望台までは車椅子でも利用できます。サテライト展望台からはダイナミックで広大な湿原景観、アフリカのサバンナを思わせるハンノキハヤシ n モザイク模様が見どころ。アオサギのコロニーのあるハンノキの高木林もあります。

このすぐ北寄り道々沿いに路傍園地、北斗展望台があります。湿原に昇りくる朝日、秋、朝もやが湿原を覆う幻想的な風景など、優れた湿原鑑賞ポイントです。

温根内から北斗経由、釧路市北園まで、湿原内に軌道跡がります。この軌道は昭和4年、殖民軌道雪幌線として運行がはじめられた、専門の馭者（トロボイ）付きの馬曳きトロコ鉄道です。始めは荷物専用、その後、旅客専用の「客トロ」も運行、昭和17年には木炭自走車も導入されました。道路整備が進むにつれ、バスなど他の交通機関にその役目を譲り、昭和43年全面廃止となりました。



A-17 【細岡展望台からの鳥瞰】

細岡展望台のある位置は国立公園指定前から「大観望」と呼ばれ、湿原ファンは今もそう呼んでいます。

ここは標高56mの小高い丘ですが、釧路湿原東側の中央部にあたり、ほぼ湿原の全域と湿原を囲む丘陵部、スカイラインに台座する阿寒連山が眺望できる展望地として知られています。

景観の特徴は、釧路川の蛇行と湿原パノラマが絶景であり、四季折々の湿原模様が見られて、特に秋、湿原を染める夕日は美しく、夕方ともなるとアマチュアカメラマンが多数見られます。

四阿など展望施設のほか、駐車場あ、公衆便所、園路が整備され近くには季節改行（5月1日から10月31日）される釧路湿原駅があり、釧路市内から定期観光バス（春から秋まで）も運行されています。

展望台から対岸に見える主要な地点までのおおよその直線距離は次の通りです。

キラコタン岬...5km 宮島岬...6k 釧路湿原展望台...10.5km 温根内...10km 煙筒（本州製紙）...17km

細岡展望台鳥瞰図



A-18 【野営場（キャンプ場）情報】

名称- 所在地- 管理者名- 電話- 収容人員・施設等- 位置-

達古武キャンプ場 釧路町達古武 釧路町役場 0154-62-2111 200人 無料 炊事場 トイレ
達古武沼北部にあり、国道391号線を細岡駅入り口標識を過ぎ、約1.2km、達古武キャンプ場入り口の標識より左折
約2.0km

塘路湖キャンプ場 標茶町塘路 標茶町役場 01548-5-2111 200人 無料 炊事場 トイレ
JR塘路駅より徒歩約15分、標茶町郷土館前を過ぎると湖畔近くに 있습니다。国道391号からは達古武峠を過ぎ、しばらく行くと信号機のある交差点より先方300mより左折する。

シラルトロ沼キャンプ場 標茶町茅沼 標茶町役場 01548-5-2111 200人 無料 炊事場 トイレ
JR茅沼駅より徒歩約20分、シラルトロ沼岸边にあり近くに「いこいの家かや沼」もあり宿泊もできる。温泉、サイクリング

つるいキャンプ場 鶴居村雪裡原野 鶴居村教育委員会 0154-64-2250 200人 無料 炊事場
トイレ 釧路駅バスターミナルより、川湯、鶴居行きバス利用約1時間。マイカーは道々284号で役0分。鶴居市街の信号機のある交差路より先方約600mの雪裡川の河川沿い。

【公園周辺の宿泊、休憩施設 宿泊・休憩・食事一覧表】

種別 - 所在地 - 名称 - 電話 - 宿泊食事つき - 休憩 - 食事
旅館、

標茶町茅沼 かやぬま温泉レストハウス 01548-7-2217 ○ - ○

標茶町茅沼 いこいの家かや沼 0154-7-2121 ○○○

鶴居村中雪裡本通58 泰都 0154-64-2012 ○--

鶴居村中雪裡本通58 たいと（レストラン） 0154-64-2823 --○

鶴居村雪裡原野 国民年金保養センターつるいグリーンパーク 0154-64-2221 ○○○

民宿

標茶町茅沼 六花 01548-7-2357 ○--

釧路町細岡 くしろ、の一む 0154-40-2135 ○--

鶴居村下雪裡鶴見台 丹頂の家 0154-64-2811 ○--

ユースホステル

釧路市鶴ヶ岱3-7-23 釧路ユースホステル 0154-41-1676 ○--

釧路市川北7-23 釧路まきばユースホステル 0154-23-0852

A-19 【公園内外の行事やお祭】

行事名 - 開催時期 - 開催場所 - 行事内容 - 主催者と問合せ先

鶴居村タンチョウフェスティバル 1月下旬 鶴居村各会場JR釧路駅からバス50分 お楽しみ抽選会、丹頂とモデル撮影会、鶴タコあげ大会、四輪バギーコーナー、その他 鶴居村実行委員会 商工観光課 01548-64-2111

標茶町冬まつり 2月下旬 標茶町JR標茶駅から会場まで無料バス有 氷上人間ばんば大会、氷上ゴーカート大会 スノーモビル試乗会、宝探し、抽選会、ボブスレー他 標茶町商工観光課 01548-5-2111

シラルトロ湖湖畔びらき 5月中旬 標茶町 シラルトロ沼JR茅沼駅から徒歩20分 地引網、宝探し、サイクリング、ゴーカート大会 鯉、うなぎのつかみどり他 標茶町商工観光課 01548-5-2111

ベカンベまつり 9月 塘路湖畔JR塘路駅から徒歩10分 ヒシの実（ベカンベ）の感謝祭 実行委員会 土佐良則 01548-7-2001

わかさぎまつり 9月下旬 塘路湖畔JR塘路駅から徒歩10分 豊漁祈願祭 ワカサギ汁 カラオケ大会 魚つかみどり他 標茶町商工観光課 01548-5-2111

釧路湿原フェア 9月下旬 メイン会場は、鳥取橋上流の右岸堤防河川敷 川下り さけのつかみどり 熱気球試乗会 キラコタン岬めぐり他 釧路市観光協会 0154-23-5151

【関係市町村勢と見所・味】

釧路湿原国立公園区域に関係する市町村人口とみどころ・味

1. 人口の推移

区分-面積-S40nen 人口-S50年人口-S60年人口・S60人口密度-H元年2月人口

北海道 83,519.22平方キロメートル 5,171,800人 5,338,206人 5,679,439人 68.0人/平方キロメートル 5,693,206

釧路市長 6,003.53 290.070 297.703 306.767 51.1 302.672

釧路市 218.78 174.105 206.840 214.541 980.6 211.182

釧路町 254.13 6584 9818 15,942 62.7 17.753

標茶町 1,107.45 15738 12737 11633 10.5 11254

鶴居村 571.11 3835 2651 2856 5.0 2695

釧路市

みどころ 幣舞橋とブロンズ像、市立博物館、花時計、釧路市湿原展望台、和商市場、丹頂鶴自然公園、米町公園啄木碑、マリン・トポスくしろ

味 真カジカ料理、イワシ料理、炉ばた焼き、かに料理、さけ料理、そば

釧路町

みどころ 釧路湿原細岡展望台（大観望）、尻羽岬、釧路湿原岩保木山、岩保木水門、達古武沼、来止臥野営場

味 シャケ、いくら、ほくげん大根

標茶町

みどころ 塘路湖、いこいの家かや沼運動広場、コッタロ展望台、サルボ展望台、シラルトロ沼、地平線の見える多和平、パイロット・フォレスト

味 ラムステーキ ラムしゃぶしゃぶ ジンギスカン イノシシ料理

鶴居村

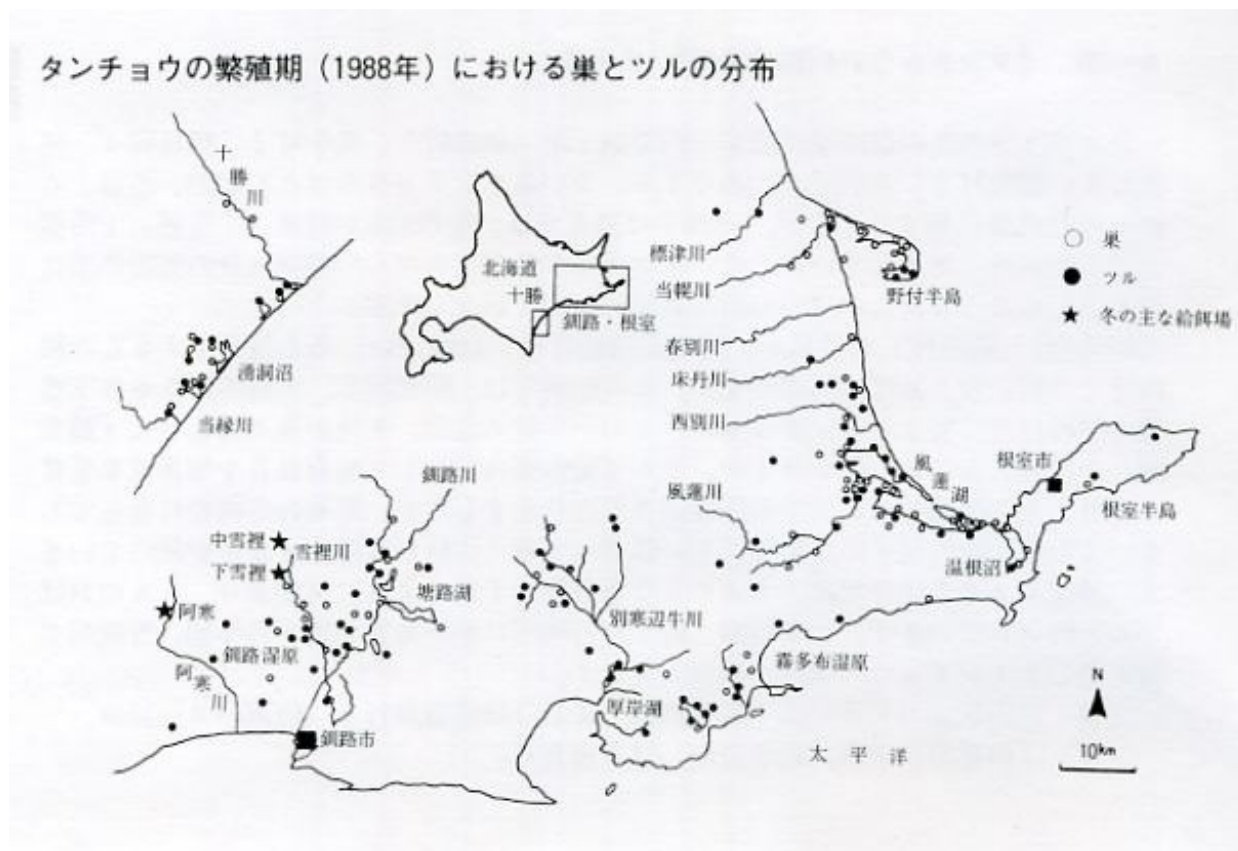
みどころ 鶴見台、ミンク飼育場、鶴居・伊藤サンクチュアリ、鶴居運動広場、鶴見峠、釧路カントリークラブ、風林カントリークラブ、釧路湿原、宮嶋岬

味、 やまべ料理、牛肉料理、そば、牛乳

タンチョウの冬の給餌場じゃ道東一円で24箇所（釧路町1、浜中町3、標茶町4、阿寒町6、鶴居村8、音別町2）あります。今いるタンチョウのほとんどが、冬は、これらの給餌場に集まりますが、1989年の調査では、その92%が阿寒、中雪裡、下雪裡の三大給餌場に集まっていました。タンチョウに関する詳しい解説はDの動物の項に譲るとしてここではこの三つの給餌場他について紹介します。

【鶴見台】...鶴居村下雪裡第2、道々釧路鶴居弟子屈沿いにあり渡部トメさんの給餌場で「鶴見台」と呼ばれています。この給餌場は、昭和38年、当時冬になると下雪裡小学校付近に集まるタンチョウに、この小学校の先生、生徒がともども餌を与え「鶴公園」を開設したことに始まります。そして愛鳥優良校として教育長賞や知事賞を受賞したり、その活動はテレビで全国放送されたりしましたが、昭和49年廃校になってしまいました。給餌はその後生徒達に代わって近くに済む渡部トメさんが続けています。渡部さんは今では、タンチョウを自分の子供のように可愛がり、ツルのおばさんと呼ばれています。この時期、近くの雪裡川にかかる音羽橋から早朝、雪裡川で夜を過ごすタンチョウの集団が観察できます。

交通：釧路駅前バスターミナル発鶴居、または川湯温泉行き（阿寒バス）45分。「鶴見台」下車、見学自由。駐車場有り。



A-21 【タンチョウの給餌場情報】 ...その2

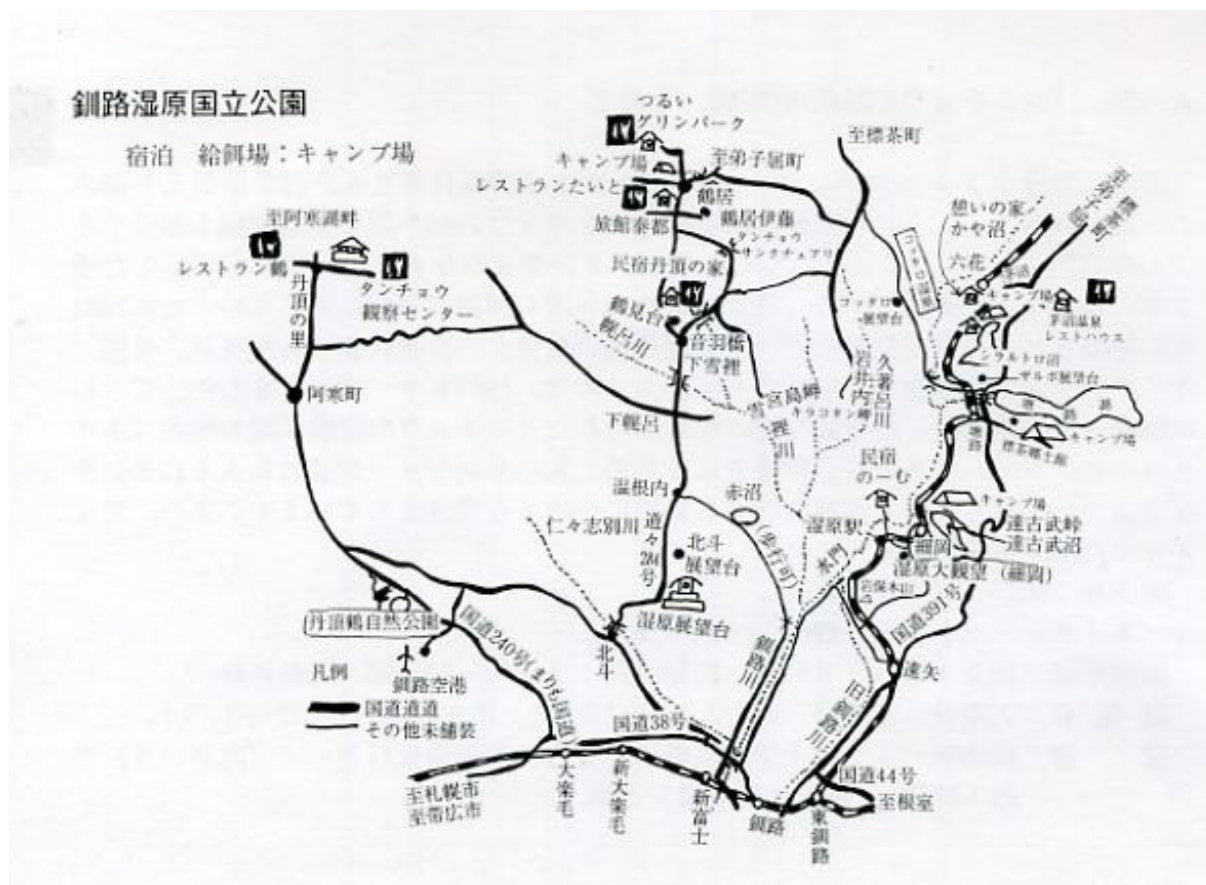
「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」 ...ここは伊藤良孝さんが長年給餌人を務めている給餌場で、ここに日本野鳥の会が「タンチョウの越冬期の生息環境を保全することを目的にタンチョウのための聖域、タンチョウサンクチュアリを設定したところです。このサンクチュアリは、日本のツルの保護の問題を専門に考えていくため1984年に組織された「日本野鳥の会ツル保護特別委員会」の提案により計画され、全国、多くの方々からの募金によって作られたもので、1987年オープンしました。ここには伊藤さんの土地の一部を譲り受けて建設されたタンチョウの保護活動の拠点「ネイチャーセンター」があって、伊藤さんを含め二人のレンジャーが訪れる人々にタンチョウについてはもちろん湿原の野鳥と自然についても解説をしています。また、タンチョウに関する資料も展示されています。

所在地・鶴居村字中雪裡南

(ネイチャーセンター) 0154-64-2620

開館期間：10月1日～3月31日 開館時間：9：00～16：30 入館無料。

交通・釧路駅バスターミナル発鶴居、または川湯温泉行きバス（阿寒バス）で約1時間。「鶴居村役場前」下車。



A-22 【タンチョウの給餌場情報】 ...その3

「阿寒町タンチョウ観察センター」...釧路市と阿寒湖畔を結ぶ国道240号線、通称まりも国道をたどり、阿寒町の市街を過ぎて2kmほどのところの丹頂の里があります。国道から東に少し入った所に「阿寒町タンチョウ観察センター」があります。ここはこの地で農業を営んでおられた故・山崎定次郎さんが、厳寒のなかで飢えていた丹頂をかわいそうに思い、昭和25年から餌を与え続け、タンチョウとの交流を深めたところです。山崎さんはいわばタンチョウの給餌の草分けとも言うべき人です。

昭和52年には山崎さんの用地の一部に、タンチョウが羽を広げたような形の観察センターが完成しました。一階は資料展示室と食堂、2階はテラスや観察用の望遠鏡があり、屋外は撮影用に開放され、12月から3月のシーズンには各地からのカメラマンで賑わいます。

**_*_

所在地・～館長23線19番地 0154-66-3460

開館時期：11月上旬～4月上旬

入館料：大人250円 小・中学生150円

開館時間： 8：30～16：30

交通：釧路駅バスセンター発阿寒湖行きバス（阿寒バス）で約1時間10分、「丹頂の里」下車、徒歩約5分

【丹頂鶴自然公園】

釧路空港に程近い国道240号・まりも国道沿いに、タンチョウをほぼ自然の状態で観察できる世界でも唯一の「丹頂鶴自然公園」があります。昭和33年、絶滅の危機にあるタンチョウの保護増殖に取り組むとともに、多くの人々がいつでも見る事が出来るようにと開設されたものです。昭和43年に人工飼育に成功、昭和45年には世界で初めて人工孵化に成功しましたが、増殖は大変困難な作業で、高橋良治・現園長の苦心談も伝えられています。園内は昭和63年に全面改装され、広さは9.8ヘクタール。高さ3メートルの金網の仕切りは、天井が無いので野生のタンチョウの出入りは自由ですが、キツネやイタチなどタンチョウにとっての害獣の侵入を防ぐため、地下1メートルの深さまで埋め込むなどの工夫も凝らされています。

管理棟では剥製や骨格標本などを展示してタンチョウのことを解説しています。

**_*_

所在地：釧路市鶴岡112番地 0154-56-2219

開園時期：夏期4月20日～10月19日 9：00～17：00

冬季10月20日～4月19日 9：00～16：00(12月24日～1月5日は休園)

入園料：一般（高校生以上）300円、小・中学生100円（幼児は無料）

交通：釧路駅より阿寒湖行きバス（阿寒バス）で40分「鶴公園前」で下車。

丹頂鶴自然公園に関する問い合わせは釧路市公園緑地課へ 0154-23-5151

B-1 【釧路湿原の生い立ち】

地球の誕生は46億年前と想像も出来ない長さですが、釧路湿原の生い立ちは約2万年前、最後の氷期、ヴュルム氷期の最盛期に始まります。この頃は今より気温が10度位低く、海面も100メートルほど低かったため、北海道はシベリア大陸と陸続きでした。この海退（海面が上昇し満潮のように内陸へ逆上ることを海進といい、海退はその反対をいう）の年代に北方系の生物が南下しましたが、この年代から、大陸との間が海に隔てられ気候が変わった今に至るまで生き残り続けてきた「遺存種」と呼ばれる生物種が釧路湿原にも生息・生育しています。キタサンショウウオ・イイジマルリボシヤンマ、植物ではクシロハナシノブ、ハナタネツケバナなどがその例です。

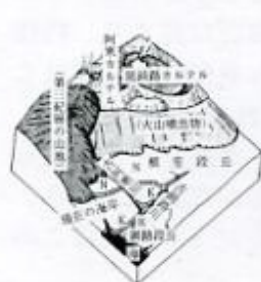
長い氷河時代が終ると、気温は徐々に上昇し、氷河は解けて海面は高まり、内陸に海が侵入していきます。今から約6千年前、湿原全体はもちろん東側の各湖沼はじめ五十石辺りまでが「古釧路湾」と呼ばれる海になりました。これが「縄文海進」といわれるものです。この頃の気候は今の宮城県石巻辺りの暖かさがあり、その様な気候の証しとして暖流系のハマグリ、アカガイ、シオフキガイなどが東釧路、北斗、細岡の貝塚に混じって見られます。また、屈斜路湖の和琴半島のミンミンゼミはこの頃の遺存種といわれています。

その後、気温は徐々に低下し「海退」が始まり、3千年から4千年前の縄文時代後期にはほぼ現在見られる地形、陸地になりました。今見られる湿原はほぼ3千年前に誕生したことになります。

この海退の過程で東側が沈み、西側が隆起する西高東低の地盤運動によって湾の海水は東側に寄せられ、シラルトロ沼、塘路湖、達古武沼などの海跡湖（もと海であったところで海水が閉じ込められてできた湖沼）が生まれました。現在は淡水化していますが、塘路湖には海水にすむイサザアミが今も生きています。陸化の過程で伸びた川も東に偏り、釧路川はその流路を湿原の東縁に寄せて流れています。

その後、気温は徐々に低下し「海退」が始まり、3千年から4千年前の縄文時代後期にはほぼ現在見られる地形、陸地になりました。今見られる湿原はほぼ3千年前に誕生したことになります。

この海退の過程で東側が沈み、西側が隆起する西高東低の地盤運動によって湾の海水は東側に寄せられ、シラルトロ沼、塘路湖、達古武沼などの海跡湖（もと海であったところで、海水が閉じ込められてできた湖沼）が生まれました。現在は淡水化していますが、塘路湖には海水に住むイサザアミが今も生きています。陸化の過程で伸びた川も東に偏り、釧路川はその流路を湿原の東縁に寄せて流れています。



おいたち(1)
(2万年前の水河時代)



おいたち(2)
(1万年前)



おいたち(3)
(6千年前)



おいたち(4)
(4千～3千年前)

B-2 【釧路湿原のまわりには多くの遺跡がある】

釧路湿原周辺をとりまく台地や丘陵地には数多くの遺跡があり、その数は400とも500とも言われ、先史時代からこの地域が人間の生活にいかに適していたかをあらわしています。釧路湿原が野生生物の宝庫であるとともに、周辺台地や丘陵地は人類史の遺産の宝庫でもあるのです。

遺跡は、先土器時代（旧石器時代）の末期（1万年前前後）から縄文時代（8,9千年前～2千年前）、続縄文時代（2千年前～1千400年前）、擦文時代（1千4百年前～7百年前）、アイヌ時代（7百年前～近世）に至るそれぞれの時代のものがあります。これらの遺跡は、「埋蔵文化財包蔵地」として登録され、文化財保護法による保護の対象地となっています。

これらの遺跡は竪穴住居跡、墓跡、貝塚、チャシ跡が主なものです。

竪穴住居跡は、生活の拠点となった集落の後。「チャシ」は砦、館、柵囲いを意味するアイヌ語で、その機能に戦闘用、祭祀用、談合用、資源監視の見張り台などがあげられ、その遺跡は、自然的地形に恵まれた丘陵の突端にあるものが多く、丘陵の一部に壕をめぐらし、上を地ならししてあるものが多い。

湿原の先史時代年表

本州の時代区分	推定年代	北海道の時代区分	主要遺跡	備考
時先代土器	10,000年前	先土器時代	釧路市貝塚町1丁目 北斗 鶴居村下雪裡	低地への海水の進入開始。
縄文時代	8,000年前	縄文時代	縄文初期 釧路市沼尻、東釧路1、2、3 釧路町テネル、標茶町ニッ山1、2 鶴居村下雪裡第4 堅穴群アシベツ川右岸	海水の進入、シラルトロ沼畔ぐらいまで広がる。 小貝塚の出現。
縄文時代	6,000年前	縄文時代	縄文前期 釧路市東釧路貝塚、北斗 釧路町細岡貝塚	古釧路湾できる。 暖流の卓越した海となる。 大貝塚の出現。
縄文時代	5,000年前	縄文時代	縄文中期 釧路市樺ヶ岡2、北斗1～7、武佐 標茶町茶沼、開運町 鶴居村下雪裡第2 堅穴群下幌呂1	気候が寒くなり海退はじまる。 古釧路湾は汽水性の海でおおわれる。 小貝塚の出現。
縄文時代	4,000年前	縄文時代	縄文後期 鶴居村下雪裡第2・第4 堅穴群 釧路市貝塚1丁目 釧路町達古武	海退終り、ほぼ現在にみる地形となる。 湿原周縁の遺跡は余り多くない。
縄文時代	3,000年前	縄文時代	縄文晩期 釧路市幣舞、緑ヶ岡 釧路町天草	川筋が定まり、サケ・マス漁盛んとなる。 釧路川川口の台地に大墳墓遺跡が出現。
弥生時代	2,000年前	弥生時代	弥生時代 鶴居村チルワッナイ 釧路市興津、三津浦、桂恋 釧路町細岡	湿原化が進む。 東縁の台地沿いに高沼が残る。 湿原周縁台地の遺跡は少ない。
古墳時代		古墳時代		
奈良時代		奈良時代		
平安時代	1,200年前	平安時代	平安時代 釧路市材木町5、春採台地堅穴群、北斗 釧路町床丹 鶴居村下雪裡第1 堅穴群	多くの大堅穴群が出現する。 北斗遺跡群の真下に大きな川が流れていた。 川漁が盛んにおこなわれる。
鎌倉時代	700年前	鎌倉時代	鎌倉時代 釧路市モシリヤチャシ、チャランケチャシ 釧路町達矢第1、第2、細岡 リータッコブチャシ 鶴居村下雪裡1・2チャシ	川筋にみられた堅穴群は姿を消し、平地住居となる。 チャシの築造が盛んとなる。
室町時代		室町時代		
江戸時代		江戸時代		

B-3 【釧路川】 ...①概況

釧路川は屈斜路湖（標高121メートル）に源を発しとう別川、磯分内川、オソベツ川などを合流しつつ釧路湿原に流入し、湿原内では蛇行しながらさらに、久著呂川、雪裡川などを合流し、また岩保木で旧釧路川を分派し、太平洋に注ぎます。

源流部まで含めた幹川流路延長は154キロメートル（133（屈斜路湖流出口から河口まで）+28.5キロメートル（屈斜路湖の湖周57kmの1/2）+12.5（最源流部）=154km）で北海道では石狩川（268キロメートル）、天塩川（256キロメートル）、十勝川（156キロメートル）に続き4番目に長い川です。釧路川はまた、全国の1級河川（建設大臣が指定し管理する河川）では唯一、ダムのない川でもあります。

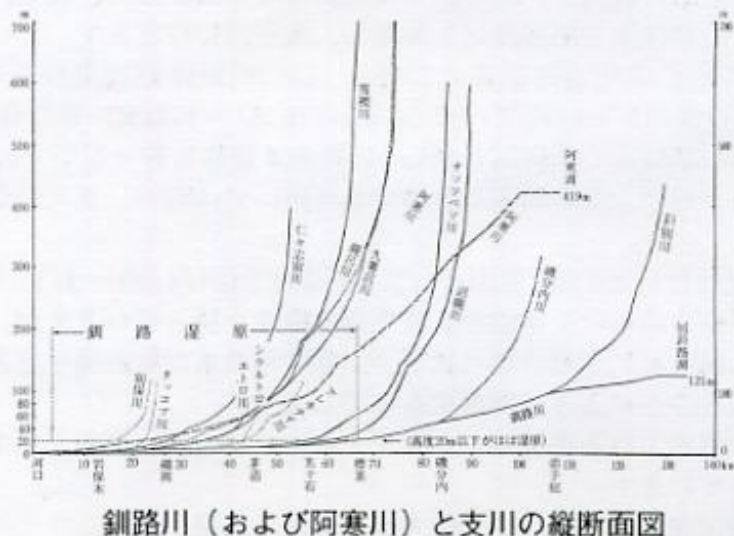
平均河床勾配は1/1,200で阿寒川の1/2、湿原内では1/4,000～1/10,000とさらに緩やかです。湿原そのものや湖沼が流量の調節機能をもっていますが、このことは、融雪期や大雨の後などに湿原の冠水状態や、釧路川の水が塘路湖や達古武沼へ逆流する様子を観察することによって理解できるでしょう。

釧路川の水は釧路市21万市民の上水道源となっている他、製糸工場などの工業用水としても使われています。

（一口メモ） 幹川流路...水系の中で最大流量を持つ流路、本流。

[蛇行] ...河川の流路が連続したS字状となって屈曲していること。曲流ともいいます。河川の大小に関わらず見られ、流量が多いほど、流送土砂の多いほど良く発達すると考えられています。原因は、流水による局部的な、土砂の堆積などがあげられています。なお不明な点が多いといわれています。

〔蛇行〕…河川の流路が連続したS字状となって屈曲していること。曲流ともいいます。河川の大小にかかわらず見られ、流量が多いほど、流送土砂の多いほど良く発達すると考えられています。原因は、流水による局部的な、川岸の浸蝕、土砂の堆積などがあげられています。なお不明な点が多いといわれます。

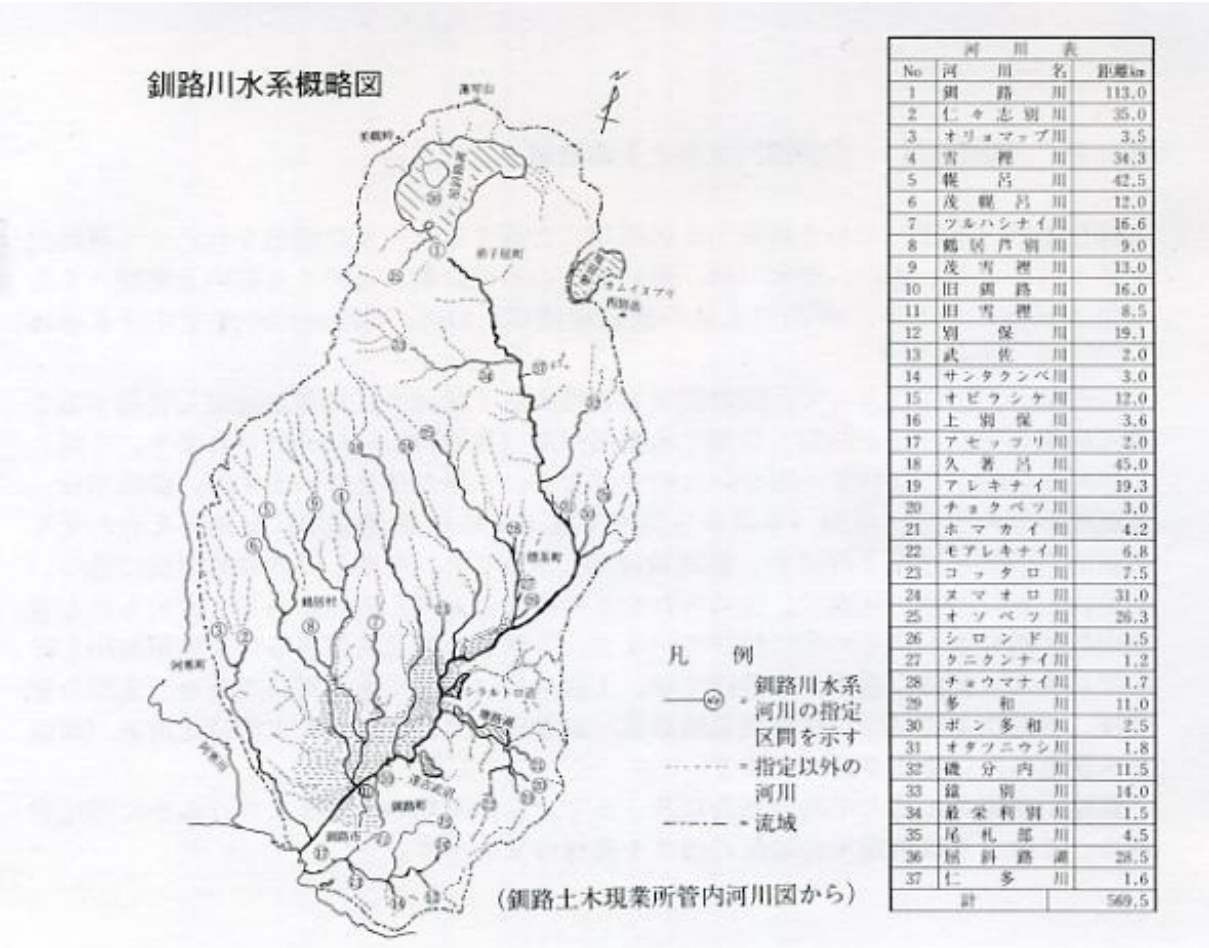


B-4 【釧路川】 ...②釧路川推計とその流域

幹川流路（本流）である釧路川と釧路川に合流する支川及び湖沼を合わせて釧路川水系と言います。また、降水（雨、雪）がこの水系に集まってくる範囲を流域、または集水域といいます。釧路川水系の流域面積は2,510平方キロメートルで流域内の年平均降水量は1,100～1,200mm.です。

河川は、河川法によって、国が指定し管理する一級河川、知事が指定し管理する二級河川及び市町村長が指定し管理する準用河川（普通河川）に分けられます。一級、二級河川の呼び方は個別の川をいうのではなく、水系全体をいいますが、釧路川は合流する37の支川、派川（本流から分かれて流下する川：旧釧路川）と湖沼を合わせて一級河川釧路水系と呼ばれ、総延長は56.5kmです。ただしこれは河川法に基づいて定められた名称、区間で、定められたものの以外にも多くの川があり、定められた各支川の流路もさらにその先に延びています。これらを普通河川あるいは準用河川と呼んでいます。釧路、根室支庁管内では、一級河川は釧路川水系だけであり、実際の管理は、釧路川本流は国（釧路開発建設部）が管理していますが、支流は北海道（釧路土木現業所）に委任されています。

釧路川本流の山地と平地の割合は5：5で、全国平均の7：3よりはるかに平地が多く、このことは釧路川の勾配の緩さを裏付けています。



B-5 【釧路川】 ③大正9年の大洪水

釧路地方一体に大被害をもたらした「大正9年大洪水」あるいは「8月大正大洪水」とは、大正9年8月の5日から12日の8日間に330mmの連続した降雨があり、特に8日から9日の2日間で178mmが降って、釧路川、阿寒川が8日から12日にわたって大氾濫を起こし、14日にいたってようやく減水したという記録的な大洪水のことをいいます。この8月には424mmの降雨量を記録しており、この記録はいまだに、釧路地方で降雨量が最も多かった月の一位です。次の記録が昭和32年8月の349mm、当時の8月の平年の降雨量が160mm、現在の釧路の8月の平年値（1951～1980年の30年間の平均値）は125.6mmであることを比べてみても、この大正9年の降雨量がいかに多かったかと物語っています。

この大洪水で、それまでは釧路川の最も大きな支流であった阿寒川が流れを変え大楽毛川に合流して直接太平洋に流れ込み、釧路川水系から独立してしまうという現象が起きました。

大洪水のわりには死者、行方不明者は各5名と少なかったものの、被害は、釧路市外の冠水、鉄道、道路の損壊、農業日会、電気、通信網の途絶など日常生活全般にわたり、また、釧路港から流出した木材は下北半島から三陸・気仙沼まで漂着するなど、搬出枕木全盛時代の木材産業にも大きな影響を及ぼしました。

釧路の年降水量(mm)の多い順位			釧路の月降水量(mm)の多い順位		
1位	1703.9	1920年(大正9)	1位	424.1	1920・8年(大正9)
2位	1395.0	1957(昭和32)	2位	349.3	1957 8(昭和32)
3位	1391.2	1955(昭和30)	3位	342.6	1941 9(昭和16)
4位	1377.5	1975(昭和50)	4位	331.3	1955 10(昭和30)
5位	1366.1	1939(昭和14)	5位	330.8	1923 9(大正12)

「釧路測候百年史」(釧路地方气象台より)

B-6 【釧路川】 ④釧路川の治水 その1

大正9年の大洪水以前の釧路川水系の治水事業は、当時まだ、釧路川第一の支流であった阿寒川を対象に行われました。釧路地方の開拓は、明治17・18年の鳥取土族の阿寒川下流地帯への入植に始まりますが、明治18、19、22年と連続する阿寒川の氾濫によって被災し、「開拓とは治水なり」とまでいわれ入植当初から阿寒川氾濫との戦いであったといわれます。そこで「救農土木事業」をあわせた阿寒川治水対策が始められました。

明治23年には、阿寒川の水をオンネピラ（山花）から大楽毛へ分水する第一分水溝の開削、明治32年からは第二分水溝の開削が始められました。

また、釧路川の河口を利用した自然港湾であった釧路港の本格的な港湾工事は明治42年から始められましたが、多量の土砂を運んでくる釧路川の支流、阿寒川の治水対策も築港工事の大きな課題の一つに成っていました。そこで、釧路港外へ土砂を誘導するため、大正3年、阿寒川を釧路川から切り離すための水路、阿寒新川の開削が着工され、同6年ほぼ完成しました。

大正9年の大洪水によって、この阿寒川は大分水溝を通して大楽毛川に合流し、直接海に注ぐようになり、現在の阿寒川ができました。また、阿寒新川は、大洪水を機に開削された釧路川の直接水路（現新釧路川）の一部になっています。

阿寒、釧路川水系の主な氾濫と治水史

主 な 氾 濫	治 水 史
明治13年秋・釧路川(標茶) ✦ 18年々・阿寒川(2回) ✦ 19年々・ ✦ 20～21年・釧路川 ✦ 22年・阿寒川(3回) ✦ 29年・釧路川、別保川 大正9年・阿寒川・釧路川 (8月大正大洪水)	明治20年・阿寒川洪水対策：小川の浚渫1.48km、排水溝開削6.6km ✦ 23年・分水溝開削：山花～大楽毛6.172km ✦ 32年・大楽毛川への第2分水溝開削：約3km 大正10年8月6日・釧路川新水路起工、延長8.211km 昭和6年9月19日・同上通水式(通水は昭5.10.1) 同上昭和15年まで3.0km 延長 ✦ 5年・幌呂川、雪裡川の合流地点から水路通水：延長1.1252km ✦ 6年・久著呂川直水路通水：延長2.7958km ✦ 26年・釧路川：五十石～南標茶直線化

阿寒川排水及分水土事図



B-7 【釧路川】 ...⑤釧路川の治水（その２）

釧路地方に大きな災害をもたらした大正９年の大洪水を契機として新釧路川治水計画が立てられ、翌大正１０年に着工されました。「釧路市及び鳥取一帯の水害を防止すること」「釧路港内に流入する土砂年間６万立方メートルを港外に誘導すること」「新水路は沿岸一帯１２,０００ヘクタールの荒蕪地の開発を促進すること」などを目的として釧路川を岩保木より分流し釧路港外太平洋へ直接注ぐ、直線１２kmの新水路の掘削、左右岸の築堤工事が進められ、併せて、当時重要な産業であった木材の釧路川流送の便を確保するための岩保木水門の建設、旧釧路川の浚渫も行われました。１０年の歳月をかけ、新水路は昭和５年に完成しましたが、関連工事の終了を待って昭和６年９月、岩保木水門で盛大な通水式が行われたということです。

釧路市治水町の治水は新釧路川治水からとられた地名で、治水工事が始まると、工事用の機械工場が作られ、工事に従事する人々が住宅などが建てられ、見る間に、新しい市街地ができたということです。

昭和６年時を同じくして釧網線が全通し、木材搬送は鉄道に譲り、岩保木水門の利用は、昭和１５年頃までのごく僅かな間で、その後は現在まで開かずの水門となっています。旧釧路川は、いわば、この水門の位置が上流端です。

この治水事業完成の後には洪水被害の心配がなくなりました。

大正９年８月の大洪水を契機に、大正１０年に始められた釧路川水系の本格的な治水事業は、新水路の開削、左右岸の築堤、護岸、関連工事を行い、昭和１５年に完了しましたが、その後も幾度かの計画改定を経て現在も継続して改修工事が行われています。

現在左岸堤防の改修工事に伴い新水門の建設中ですが、既存の水門は釧路川流域の治水史をしのぶ足跡として後世に伝えるため、保存の計画があります。 釧路湿原はまた、貯水池と同じように洪水の時の水を一時この中に貯留し、一度に大量の水が流れないように調節する遊水地としての機能も果たしています。

B-8 【湿原の瞳。谷地眼】

湿原にうっかり入り込まない方がよいのは、そこが踏みつけに弱いからだけではありません。深いものでは人や牛馬をも飲み込んでしまうほどの、口のすぼまった壺型をして、しかも水で満たされた、まるで落とし穴のような地形があるからです。これはヤチマナコと呼ばれる湿原の特殊な微地形の一つです。開水面の直径と深さには相関関係はないものの、開水面の直径が50センチくらいなら深さは1.5m～2mほどと考えられているとのことです。ではどのようにしてこれができるのでしょうか。いくつかの説がありますが、定説はないようです。

説1 ...湿原がどのように形成されるかということと関係があります。今から3000年程前、釧路湿原域は海が退いて大小の湖沼が点在する沼沢地となりました。その後、水生植物や湿原植物が覆って、それらの遺体が堆積して陸化の方向をたどりしました。その覆われ方は、水深の浅い所ではまわりから提水植物が広がっていき、さらにフトイやガマの島ができそれらがつながって次第に植物で埋め尽くされていきます。それに対して水深の浅い所では岸边からミツガシワ、くろばなろうげなどがその太い根茎を網のようにからませながら水面にひろがってゆき、それを土台としてスゲ類などが成育を始めます。この土台は水面に岸がせり出したハング状となっており、元の水面が一部開けたヤチマナコの地形を作ります。

(ヤチマナコの出来方)

説2 ...スゲ原にあるヤチマナコは整った円形で、高層湿原での不整形なものとは異なる点、冬にもなかなか凍らない点などから、湖沼が陸化する過程でできるというよりは、河川跡などで伏流水が湧き出ることによりできるとの考え方があります。

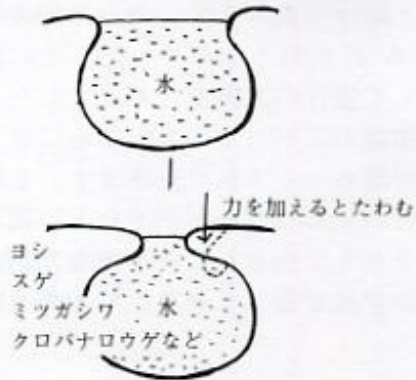
(水生植物や湿生植物、挺水植物については、C植物「湖沼に生活する植物」の項を参照してください。

(ヤチマナコのでき方)

説2…スゲ原にあるヤチマナコは整った円形で、高層湿原での不整形なものとは異なる点、冬にもなかなか凍らない点などから、湖沼が陸化する過程でできるというよりは、河川跡などで伏流水が湧きでることによりできるとの考え方があります。

(水生植物や湿生植物、挺水植物については、C植物「湖沼に生活する植物」の項を参照してください)

説1. のヤチマナコ



説2. のヤチマナコ



B-9 【海跡湖】

釧路湿原の東の縁に沿って、大地に湾入した溺れ谷のような三つの湖沼があります。北からシラルトロ沼、塘路湖、達古武沼です。

縄文海進によって一面の海となった今の湿原域も、海進の末期約6千年前ころから再び海退が始まり、時を同じくして、東側が沈降し、西側が隆起する地盤運動が起こりました。この西高東低の地盤の動きにつれ、海水は東側に寄せられ、東側の沢に入り込んでいた海水は奥へ押し込められました。3千年前、海が今の海岸線まで引き、全面にわたって湿原が形成された頃、この東側の沢に入り込んでいた海水は取り残され、いわば海の落とし子「海跡湖」となりました。

現在はいずれも淡水化していますが、塘路湖には海水に住むイサザアミが今も生きています。また達古武沼南岸の台地にはカキの貝塚が発見されています。

東が沈み、西が隆起する地盤運動は今も1年に1mmほどの量で続いています。

【三つの海跡湖の諸元】

	シラルトロ沼	塘路湖	達古武沼
標高	8.0m	7.0m	3.0m
面積	181ha	637ha	136ha
最大水深	2.8m	7.0m	3.0m
平均水深	1.5m	5.0m	1.9m
周囲長	9.8km	17.9km	4.9km

出典：北海道の湖沼(1990;北海道公害防止研究所)

C-1 【湿原には3つのタイプがある】

湿原に生育する植物群落は他の群落に比較してきわめて生活力の弱い、多湿あるいは、湛水というきびしい自然環境とつりあって生育しています。したがって一面的で厳しい自然環境には耐え得るが人為的影響に対しては敏感で容易に破壊されやすい植物群落です。日本には233箇所、約36000ヘクタールの湿原が分布しますが、北海道サロベツ原野のツルコケモモミズゴケ湿原から沖縄県西表島の浦内川河口のマングローブ林周辺のミミモチシダ群落までの多様な群落を含んでいます。湿原はその自然環境及び生活形により次の3つのタイプに分けられます。

・高層湿原（Sphagnum bog, reised bog, Hoxhmoor）とは、高位泥炭湿原とも呼ばれ、ミズゴケ類Sphagnumを主とする泥炭(Torf) がその基盤となっている。したがって低温・多湿・強酸性というもっとも厳しい環境条件下に生育する植物群落で代表される。高層湿原の植物群落は主として降水によって生活している。

・中間湿原（Mixed Sphagnum bog, sedge bog, Zwischenmoor)は高層湿原の周辺部や山地斜面部あるいは扇状地などスゲ類はイネ科植物を主とした泥炭層を基盤として生育している。中位泥炭湿原とも呼ばれる。したがって泥炭層はきわめて浅く平均10～20センチ程度の厚さの地域もある。その大部分は地下水と降水により生育している。

・低層湿原（sedge bog,wet meadow, Flachmoor)は流水域やその周辺の地下水の高い地域で無機土壌上に生育している植物群落で構成される。

高層湿原、中間湿原、低層湿原ともそれぞれ隣接して生育することが多い。

（第2回自然環境保全基礎調査報告書より）

高層湿原、中間湿原、低層湿原ともそれぞれ隣接して生育することが多い。
「第2回自然環境保全基礎調査報告書」より

日本の主な湿地植生（湿原）				（面積50ha以上のもの）			
道県名	特定植物群落名	標高(m) 最低—最高	面積(ha)	道県名	特定植物群落名	標高(m) 最低—最高	面積(ha)
北海道	サロベツ原野の植生	3—7	3,900	山形	月山弥陀ヶ原湿原	1,360—1,320	60
*	浅茅野湿原	5—10	700	*	月山月見ヶ原湿原	1,520—1,670	60
*	雨竜沼高地の湿原植生	850—900	450	*	吾妻山弥兵衛平・明星湖湿原	1,780—1,890	120
*	風塵湿原	0—5	1,600	福島	尾瀬ヶ原湿原	1,400—1,400	200
*	霧多布湿原の植生	3—3	2,250	茨城	霞ヶ浦周辺の湿地植生	1—1	50
*	銅路湿原の植生	0—10	21,440	*	菅生沼の植生	5—5	232
青森	加藤沢沼沢の湿原植生	10—10	68	*	浅良瀬遊水池の植生	17—17	87
*	田代平湿原	560—580	147	栃木	戦場ヶ原湿原	1,390—1,395	260
*	八甲田山の湿原植生	1,000—1,200	1,500	群馬	尾瀬ヶ原湿原	1,400—1,400	550
岩手	敷取の湿原植生	960—1,060	50	*	外田代湿原	1,640—1,640	75
*	八幡平の湿原植生	1,000—1,580	170	滋賀	西之瀬のヨシ群落	85—85	167
宮城	伊豆沼・内沼の沼沢地植生	5—5	560	広島	大沢湿原	600—620	57
秋田	大湯谷地・前谷地の湿原植生	840—840	143	鹿児島	壱牟田辺の湿原植生	295—295	60
*	大谷地周辺の植生	360—360	92				

環境庁「第2回緑の国勢調査・特定植物群落調査」(1982)より

C-2 【ヨシとスゲ】 ...湿原の主役？脇役？

釧路湿原を見下ろす展望地から遠望すると、ハンノキ林と平らな草原と曲がりくねった川筋そして小さな水溜りが見えるでしょう。この中の一見平でどこも同じような広がり、季節をかえて見ることによって、また接近してみるによって一様ではないことが解ってきます。湿原の面積約20000ヘクタールのうちヨシ～スゲ原が多くを占める低層湿原は約80%で、中・高層湿原は約2%とわずかです。ですから平らに見えるところのヨシースゲ原が釧路湿原の代表的な景観としてとらえられます。しかし曲がりくねった旧河川跡や現河川が入り組んでいるため、地下水位（冠水～乾燥化）や土壌条件（富栄養～貧栄養）の差が生じ、ヨシースゲ原と一括してはいても混生する植物の種類は多様になってきます。

ヨシ（Reed） ...自然堤防地や水位の変動が激しい湿地は土壌が堆積して、いくぶん富栄養となり、そこにアシまたはキタヨシともいわれるイネ科ヨシが優占します。葉は7月中旬急に伸長、展開し、草丈は2メートルを越え、8月にはヨシの存在がクローズアップされます。花期は8～9月、茎はそのまま立ち枯れし、スゲ類とともに秋の湿原を黄金色に彩る主役と菜rマス。

ヨシはよしずやすだれの材料になり、古くは垣根の材料にも使われたといわれます。

スゲ（Sedge）類...カヤツリグサ科スゲ属のなかまです。花期は5～6月。ヨシと混生する場合は、8月に入ってヨシに草丈が追い越されるまではスゲの緑色が目立ちます。枯れると倒れ、降雪の際は雪原となります。かつての湖沼の中央域や旧河川の淵など、ヨシより水位の高い湿地に多く分布します。最も広く分布するビロードスゲ、ムジナスゲ、大型のオオカサスゲ、冠水する低地を含む過湿地にはヤラメスゲやオニナルコスゲ、プール状の浅い湛水地にサギスゲ、地下水位の低いやや乾いたところにはツルスゲなど多くの種類があります。また湿原の周辺部やそれに続く緩傾斜の沢にヒラギシスゲ、カブスゲ、オオアゼスゲなどの谷地坊主をつくるスゲの仲間が見られます。

お正月のしめ飾りの材料に使われるのはヤラメスゲ、オオカサスゲなどです。

（地下水位が高い） ...とは地表は冠水または十分湿った状態

（地下水位が低い） ...とは地表は乾燥化に傾いている状態

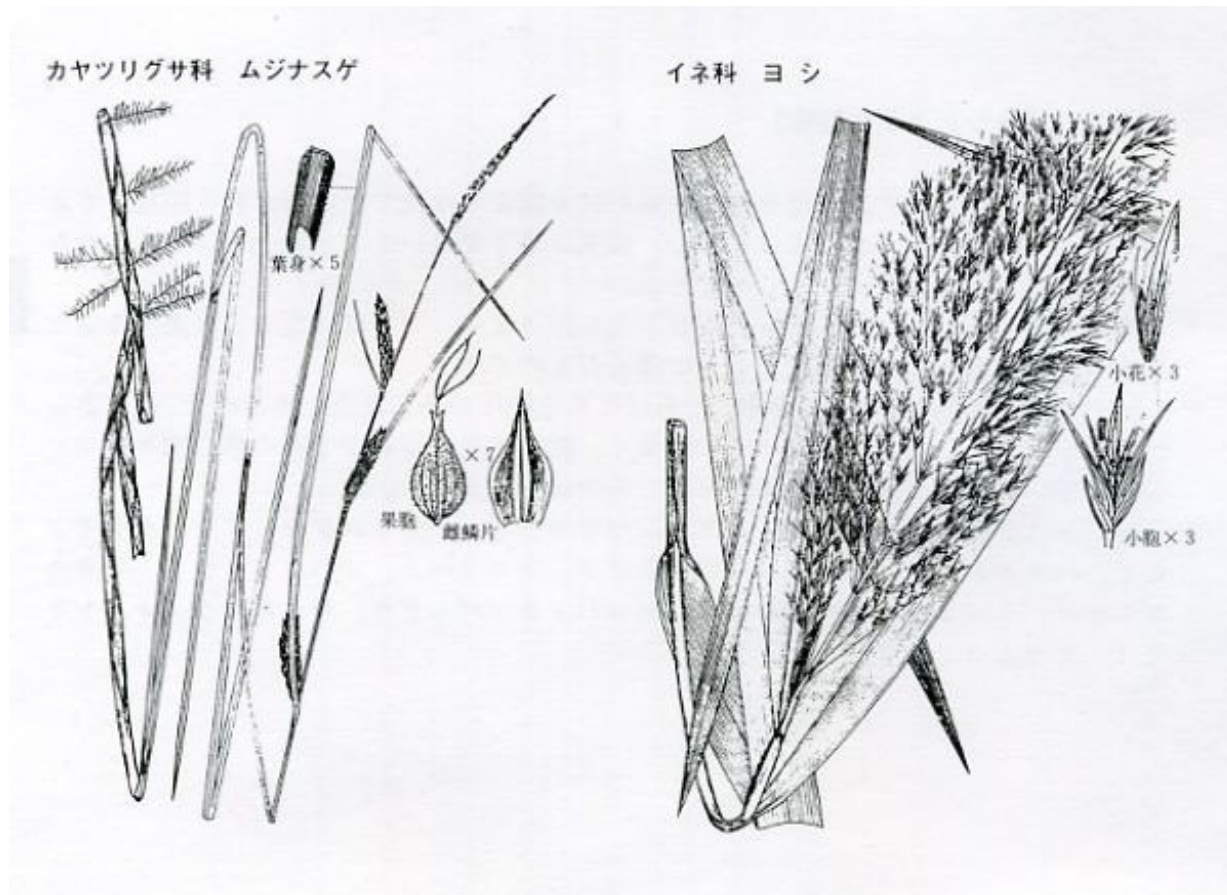
C-3 【ヨシとスゲの観察】

ヨシの観察...イネ科の植物を同定するのに大切なのは花です。花は良く観察してみましょう。匂いはいくつか、虫は来るか、根茎は地下をはいます。地上をはっていたら別のなかま（ツルヨシ）かもしれません。

漢字では「葦」とかいてアシともヨシとも読みます。アシは「悪し」に通ずることを嫌って「良し」にちなんでヨシと呼んだものです。

スゲの観察...スゲ類は実（果胞）とそばにある鱗片の形に特徴があるので実があったら見てみよう。茎は三角形のものが多く、花は雄花と雌花が1本の茎に別別につくものが多いけれど、花を見て名前をあてるのはむずかしい。

ヨシースゲ原の混生種...ヒメシダ、コウヤワラビ、アカネムグラ、アキノウナギツカミ、ハナタネツケバナ、クシロハナシノブ、カキツバタ、ノハナショウブ、ヒオウギアヤメ、ミゾソバ、スアギキョウ、ホソバノヨツバムグラ、ヤナギトラノノドクゼリ、ヌマゼリ、他多数。



C-4 【ミズゴケ湿原】 ...その発達は年1ミリ

河川の流水の影響を受けなくなり、水位の比較的安定したスゲ原にはミズゴケ湿原が発達していきます。ミズゴケは高層湿原の代表的な構成要素です。鱗状の葉に貯水細胞と呼ばれる大型の細胞があり、給水力と貯水に優れています。これらは群生し、ぎっしりと束状に集合し、毛細管現象で水位を上へ上へと引き上げ、また自らも水を引き上げられる限り上へ上へと茎を伸ばしていきます。その結果、他の面より水位が引き上げられ高層湿原が作られるのです。

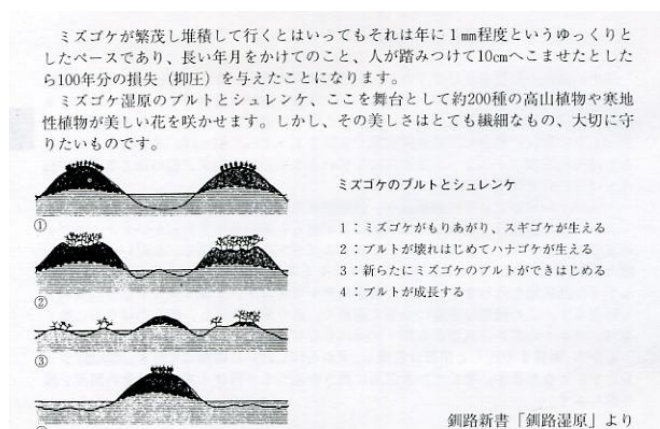
ミズゴケの種類は日本に40種あまり、釧路湿原では約20種が見られます。

ミズゴケの発達は、冠水したスゲ原にまず明るい淡緑色のやわらかいオオミズゴケ、ヒメミズゴケ、ウツクシミズゴケウロコミズゴケなどが登場し、次第に水面から盛り上がってくるとイボミズゴケやムラサキミズゴケに変わり、「ブルト」と呼ばれる小さな凸状地を作ります。さらに種類はチャミズゴケ、アカミズゴケなどに変わっていきます。この種類は非常に小型で細長く、より密に群生し、吸水力はさらに強くなり、ブルトの高さは水面から30～40センチにもなります。

しかし、限界まで行くと頂部は乾燥し、ブルトは次第に崩壊して域、凹状地「シュレンケ」となります。そして、水位面に高さが近づくと再びミズゴケはその繁茂を繰り返します。

ミズゴケが繁茂し堆積していくとはいってもそれは年に1ミリ程度というゆっくりとしたペースであり、長い年月をかけてのこと、人が踏みつけて10センチへこませたとしたら100年分の損失（抑圧）を与えたことになります。

ミズゴケ湿原のブルトとシュレンケ、ここを舞台として約200種の高山植物や寒地性植物が美しい花を咲かせます。しかし、その美しさはとても繊細なもの、大切に守りたいものです。



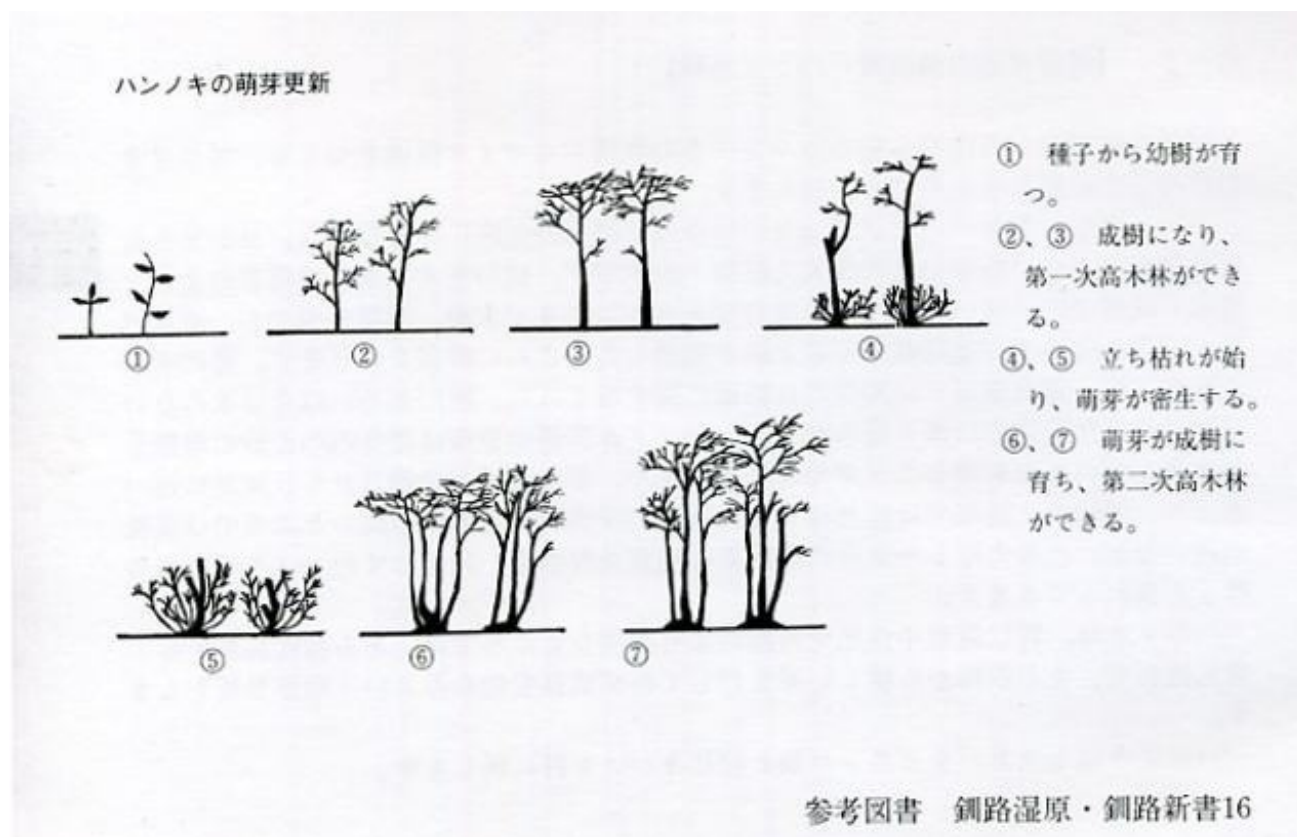
C-5 【湿原景観の演出家・ハンノキ林】

周辺の展望台から湿原を見るとハンノキの群落がモザイク模様をつくり、アフリカのサバンナを思わせる風景といわれます。

ハンノキは一名ヤチハンノキ（ヤチは谷地で湿地の意味）とも呼ばれ、ヨシとともに群落をつくり、低層湿原の代表的植物・樹木です。他の樹木と違って湿原のような過湿で生育条件の悪いところでも成育できるハンノキですが、湿原の中でも、流入河川や周辺丘陵地から運ばれてくる土砂が堆積したところに群落を作ります。常に土砂の流れ込む、釧路湿原では西側の丘陵地に接するところ、河川あるいは今は水のない旧河川の自然堤防上に多く観られます。ハンノキ群落の分布は湿原内の土砂の体積分布を示しているとも見る事が出来ます。また、常に土砂が供給される丘陵地に近いところ、河川の上流部では成長は良く、湿原の中央部など水位の低いところでは成長が遅いなど、土砂の厚さや水位の高低など生育条件の違いによってハンノキの成長の様子も変わってきます。

ハンノキは、特に湿原中央部や南部のより過湿なところでは、ある程度成長すると立ち枯れて、その根株から新しい芽を出して再び成長を始めるという萌芽更新をします。

ハンノキは白樺などカンパ類と同じカバノキ科に属します。



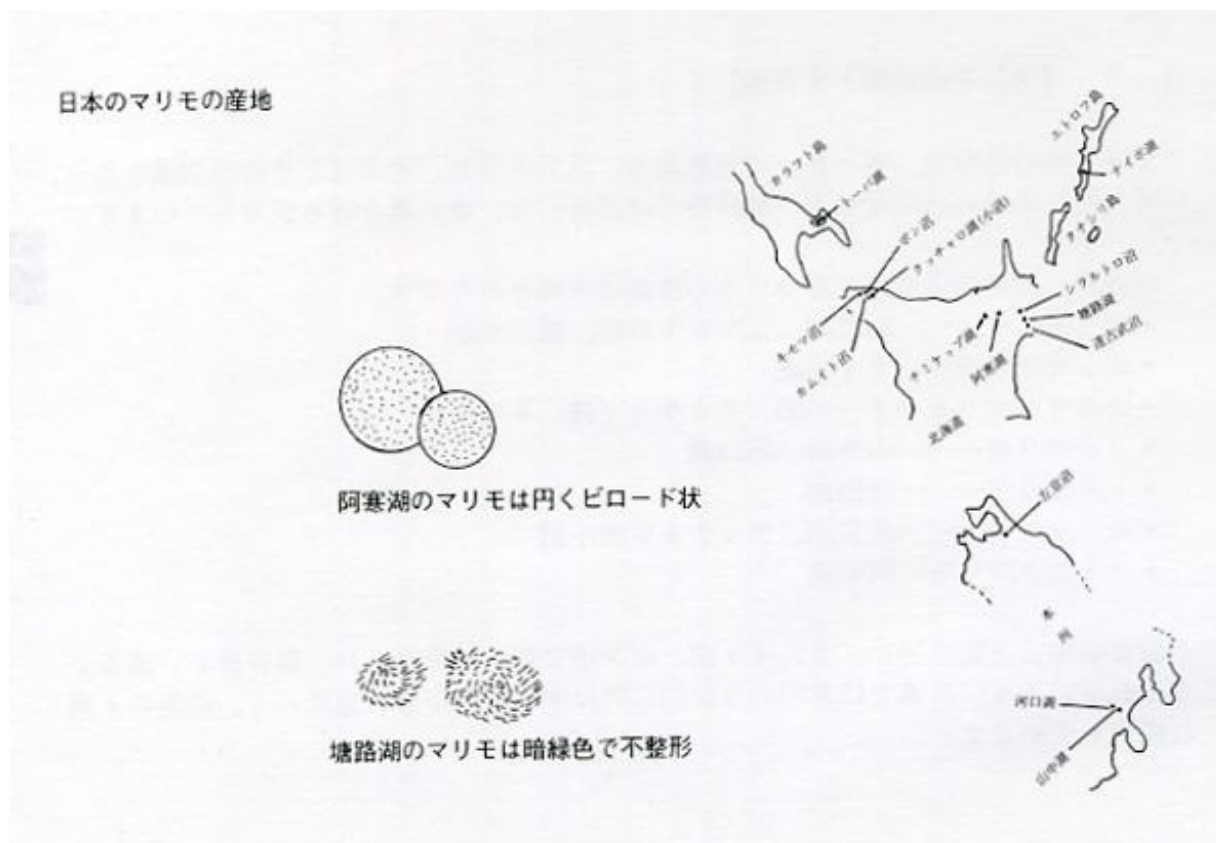
C-7 【マリモの種類と生育地】

マリモ類の分布は、ヨーロッパ北部地方、北アメリカ、北海道とその周辺であり、いずれも北半球の高緯度地方(低緯度では高所)で、寒いところを好み生育しています。

北海道とその周辺で産するマリモの種類は次の通りです。

- ・マリモ ... 阿寒湖、シラルトロ沼、達古武沼
- ・チシママリモ ... ナイボ湖
- ・カラフトマリモ ... トーバ湖、チミケップ湖、キモマ沼
- ・フジマリモ ... 山中湖、河口湖
- ・トロマリモ ... 塘路湖
- ・ヒメマリモ ... 左京湖、クッチャロ湖小沼
- ・フトヒメマリモ ... 阿寒湖

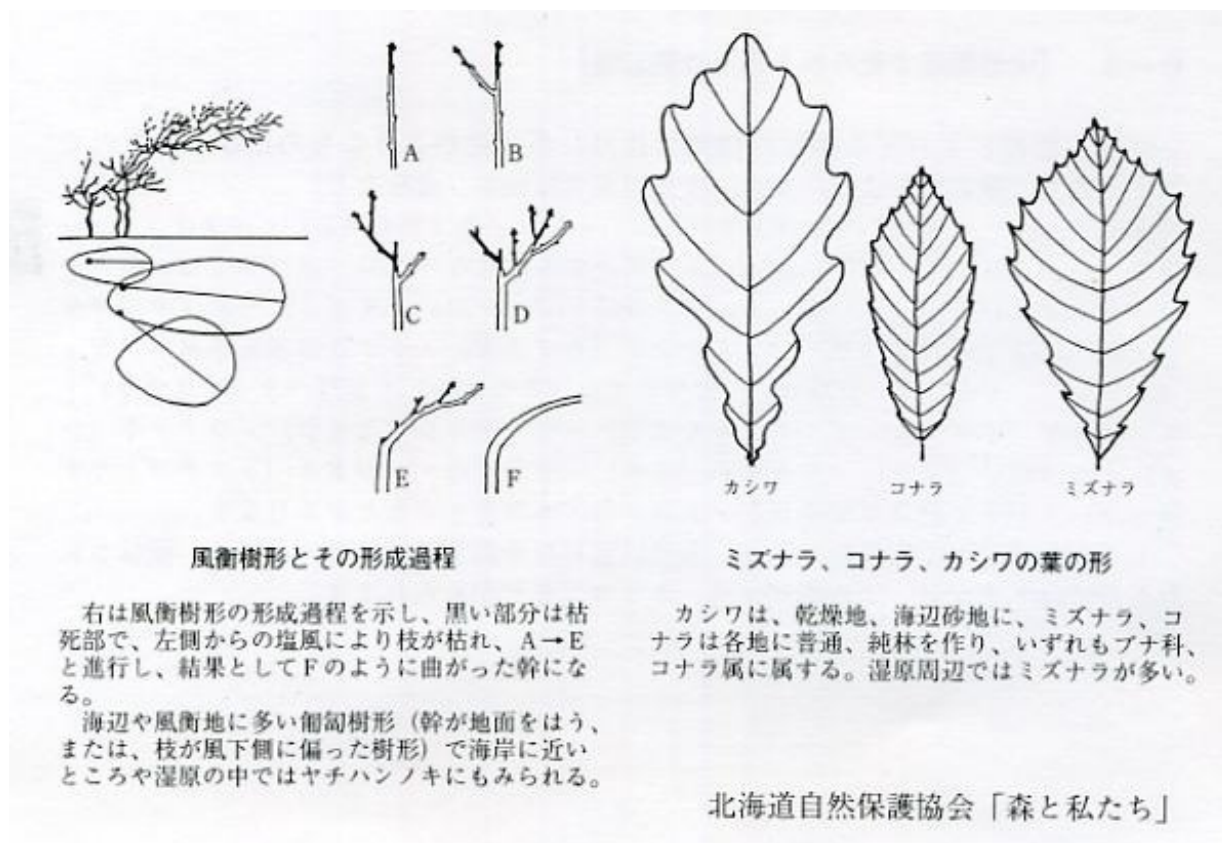
昭和60年、上記以外に、カムイト沼、ポン沼で新たに発見され、現在詳しい調査がなされています。日本では本州の三湖沼以外はすべて北海道、道東の5、道北の4湖に成育しています。



C-8 【湿原周辺で見られる樹木は約30種】

湿原丘陵部に成育する樹木の種類は以外に多く、次のようなものがみられるのでFIELDで確かめてみよう。なお、カッコ書きは別名、通称など。

オニグルミ・ケヤマハンノキ（ヤマハン）・ハンノキ（ヤチハン）・シラカンバ（シラカバ）・ミズナラ・ハルニレ（ニレ・アカダモ）・ヤマグワ・カツラ・コブシ・ハウノキ・ノリウツギ（サビタ）・エゾノコリンゴ（ヒロハオオズミ）・エゾヤマザクラ・シウリザクラ（シウリ）・アズキナシ（カナスギ）・ナナカマド・イヌエンジュ（エンジュ）・キハダ（シロコ）・ヤマウルシ（キウルシ）・ツリバナ（エリマキ）・エゾイタヤ（イタヤカエデ・イタヤモミジ）・ヤマモミジ（モミジ）・シナノキ（シナ）・ハリギリ（セン）・ヤチダモ（タモ）・アオダモ・ハシドイ（ドスナラ・ヤチカンバ）・ヤナギ科はヤマナラシ・ドノロキ・ネコヤナギなどがあります。上の物はすべて広葉樹ですが、天然に見られる針葉樹はほとんどなく、植林されたものではトドマツ・アカエゾマツ・カラムツなどがみられます。



C-9 【釧路湿原の花暦】...①

4月上～5月上 フクジュソウ

4月～5月 チシマネコノメソウ、ネコヤナギ

4月下～5月中 キバナノアマナ、アズマイチゲ、ザゼンソウ

4月下～5月した エゾエンゴサク、ヒメイチゲ

5月 アキタブキ、ヤチヤナギ、ミズバショウ、レンブクソウ、フツキソウ、キタコブシ

4月～6月 キジムシロ、ハンノキ

5月～6月 ヤチダモ、ニリンソウ、ミドリニリンソウ、フデリンドウ、ヒラギシスゲ、オオバナノエンレイソウ、ミヤマエンレイソウ、コミヤマカタバミ、ワタスゲ、ヒメワタスゲ、オニグルミ、ミズナラ、シラカバ、エゾオオサクラソウ、チゴユリ、エンコンソウ、ホロムイツツジ、オランダガラシ、エゾキケマン、クシロワチガイソウ、ガンコウラン、ツルネコノメソウ、エゾネコノメソウ

5月下～6月 エゾクサイチゴ、マイズルソウ、キジカクシ、エゾノウワミズザクラ、ツバメオモト

5月下～7月した ミツガシワ

6月上～78月 オオヤマフスマニシキギ

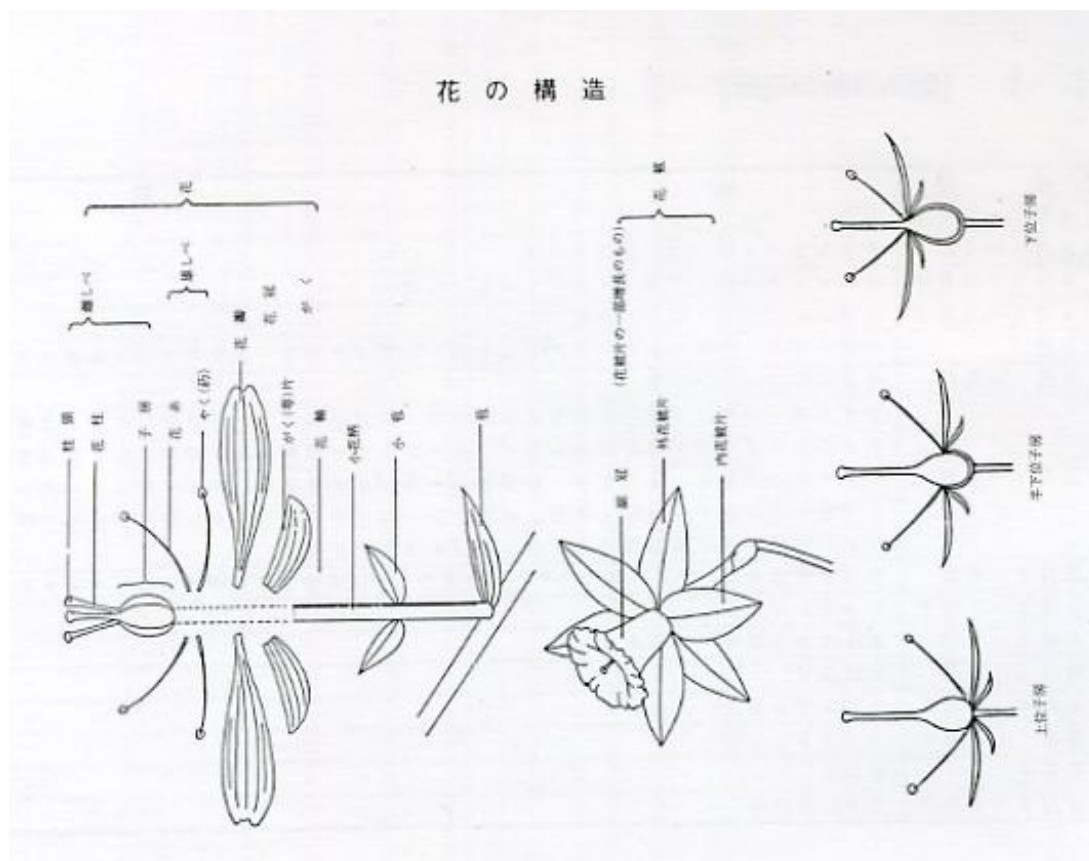
6月上～8月 クロユリ

6月中～7月上 エゾニワトコ

6月～7月中 コツマトリソウ

6月下 マユミ

6月下～7月中 ミツバウツギ



C-10 【釧路湿原の花暦】...②

6月 クロハツリバナ ツリバナ ヒオウギ アヤメ、ヤマグワ、ズダヤクシュ、エゾスグリ、イチイ、ルイヨウボタン、ヤマブドウ、アカミノルイヨウショウマ、オオアマドコロ、スズラン、スマレ

6月～7月 クサノオウ、ユキサギチョウセンゴミシ、ウメガサソウ、オオヤマオダマキ、コンロンソウ、クスロハナシノブ、コケイラン、アオチドリ、ヒメシャクナゲ、コケモモ、ツルコケモモ、クロミノウグイソカグラ、フタマタイチゲコウライテンナンショウ、カラフトイバラ、トキソウ、ハリエンジュ、ギンリョウソウ、フタリシズカ、ヒトリシズカ、ヒメカイウ、クロイチゴ、オオタカネイバラ、

6月中～7月 エゾイツツツジ、クルマバツクバネソウ、エゾゼンテイカ、

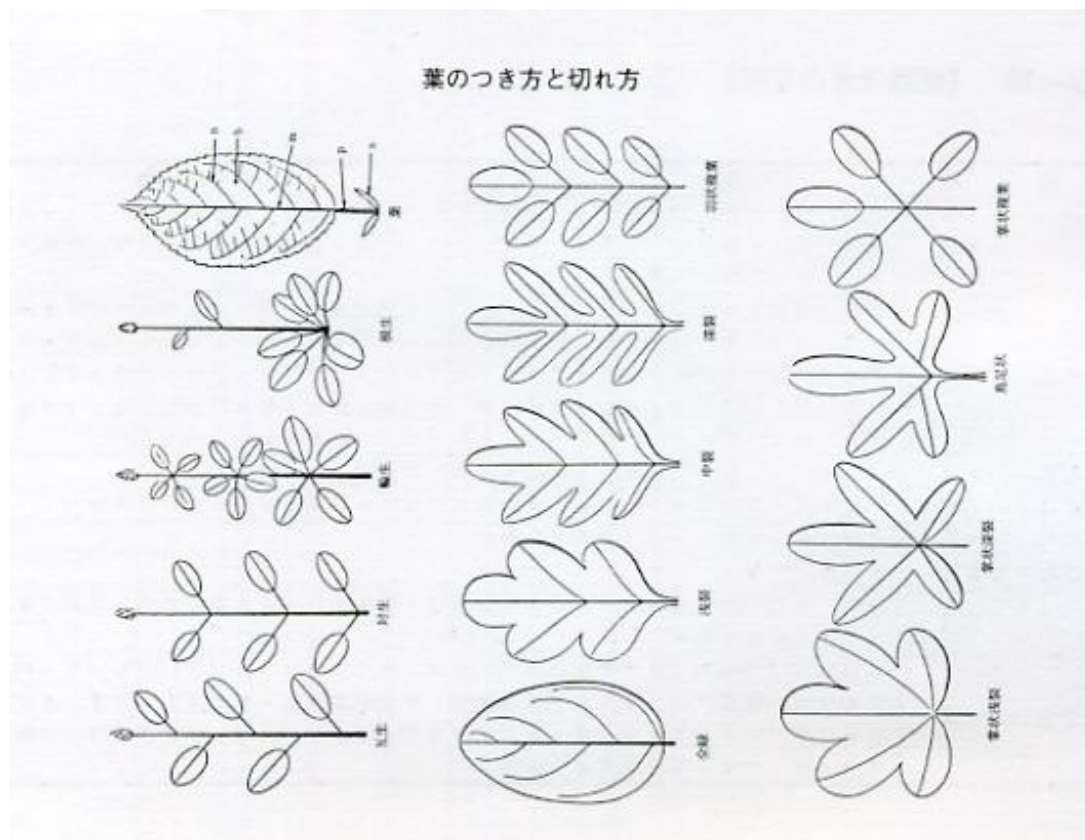
6月下～7月 ハシドイ、カンボク、ベニバナヤマシャクヤク、エゾイチゴ、クマイチゴ

6月～8月 ヤマブキショウマ、コウリントンポポ

6月 と 9月 センボンヤリ

7月 クロバナロウゲ、ニガナ、エゾスカシユリ、サルナシ、オオカサモチ、ミズチドリ、イヌスギナ、セリ

7月～8月 ホロムイソウ、エゾオオヤマハコベ、タマミクリ、ヒシ、エゾノレンリソウ、バイケイソウ、カラムツソウ、エゾイヌゴマ、タチギボウシ、ヤナギトラノオ、エゾノシモツケソウ、オオツメクサ、オニノヤガラ、オオウバユリ、オオダイコンソウ、タラノキ、ヤマトキソウ
ヤナギラン



C-11 【釧路湿原の花暦】...③

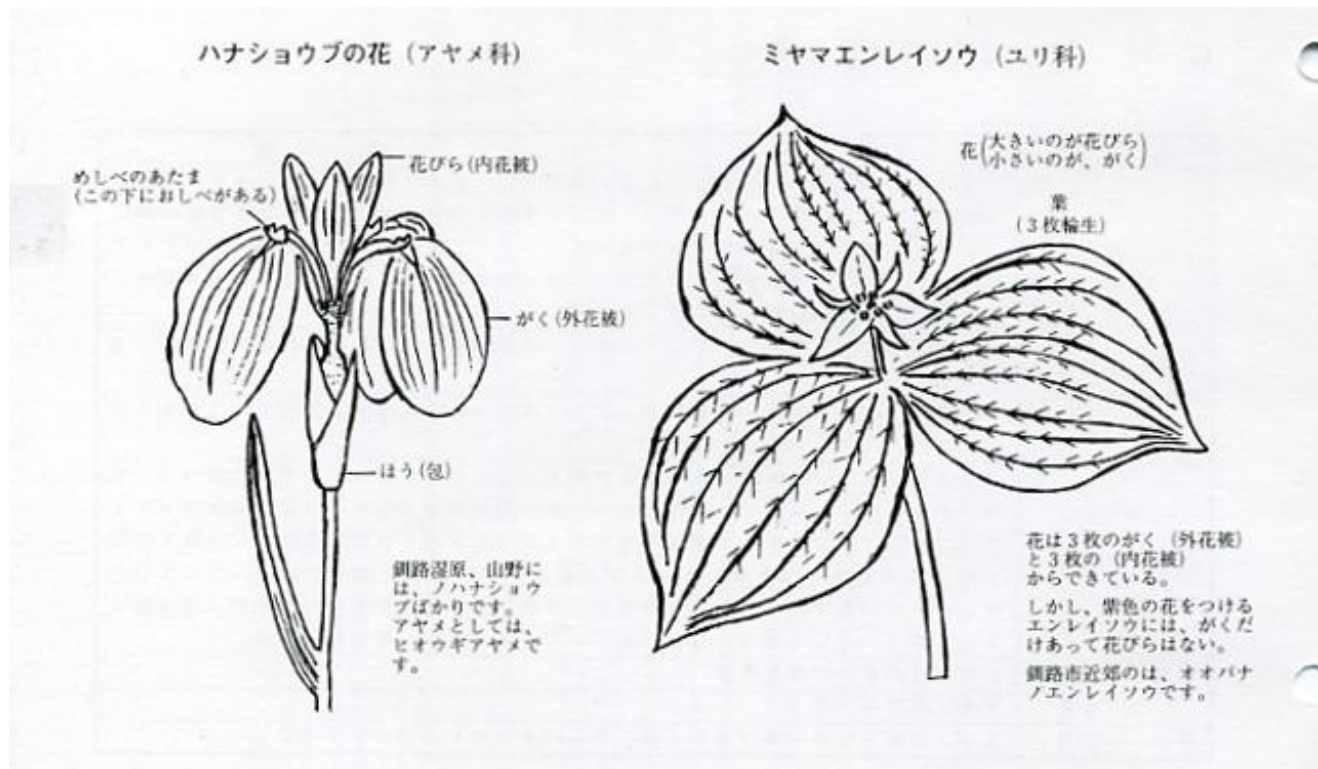
7月～8月 フトイ、サワラン、ノハナショウブ、クサフジ、ヒメコウガイゼキショウ、エゾヒツジグサ、ネムロコウヒネ、ガマ、エゾタツナミソウ、バアソブ、ヒルガオ、トリアシショウマ、エゾムラサキニガナ、ネジバナ、イケマアカソ、モウセンゴケ、ウメバチモ、ホソバイラクサ、アキカラマツ、コタヌキモ、ムラサキミミカキグサ、トモエソウ、ゴトウヅル、エゾミソハギ
7月～9月 ナンテンハギ、ヒロハマンテマ、ハリイ、ナガボノシロワレモコウ、アレチマツヨイグサ

8月 ウマスギゴケ、ホザキナナカマド、クルマユリ、オニユリ、ドクゼリ、ミズオトギリ
8月～9月 サジオモダカ、ツユクサ、エゾノミツモトソウ、カワミドリ、ミヤマニガウリ、サラシナショウマ、ホザキシモツケ、ハッカ、ハンゴンソウ、ツリガネニンジン、ミツバフウロ、イヌタデ、エゾトリカブト、キツリフネ、ツリフネソウ、ノリウツギ、キンミズヒキ、コメナモミ、エゾノミスタデ、ミゾソバ、ヤマハハコ、サワギキョウ、エゾヤマハギ、ミミコウモリ、クサレダマ、ヨブスマソウ、ヒメハッカ、タカアザミ、イシミカワ、ヨシ、エゾノキツネアザミ、サワヒヨドリ

8月～10月 ヒヨドリバナ、コガネギク

9月 アキノウナギツカミ

9月～10月 エゾノコギリソウ、エゾリンドウ、ウメバチソウ、ナギナタコウジュ



C-12 【谷地（野地）坊主はどうして作られる】

谷地坊主は道東では知らない人はないほどで、半分は親しみを寄せ、半分はこの利用価値のない谷地坊主に不毛の北国の厳しさを感じ取っていたのではないのでしょうか。谷地坊主は、釧路湿原では湿原の周辺部やハンノキ林内に多く見られますが、この逆徳利型に盛り上がってゆく隆起現象がどのようにしてできるのかよくわからないところもありますが次のように考えられています。

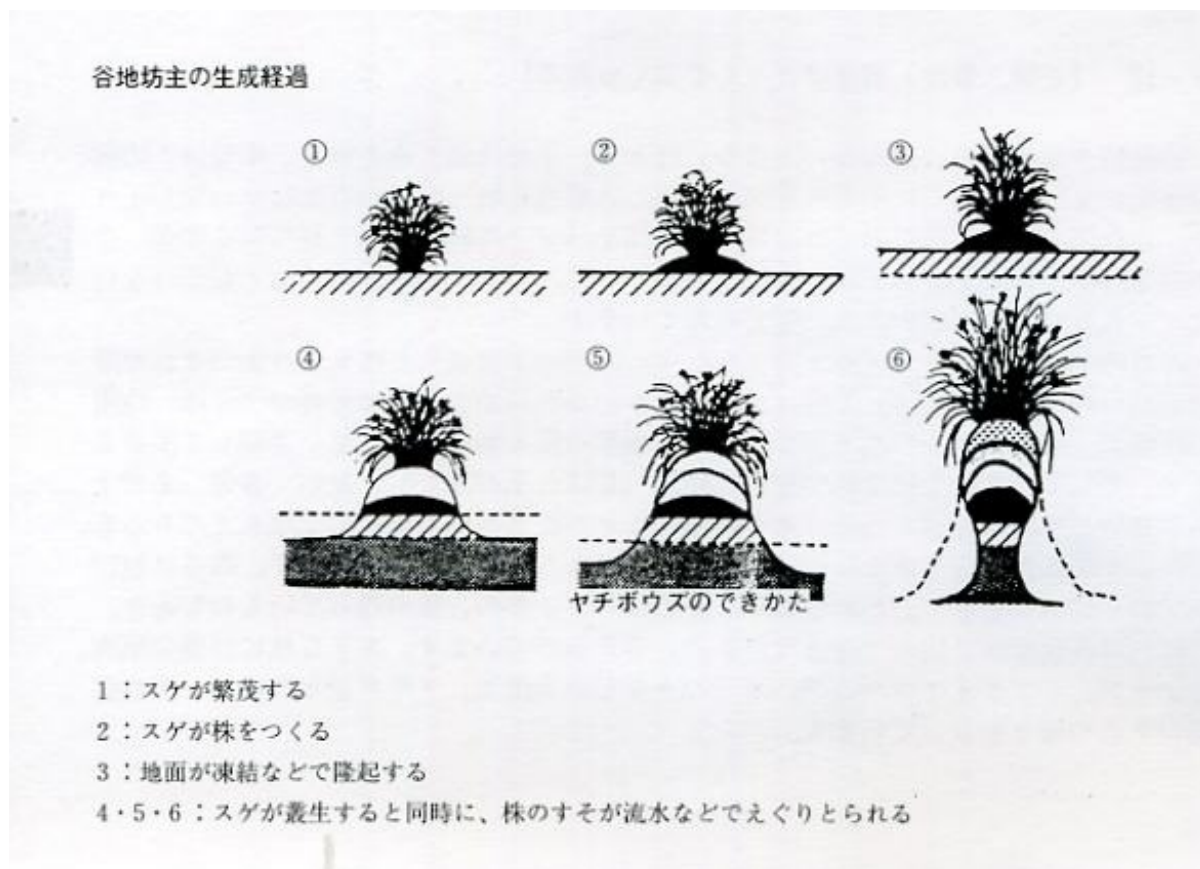
谷地坊主はヒラギンスゲやカブスゲなどのスゲ類が繁茂した株を作りかつそれが隆起したもので「隆起叢株」と呼ばれています。これらのスゲ類は分けつ（分岐）作用が旺盛で、前年の根から地下茎を伸ばし、翌年の根を繁茂させて毎年連続して生長します。そして冬季に土壤凍結で株ごと隆起（しばれ上る）し、やがて春先、まだ土壤が凍結している状態で雪解け水は降雨水などの流水が株の根元の土壤を抉り取る。このような条件が毎年重なり合って谷地坊主になると考えられています。高さは数十年で40～50センチになるといわれており、中にはハンノキの古株が残っているものもあり、これらは古株を取り込んで発達したものと考えられています。大きな株には他の植物、ヒメシダ、エゾオオヤマハコベ、ネジバナなどが共生し、アリが巣を作るなど湿原生物の生活の場ともなっています。

□

C-12 【谷地（野地）坊主はどうして作られる】

谷地坊主は道東では知らない人はないほどで、半分は親しみを寄せ、半分はこの利用価値のない谷地坊主に不毛の北国の厳しさを感じ取っていたのではないのでしょうか。谷地坊主は、釧路湿原では湿原の周辺部やハンノキ林内に多く見られますが、この逆徳利型に盛り上がってゆく隆起現象がどのようにしてできるのかよくわからないところもありますが次のように考えられています。

谷地坊主はヒラギスゲやカブスゲなどのスゲ類が繁茂した株を作りかつそれが隆起したもので「隆起叢株」と呼ばれています。これらのスゲ類は分けつ（分岐）作用が旺盛で、前年の根から地下茎を伸ばし、翌年の根を繁茂させて毎年連続して生長します。そして冬季に土壤凍結で株ごと隆起（しばれ上る）し、やがて春先、まだ土壤が凍結している状態で雪解け水は降雨水などの流水が株の根元の土壌を抉り取る。このような条件が毎年重なり合って谷地坊主になると考えられています。高さは数十年で40～50センチになるといわれており、中にはハンノキの古株が残っているものもあり、これらは古株を取り込んで発達したものと考えられています。大きな株には他の植物、ヒメシダ、エゾオオヤマハコベ、ネジバナなどが共生し、アリが巣を作るなど湿原生物の生活の場ともなっています。



C-14 【湿原の植物と人間】 ..."湿原の植物生産性"と北方民族の知恵②

北方の諸民族にとって湿原は、"そのまま"でも生産性の高い土地であったようです。植物だけでみても、例えばカナダインディアンはヨシを原料の一部としてパンを作り、マコモの実、ツルコケモモの実などを食用にしました。また、アイヌ民族においてもその生活と関連する植物は多く、知里真志保博士は472種を挙げています。衣類、燃料、食料、丸木舟、薬、木幣、住居、道具などに利用した植物は、湿原、湿原周辺に限ってみても多数にのぼります。

アイヌ民族が、ツルコケモモの湿原を「katam-sar」、ヨシ湿原は「sar」、ガマやスゲの多いところを「kina-usi」、林間の湿地を「nitat」、川沿いのものを「perkere」、クマやシカなど大型の獣が水浴びするためのたうちまわるような所（ヌタ場）を「pesa」と呼び分けたと聞くと、湿原の人々の生活とのかかわりの豊かさを感じるのです。

湿原は、"水面の見えないダム"とも言われますが、ちょうどスポンジに水を十分しみこませた状態と言われるように保水機能を持っています。大正の大水害は別としても、これまで私たちがそれと気づかないうちに、大雨を吸収して洪水被害を防いでくれたことがあったに違いありません。今も釧路湿原は、釧路川水系の遊水地として、災害防除のための重要な機能を果たしています。

カナダ東部地方五大湖周辺は、湖の存在が気候を緩和していると聞きますが、"水面の見えないダム"湿原も全く同じような効果、機能を地域的な気候に対してもっているはずです。例えばタンチョウが生息することは凍らない水域があることを意味し凍らない水域があるということは湿原のもつ保熱能力をあらわすといえるでしょう。サロベツ湿原のデータでは、水が十分に含まれる湿原では日中の保熱量が大きく、夜間の温度低下量が乾燥した湿原よりもはるかに少ないことが示されています。アメリカはフロリダのエバーグレースでは、地下水位が下げられたため、地域の気温が低下してフロリダで霜が降りるという結果が生じたため、再び水位を上げて気候緩和能力を保持させたという例もあるのです。

今後、湿原そのものの持つこの保水、保熱機能を生かした新たな利用が考えられるかもしれません。

【湿原と人間社会のかかわり】 ...湿原の機能と利用②

低層湿原を代表するヨシ群落は、近年、水質浄化のための、いわばバイオフィルターとしての効用を認められ、小規模な廃水処理への利用が考えられています。オランダなどで実験的研究が行われているとのことです。

また、ミズゴケの持つ吸湿性、断熱性を利用して古くから家屋の充填材や断熱材として用いられ、時にはハウタイや脱脂綿の代用品として医療用にも使われました。

湿原の産物、泥炭の利用で知られるのは燃料としての利用です。東北地方では古くからサルキまたはサルケ(アイヌ語起源で「燃える土」)と呼ばれ燃料として使われ、北海道でも少し前まで泥炭ストーブがありました。ヨーロッパなどでは今でも泥炭発電所があるということです。

その他泥炭の持つ吸湿、吸着という性質を利用して、オイルフェンスや、栽培漁業用に、余分な飼料を吸着して水質の汚濁を防ぐための吸着剤などとしても使われています。また、中国では土壌改良剤として広く使われているとのことです。

C-16 【アイヌ民族における有用植物】...①

食用（１２０種以上） ...オオウバユリ、ギョウジャニンニク、ニリンソウ、ヤブマメ、エゾエンゴサク、ヒシなどが著名。

住居用（２０種以上） ...屋根、壁、簾（すだれ）、柱、敷物、ゴザとその模様、垣。

衣類用（２０種前後） ...織物とその模様、糸、沓下、脚絆、雨具、靴、わらじ、草履、靴の中にいれる保温材、下駄、笠、平紐。

道具用（８０種以上） ...盆、木鉢、組、杓子、ひしゃく、へら、臼、杵、手桶、水汲桶、チンキ（小型の容器）など炊事用、食事用の道具、生活上の木工品、火気を扱うための道具、刃物の柄や鞘、弓矢を作るために、また、灯火、燃料、粘着材、矢毒用にと、様々な用途に、多くの植物が利用された。

遊具用（１４種余り） ...ヨブスマソウ、ミミコウモリ、タンポポ、オオバコ、イケマ、キツリフネ、エゾムラサキツツジ、ムラサキツリバナ（クロツリバナ）、ハマナス、ナガバヤナギ、サイハイライン、チシマザサ、ヤマドリゼンマイなど。

タバコ用(6種あまり) ...ノブキ、イソツツジ、キバナシャクナゲ、エゾスカシユリ、コタニワタリ、ヤマブドウなど。

薬用(100種以上) ...特にギョウジャニンニクはあらゆる病気に用いた。現在でもその効用が認められている植物もある。

【アイヌ民族における有用植物】...②

呪術用（４０種以上） ...臭気や毒のある植物、味にくせのある植物、棘のある植物に除魔力を認め、木幣、墓標、お守り（人形など）、杖などに使ったり、飲食したり、立てたり、つるしたり、あるいは枕に詰めたり、火をつけたり、撒いたりして魔よけに用いた。臭気のある植物...ギョウジャニンニク、ナナカマド、エゾニワトコ、イブキボウフウ、エゾウワミズザクラ、エゾヨモギ、クルマバソウ、ナギナタコウジュ、エンジュ、エゾハッカなど。毒のある植物...イケマ、ドクゼリなど。味に癖のある植物...センダイカブラ。棘のある植物...タラノキ、ゴボウの実など。

他に、樹液の出る植物（イタヤなど）は乳が出るように、また、果皮のはじける植物（キツリフネ）、大きく伸びる植物（ハイケイソウ）は子供がはじけるように元気であるように、大きく、すくすく伸びるように祈願するために用いられたとのこと。

時節などの判断用...アヤメの花が咲けば魚が上がってくる。フクジュソウの花が咲き出すとイトウが上がってくる。エゾヤマハギの花の咲き始めにマス、散ってからサケがあがる。エゾノシシウドの花が咲き出す頃までにマスがとれなければその歳のマス漁は見込みが無い。

C-17 【ヨシはアイヌ民族の大事な建築資材】

ヨシで葺いた家をアイヌ語で、むンチセ（草・小屋）、きちセ（ヨシ・小屋）といい、ヨシは屋根を葺いたり、壁材に使ったり、すだれも編みました。秋になると鎌と荷縄を持ってヨシを刈りに行くのが婦人たちの重要な仕事でした。

1989年3月25日の北海道新聞に次のような記事が載りました。 「"チセは省エネ住宅" 高い保温効果(アイヌの知恵を実証) ... 『アイヌ住居の長期温度測定』 宇佐美道教育大講師が建築学会で発表―

旭川市郊外に復元されたチセを使って二年前から実施。一方のちせの土間では、氷点下30度にまで下がった厳冬期でも、消えない程度の微弱な火をつけ続け、全く火を使わないもう一方のチセの住居内部の地温、室温を観測記録した。その結果、測定期間中、火を使ったチセの地温は一回も氷点下にならず、1・2月の平均地温は2.1度を保ち、同時期の両チセの地温差は6.6度。時間ごとの地温変動率は火を使わないチセのほぼ1/3にとどまった。また、同期間の室温は火を使った方が氷点下5.6度、もう一方が同12.3度と6.7度の差があり、地温と室温の差はほぼ相関関係にあることも明らかになった。アイヌの伝統的な住居チセの暖房効果がいかに優れているかを研究してきた宇佐美さんは、チセの知恵を今後、現代建築に生かし、省エネ住宅の実現を模索していきたい」という。

ヨシを壁にした小屋にいると、低気圧がきて天候が変わるときには、茎の中の空気が変化するので音がして天気予報になったといえます。

他に笹で葺いた「ウラシチセ（笹・小屋）」、樺皮で葺いた「たッチセ（樺皮小屋）」などがあります。

チセ（家）：伝統家屋は、このように母屋に張り出しがつけられることが多い、母屋の横には仔熊を飼育するオリ、その隣には乾燥させた食料を保存する高床の小屋がある。オリをヘベレセッ、高床小屋をブーという。母屋とブー、ヘベレセットの間の奥にヌサ（祭壇）がある。



ヨシを壁にした小屋にいると、低気圧がきて天候が変わるときには、茎の中の空気が変化するので音がして天気予報になったといえます。

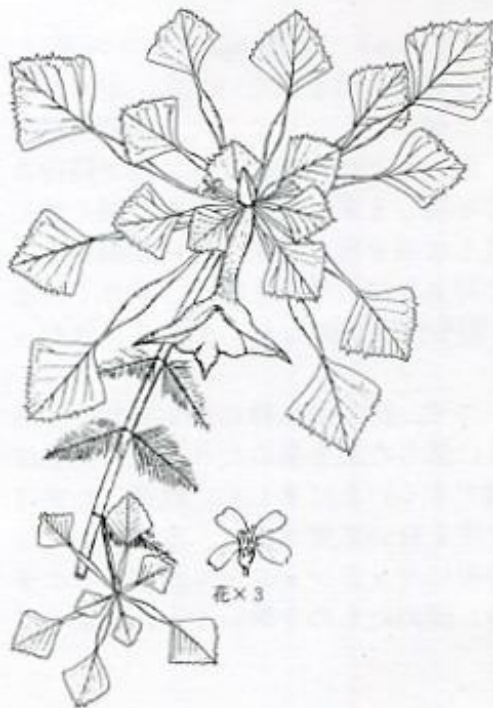
他に笹で葺いた「ウラシチセ（笹・小屋）」樺皮で葺いた「たッチセ（樺皮小屋）」などがあります。

チセ（家）　：伝統家屋は、このように母屋に張り出しがつけられることが多い。母屋の横には子熊を飼育するオリ、その隣には乾燥させた食料を保zんする高床の小屋がある。オリをへべレセッ、高床小屋をブーという。母屋とブー、へべレセットの間の奥にヌサ（祭壇）がある。

ヒシの実には「kisara (その耳を)・tarara (立てている)・pekanpe (ヒシの実)」というように、見る人に生き物を想像させる何とも奇妙な形をしています。がく片が変化した長く太く丈夫な刺があります。いつ、どこが、どうなってこんな形の実が出来上がるのでしょうか。熟した実は落ちやすく、落ちると水の底に沈み、刺が錨のような役目を果たし、泥に食い込んで固定し翌年芽を出します。茎は水面まで細く長く伸び、その先にたくさんの菱形の葉が集まって広く水面を覆います。長い葉柄の中ほどが膨らんで浮き袋の役目を果たします。8月上旬より白色の花を開き、8月下旬より熟します。「水中にもぐると茎が身体にからみ、実も引き寄せられ、チクチクあたって痛くて大変」という話を聞きました。

ヒシの実にはアイヌにとって最も重要な食料の一つで、採る前に紙に許しを乞い、感謝する儀式"ペカンペ祭"をしました。採取は水に落ちた実を集めたり、沈んだ実は冬、凍った湖面に穴を開け、長い柄のついた手網ですくいあげました。収穫した実は乾燥して貯蔵し、食べる時には、茹でてそのまま皮をむいて食べたり、皮をむいて中の澱粉質の白い実を出して粥を作りました。その中にギョウジャニンニクの干した芽を刻んだものやオオウバユリの根を臼でついて干し固めたものを砕いて入れて炊いて食べたりしました。

ヒシ *Trapa bispinosa* Roxb. var. *inunmai* Nakano



- 浅水中に群生する浮葉性、ヒシ科の1年草。
- 和名の語源は果実が堅くて堅（ひし）または形から拉（ひし）ぐの意に由来する。また、葉の形が菱形との説もある。
- ヒシの実の変異が多く、白亜紀後期以降北半球から多くの古型遺体が得られ、その進化を調べるすばらしい材料とか。

滝田謙譲著 東北海道の植物より

知里真志保博士によれば「アイヌ語では木や草の部分部分の葉はあるが、その木、その草全体を表す名称は存在しなかった。生活に利害関係を有する植物にのみ名がつき、しかもその利害関係を有する部分にのみ先ず名がつきます。」

ノリウツギについてもほとんどがその茎に付けられた名です。

- ・ rasupa （槍の柄と穂先を継ぐ棒） 一茎、一胆振、日高、足寄、美幌、斜里、名寄。
- ・ rasupa-ni （ラスパを作る木） 一茎、一長万部、幌別、足寄。
- ・ opsa (op・槍 - sa・前) 一茎、一萩伏、宇原川、様に、屈斜路、常呂。
- ・ kirneni(kir・髓-ne・になっている-ni・木) 一茎一真岡。
- ・ kisirini（きせる・木） 一茎一真岡。

ノリウツギの材で槍、矛、鋸の柄と穂先を継ぐ棒を作り、この木の柔らかい髓（中心部）を抜いて煙管を作ったり、火バサミ、火箸、へら箸、編み針、花矢、矢の柄なども作りました。いずれも茎が使われ、それに対して名が付けられました。

針金などで簡単に中空になる芯（髓）を持つ木、また和紙をすくための糊がとれるので、“糊空木”。和名の法もアイヌ語の名前の付け方に似ています。

純白な木質を生かしたペンダント、指輪など民芸土産品として有名なサビタ細工ですが、近年材料の入手難で、余り見ることがないと聞きます。

C-20 【マコモの実は野生の米（ワイルドライス）】

マコモはイネ科の大型多年草で、高さは1.5～2.5メートルにもなり、ヨシを越え、ヨシに比べ葉も長く幅広で緑も濃く、ヨシの穂は垂れるがマコモは真っ直ぐ立ち、冬は、ヨシは立ち枯れ田ままだすがマコモは倒伏します。湿原の湖沼や春採湖に自生し、シラルトロ沼が分布の東限といわれています。

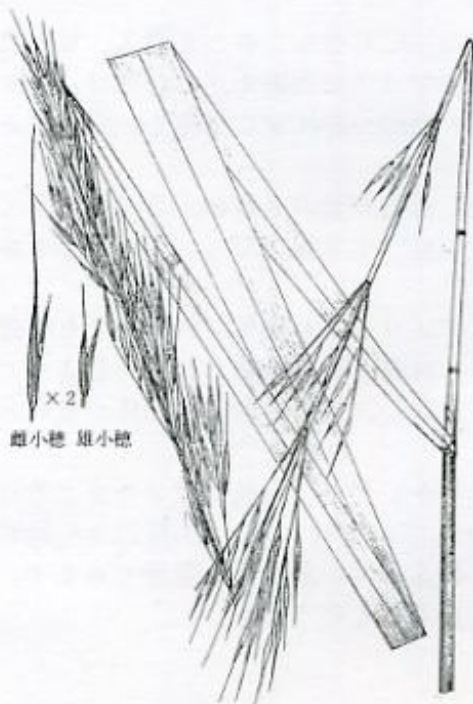
マコモの実"ワイルドライス"は黒褐色で細長く普通の米の2倍の大きさと、とても硬く、やわらかくするのに時間がかかり、たっぷりの水でじっくり煮るとか、水に一晩つけておくなどの工夫が必要です。

カナダインディアンはマコモの実を食料にし、アメリカにも輸出され、今でも料理の付け合せやスープなどに使われ、高価なグルメ材料として珍重されているようです。マコモ属はアフリカ、インド、中国など広く分布し、昔から多くの民族が食料として利用して来ました。

アイヌ民族はマコモの実を食用にしたのでしょうか。アイヌ民族がマコモをどの様に呼んでどのように利用したのか明確なことは解っていませんが、120種以上の植物を食用として利用したとされています。この中に入っていることも想像できます。

マコモはまた漢方薬として著名で、二日酔いに良く効くそうです。

マコモ *Zizania latifolia* (Griseb.) O. Stapf



- ・浅水中に群生するイネ科の多年草。
- ・花期は8～10月。
- ・単性花。上部の小穂は雌性。1個の雌花からなり淡黄緑色。
- ・先は芒となり、^{ゴロイ}護穎と^{ナイレイ}内穎（小穂の根元にある数個の葉）の2片からなる。
- ・下部の小穂は雄性で、淡い紫色をおび先は尖るが芒とならず、護穎と内穎、及び6本の雄しべからなる。

滝田謙譲著 東北海道の植物より

D-1 【釧路湿原の動物相】

釧路湿原は、特別天然記念物タンチョウをはじめ、氷河期の遺存種で北方系のキタサンショウウオ、エゾカオジロトンボ、イイジマルリボシヤンマなど多くの希少種、貴重種が生息し、豊かな動物相を形成しています。釧路湿原の保全はこれら野生動物の保護の上からも重要です。釧路湿原とその周辺部を含めて、現在までに確認されている動物は次の通りです。

（ア）哺乳類：小型のものではネズミ類、野生化したミンクのほか、周辺部にはウサギ、リスの類、キタキツネ、エゾシカなど9科24種が生息。

（イ）両生類：注目すべきキタサンショウウオの他エゾサンショウウオ、エゾアカガエル、アマガエルの3科4種が生息する。

（ウ）爬虫類：トカゲ、シマヘビ、アオダイショウ、カナヘビ、ジムグリの3科5種が生息する。

（エ）鳥類：特別天然記念物タンチョウ、天然記念物オジロワシ、オオワシなどのほか水鳥類も多く38科164種が確認されています。

（オ）魚類：日本最大の淡水魚、幻の魚と呼ばれ、絶滅が危惧されるイトウはじめ、釧路川本流域に23種、支流域に15種、湖沼には17種が生息し全体では11科30種が確認されている。

（カ）昆虫類：北海道だけに分布する北方系種のエゾカオジロトンボ、イイジマルリボシヤンマなどトンボ類46種、蝶類84種、ガ類892種、その他121種、合計で1,142種が記録されています。

わが国に生息する野生動物の概要（環境庁自然保護局資料）

【動物】哺乳類130種（うち鳥獣保護法対象種 79種）

鳥類506種（うち鳥獣保護法対象種506種）

両生類50種

爬虫類80種

魚類（淡水） 約180種

昆虫類 約10万種

くも類 1000種

貝類（海産を除く）約730種

十脚類（海産を除く）約150種

【植物】 約5500種（シダ以上の高等植物）

D-2 【釧路湿原の哺乳類】

鹿は偶蹄目（ぐうていもく）シカ科シカ属に分類され、北海道にはエゾシカ、本州にはホンシュウジカ、四国、九州にはキュウシュウジカが、屋久島にはヤクシカが生息します。北海道に住むエゾシカが最も大きく、南にいくに従い小型になります。低温動物は、同じ種でも、近縁種の間でも寒冷地程大型になる傾向があるというベルクマンの規則の例といえます。体重に対する対表面積の割合を小さくして耐熱の発散を防ぐものと説明されています。エゾシカはいわば寒冷地仕様と言うわけです。シカの生息地は、雪の少ないミヤコザサ地帯に多く、北海道の日本海側や、本州では東北地方日本海側など雪の多いところには少ないようです。

湿原とその周辺部に住む哺乳類は大型のものではシカのほかヒグマ、中型ではキタキツネ、エゾタヌキ、エゾユキウサギなどがあります。小型のものではホンドイタチ、コエゾイタチ（イイズナ）、エゾイタチ（オコジョ）のほか野生化したミンクが生息します。ネズミでは、ミカドネズミ、エゾヤチネズミ、エゾアカネズミのほかにモグラに近い仲間のトガリネズミが住んでいます。樹木に被害を与えるのは湿地を好んで住むエゾヤチネズミです。

なお、ニホンカモシカ、ニホンザルは青森県下北半島が北限で北海道には生息しません。

D-3 【エゾシカの生活】

日本に住むシカではエゾシカが最も大きく80kg以上、ホンシュウジカは60～70kg、キュウシュウジカは50kg以下でヤクシカはこれより更に小さくなります。

エゾシカの方までの高さは100cmくらい、角は雄だけにあり長さ75センチで毎年生え変わります。満1歳までは角は生えず、2歳から生え始め3歳であの立派な枝分れした角になります。

シカの生活場所は林の中や周辺部から草地ですが、ササや低木の葉を好んで食べ、えさが不足すると木の皮や里に出て農作物も食べます。冬、積雪の多い地帯では採食活動が困難なため生息数は少なくなります。

シカは警戒心の強い動物で、常に耳をそばだてて周りを見渡し、危険を察知すると鋭い声で仲間知らせ、尻鏡（しりかがみ、真っ白な尻）を開きいち早く逃げ出します。山野ではよく等高線に沿ったシカ道（けもの道）が見られ、また、ほぼ同じ場所で多く見かけます。行動圏が決まっているのかもしれませんが。最近では、シカと車の交通事故が多発しています。シカが増えたからなのか、あるいは車道がシカの通り道を分断した結果なののでしょうか。

アイヌの人々はエゾシカを、“神が天上でウサギ狩りをする時の猟犬”として崇めていたといいます。

【エゾシカの解剖・生理学的特徴】

枝角：雄のみに生える。かたい骨組織で、盛り上がった角座や肉茎に支えられる。毎年伸び毎年抜け落ちる。1年仔には見字威嚇まっすぐ伸びた1本角（spikes）が映える。年齢が進むとともに枝分かれし、枝角が大きくなるにつれて後方に傾斜する。枝角の大きさは、その個体の体調や栄養の適否にも影響される。発育中の枝角は多数の血管が分布しており、細かい毛に包まれた軟毛皮（袋角）に覆われているが、秋になると血管はひからびてしまい、軟毛皮はこすり落とされてしまう。

歯式： i（門歯）・c（犬歯）・p（前臼歯）・m（後臼歯） = 0・1・3・3 3・1・3・3=34
乳頭 = 4つ

胃 = 4室、第1胃（留胃）、第2胃（蜂巢胃）、第3胃（葉状胃）、第4胃（腺胃）で反芻を行う

眼下腺 = 目の下に位置する皮脂腺。分布物をコミュニケーションに利用する。

行動・小グループを作り社会生活をする。交尾期にはハーレムを作るが、この時期のオスは凶暴である。袋角がとれると枝角を武器に、雄同士で、雌を支配するために戦い、あるいは侵入者からテリトリーを守るために闘う。

食餌：草食動物。草、小枝、葉、樹皮、若枝などいろいろな植物を食べる。

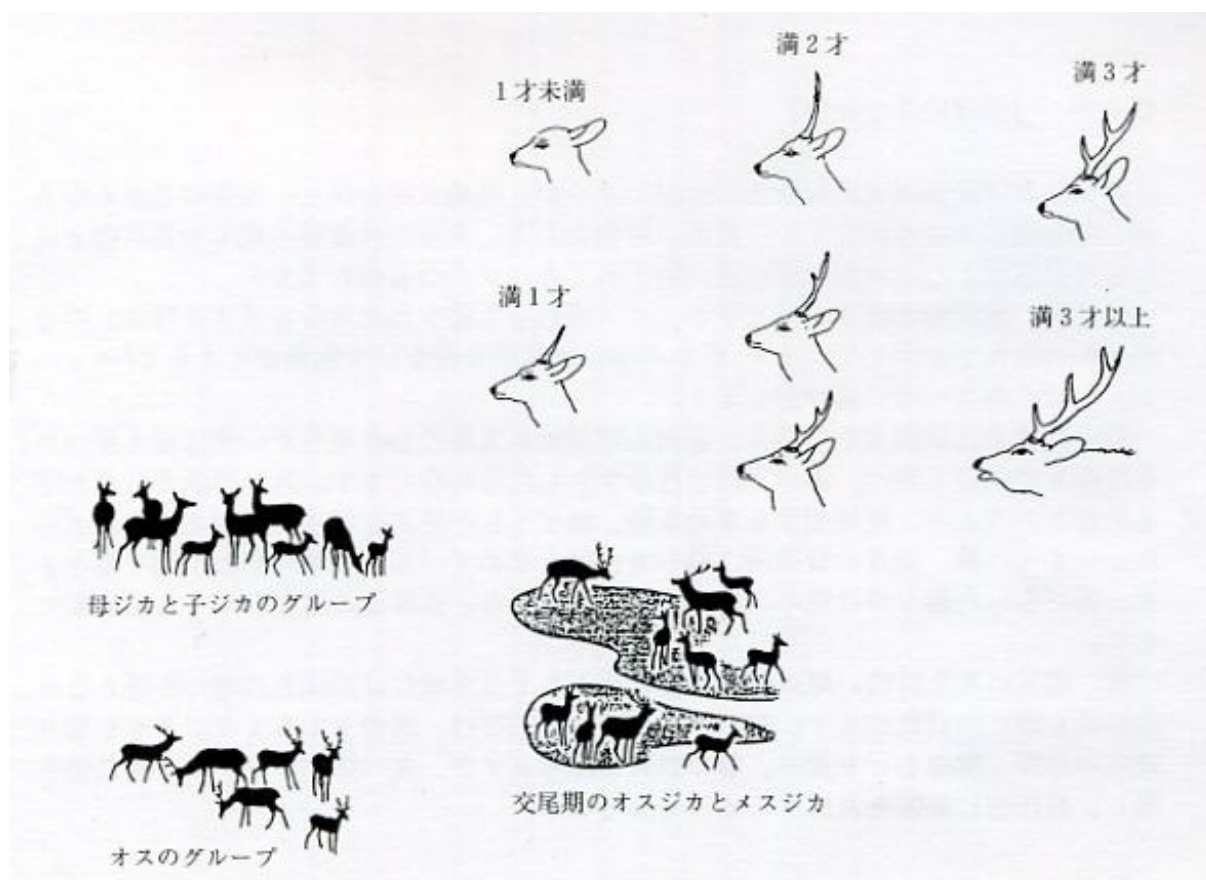
D-4 【湿原のエゾシカ】

エゾシカは湿原周辺の丘陵地に生息しますが、臆病で用心深く、日中はなかなか人前に姿を現しません。古くから狩猟の対象として、あるいは森林の樹木や農作物を食い荒らす有害獣として人間に常に追い回されてきたからかもしれません。

彼らは、繁殖期を除き、母と子の「メス群れ」と雄鹿からなる「オス群れ」のそれぞれの群れで生活しています。群れの中には見張り役がいて危険が迫ると「キョーン」と鋭く鳴き一斉に逃げ出します。

御酢の角は5月ごろ根元から抜け落ち、袋角と呼ばれる丸みのある柔らかい角に生え変わり、8月頃まで成長を続け、あの立派な枝分れした角になります。角は外的から実を守る武器というより、結婚相手を求めるとき、押す同士が優劣を競うシンボルだと考えられています。秋、10月の繁殖期、雄シカは雌を求めて「ピュイヨー」と甲高く鳴きます。身ごもったメスジカは翌年の初夏、群れから離れ、丘陵地の奥でひっそりと出産します。

夏、明るい茶色に白い斑点模様だった体毛も9月末ごろには黒褐色の固い冬毛となり、オスの角も固く角質化します。厳しい冬をすごす彼らは、雪ノ下からミヤコザサを掘り、低木の冬芽、樹皮などを食べ、春の訪れを待ちますが、食べ物不足すると里に姿を現し、農作物に被害を及ぼすことにもなります。



D-5 【リス】 ...齧歯目・リス科の小型哺乳類

齧歯とはくさび状の歯という意味ですが、この仲間は、前歯の真ん中の上下4本の門歯がくさびのように鋭く延びています。この歯はとても丈夫で、固い木の実や種を割って食べるのに便利ですが、一生延び続ける性質があり、放っておくと上顎や下顎に食い込んでしまいます。そこでこの仲間は、始終固い木や木の実をガリガリかじっては葉の長さを調節しなければなりません。

日本に住むリス科の仲間は大きく2つのグループに分かれます。一つは、前脚と後ろ足の間に滑空するためのまく（飛まく）があるムササビ、ももんがの仲間で、彼らは飛まくを広げて、グライダーのように空中を移動します。もう一つは飛まくのないリスの仲間です。リスは尾を使ってバランスをとり枝から枝へ飛び移ることもできますが、動きの特徴は、鋭い爪を使って木上を走り回ることです。

北海道に住むエゾリスとシマリスは、同じ森の中でも、樹上と地上とに分かれて住んでいます。エゾリスは主に樹上で暮らし、木の芽や葉、木の実を前脚でもぎ取って食べますが、シマリスはほとんど木に登らず、地上を走り回って、落ちている木の実を食べます。それに主食と成る木の実の種類が異なり、エゾリスは主にクルミの実、シマリスは主にドングリ（カシワ、ミズナラの実）です。秋の終り、エゾリスが地上に降りてきても木の実を奪い合うことはほとんどありません。

蝦夷リスとシマリスの最も大きな違いは冬の過ごし方です。エゾリスは冬の間でも活動していますが、シマリスは土の中に掘ったねぐらにこもって、たくわえておいた木の実を食べては眠る冬護守に入ります。ですから、雪ノ下に埋もれた木の実にはエゾリスだけのものになるわけです。

*エゾリス...北海道の森林に住みますが、あまり高い山にはいません。ニホンリスよりやや大きく、毛深く、黒みが強いのが特徴です。冬ごもりはしません。夏、冬で毛がわりします。冬は耳に長い毛が伸び、夏にはその毛が抜け落ちます。 体長約25センチ、尾の長さ約20センチ

*シマリス...北海道の草原、森、高山にかけて住んでいます。背中に走っているシマは地上では保護色の役目を果たしていると思われます。口の中に袋（ほほぶくろ）があって、そこに木の実をつめてねぐらに運びます。冬はねぐらにこもって冬ごもりします。 体長約14センチ、尾の長さ約12センチ

D-6 【湿原周辺で見られる鳥の特徴】 ...森林・高山の鳥①

○ミヤマカケス...顔に似合わず鳴き方が上手。ニワトリやネコ、ときには人語も真似するあいきょう者だが、他の鳥のえさを横取りするずるかしこさもある。

雑食性で特にナラ、ブドウ、コクワの実が好物。地面を歩行し昆虫やノネズミも食べる。食物を隠す習性があり、食道にたくさん飲み込んでそれをよそに運んで隠す。「カケスの植林」といって、カケスが秋、ナラの実（どんぐり）を食道いっぱいづめて他の場所に隠し、これが地上に落下し、母樹のないところにナラの若木が生えるといわれます。

○シジュウカラ...全体として灰色。首から下腹にかけて太い黒ネクタイ。すばしこい鳥で、枝から枝へと低いところを渡り歩き、越冬中の昆虫の卵や蛹などを食べるので、庭木の害虫を駆除する有難い鳥。春から夏にかけて森林で繁殖し、秋から冬にかけて小群をなして庭先に飛んでくる。

○ハシブトガラ...シジュウカラよりも小さく、北海道の丘陵地の林に住み、秋から冬には市街地にも来る。

○コガラ...ハシブトガラとほぼ同じ大きさで良く似ている。北海道から九州の山地の林に住む。コガラ、ハシブトガラともに軽快な動きをし、気が強い。ハシブトガラはコガラに比べ嘴が太い。

○アカゲラ...5月・6月頃森の中でカラカラカラン...という音をツク。アカゲラが鋭い嘴で枯れ木をたたいて虫を探している。また、鋭い声で、キョッ、キョッと鳴く。単にキツツキ、ケラとも呼び、森の大工さんというところ。翼に逆八の字型の白斑があり、腹部は白く下腹が赤い。主食は昆虫、クモ類だが、ブドウなどの種子も食べ、警戒心の強い鳥。

○コゲラ...こげ茶の白の斑紋、スズメ位で一番小さなキツツキの仲間。ギイー、ギイーと軋るような鳴き方をし、森林に生息するが冬は平地でも見られ、人になつきやすい。

○コアカゲラ...アカゲラよりやや大きく、オスの頭頂は全体が赤く、体色は赤と白と黒のまだらのキツツキ。全国に住み、冬は平地にもおりてくる。

○ヤマゲラ...ハトくらいのもので、背面が緑色、下面は灰色味のある白色。青ゲラは背面はほぼ同じだが、下面に多数の黒っぽい斑点があり区別する。青ゲラは本州以南に住むが、ヤマゲラは北海道の平地から山地に住む。

○アリスイ...キツツキの仲間。その名の通りアリを吸うことに巧み。スズメより大きく前進灰色味をおびた褐色で、灰色、黒褐色の小斑紋がたくさんある。

D-7 【湿原周辺で見られる鳥の特徴】 ...森林・高山の鳥②

○ヒヨドリ・夏は主として森林に生息し、冬になると里山、人家近くに来て、ピィッ、ピィッと高い声でなく。黒っぽく見えるすすけた灰色。飛ぶとき、短くて幅の広い翼をはばたいて体につけ、著しい波状飛行をする。

○キビタキ・夏鳥として5月ごろ飛来し、平地から森林内で繁殖する。他の鳥の鳴きまねもする変化の多い鳴き方のできる鳥。食物は昆虫類が主で、地上の昆虫を見つけると飛び降りて捕まえるとまたもとの枝に戻る習性がある。

○アカショウビン・釧路湿原では少ないが、ナンバンのように赤い鳥。5月ごろ飛来し、森林に生息し、樹洞や樹木の孔に酢を作り、6、7月頃白い卵を5、6個産む。カワセミ科に属し、もともと南方系の鳥。

○カッコウ：カッコウの初鳴きは、多少の差はあっても決まっており、（5月中・下旬）それが過ぎても聞かれない年は凶作だといわれた。カッコウの声はまだ長い冬の終わり、新緑の春の訪れを告げるもの。カッコウは自分では酢を作らず、他の鳥の巣に卵を産んでヒナを育ててもらう「託卵」という習性を持つことで知られている。6月はじめ頃、仮親とすべき鳥のよく鳴いている付近を偵察し、どの素に自分の卵を託すべくかをねらっている。

狙いをつけた仮親が2、3個の卵を産んだ頃を見計らって、仮親の卵を1個取り出して捨て、自分の卵を産んで数を合わせておく。カッコウの卵は仮親の卵より1～3日早く負荷する。孵化したばかりのカッコウのヒナは全力を尽くして仮親の卵を巣外に弾きだす奇習がある。本能によるものとはいえ残酷な仕打ちでもある。仮親は自分の卵がカッコウの子に全部捨てられたことも知らずに、せっせとえさを運んで20～30日も子育てをする。

仮親になるのはオオヨシキリ、コヨシキリ、モズ、ノビタキなどが最も多いという。

○ツツドリ・カッコウの仲間でカッコウより2週間ほど早く飛来し、ポンポンとなく。その習性はカッコウと同様他の鳥に託卵し、体はカッコウそっくりだが、腹部の横縞がカッコウよりあらい。森林内に住み昆虫を食べている。

D-8 【湿原周辺で見られる鳥の特徴】 ...原野、低木林の鳥①

○シマアオジ...4月頃飛来し10月ごろまで泥炭原野でヨシやススキの散生しているような環境を好んで生息する。ヨシやハンノキの枝に止まり、胸をはって、貴公子然として朝から夕方まで、ヒョー、ヒョー、チリ、チリ、チョウ、チョウ、ビリ、バイヒョウとリズム感あふれる声で高らかに鳴く。

○ホオジロ...4月、木陰の雪も消える頃訪れ、林縁の疎開地や雑木林などで繁殖。繁殖期に雄は巢の近くの小木のこずえにとまって、胸を針、美声で、チョン、チョン、ピーッツ、チョン、チュリー、チョンと囀る。昔から、「一筆啓上仕り候」と聞きなされている。

○アオジ...平野から山地の樹林地で繁殖。ホオジロよりも陰性の土地を好む。あまり人目につかないが鳴き声は上品で美声。アオジは「蒿雀」とも書き、蒿は丈の高い草の意味で、その中に住む小鳥という意味である。

○オオジュリン...泥炭原野の湿性植物の生えている根元付近の地上に営巣する。枯れススキに止まって囀っているが、風や自体の重みで揺れると、尾をパッ、パッと開いてバランスをとる習性がある。この鳥は非常に臆病な鳥で、人を寄せ付けず、警戒心が強い。

○ヒバリ...3月の末、日当たりのよいところで、雪が解けたまだらに地面が見えるようになる頃、その頃、一番早く北海道を訪れる小鳥がヒバリである。北海道農業は揚雲雀の快調なメロディーにあわせて始まるといい、青空高く舞い上がり、ピーチク、ピーチクと鳴く。歌や句に多くよまれる。

○モズ...5月頃渡来し、キィー、キィー、キチ、キチと絹を裂くような声でなく。警戒心が強く、酢の場所を誇示しやかましく鳴く。目が鋭く、嘴は鋭いかぎ形。肉食で他の鳥を追い回すなど乱暴な鳥。地面すれすれに低く飛び、舞上がり気味にして木の梢にとまる習性がある。

○ココヨシキリ...主に湿原などの草原で繁殖する夏鳥。地上20～30センチくらいの低いところの茎に巣を作る。湿原で多く見られるが、コヨシキリより大形のオオヨシキリは少ない。ヨシキリ類の巣のあるところには、カッコウがきまって、託卵をねらって偵察している。

○エゾセンニュウ...トッピンカケタカ、トッピンカケタカ...と昼夜をわかたず鳴く。沢沿いのササ地や湿原の草地の中を飛び回るので、声はすれども姿は見えずで姿を見ることは難しい。シマセンニュウとともに夏鳥として普通だが、シマセンニュウはエゾセンニュウよりも少し小さく、鳴き方が違う。

D-9 【湿原周辺で見られる鳥の特徴】 ...原野、低木林の鳥②

○ノビタキ...鳴き方は上手ではないが、オスはとても美しく、小さいながら気品のある鳥。4月下旬頃南方から渡来し繁殖する。いつも地上から1～2メートルくらいの丈の草や低木類に止まる。飛んでいる虫を飛び上がって上手に捕らえることもする。

○キジバト...ヤマバトともいう。北海道では夏の鳥。まだ残雪のある3月末渡ってきて、デデポッポー、デデポッポーと低く眠そうに鳴く。木の実、夏の種子、穀類が主食だが幼虫を食べることもある。昔からキジバトはヒナを育てるとき「鳩乳」を飲ませることが知られている。鳩乳とは親鳥の食べた食物の消化したカユ状のものを口移しでヒナに飲ませること。

○ハクセキレイ...5月頃飛来しヒナを育て10月頃本州に渡って越年する。足を交互に出し、長い尾をひまなく振りながら歩き、飛ぶときはチチッ、チチッと鳴きながら波状形を描く。

○ノゴマ...夏鳥として渡来し泥炭地で繁殖している。雌雄の背面はオリーブ褐色で同色だが、雄の喉にはくさび形の大きな紅色斑があり、日の丸という別名がついているほどで、他の鳥とすぐ見分けが付く。

D-10 【湿原周辺で見られる鳥の特徴】 ...河川、湖沼の鳥

○カイツブリ科...釧路湿原では、夏鳥として普通なカイツブリ、アカエリカイツブリ、まれに旅鳥としてハジロカイツブリ、ミミカイツブリの4種がみられる。5月頃本州から渡来し、常に水上生活をする。水草や藻を集めて皿型の浮き巣を作り、卵を5～6個生む。もぐることが上手で、小魚、水生昆虫、カエルなどを食べる。親鳥がヒナを背に乗せたまま泳いでいることもあり、親子が親密でほほえましい。

○ガン類...ガン類ではヒシクイが旅鳥として春秋、湖沼に立ち寄る。ヒシクイはシベリアの北で繁殖し、サハリン、北海道を経由して本州に渡るものや、日本海を横断して直接北陸地方に渡るもの、朝鮮経由で九州方面に渡るものなど3つのコースがあるという。ヒシの実を好んで食べる場所からヒシクイと呼ばれるようになったとか。日中は湖沼、草原などで休んでいるが、常に1羽の見張りをおいて、他の鳥は頭を背羽の間に入れ、片足で立って眠っている。人などが近づくとき警戒して、頭を高く垂直に立てて見張っている。

ガンは雁行（Vの字型）を描いて飛ぶ。

○カモ類...留鳥としてマガモ、カルガモ。コガモ、ヨシガモ、ホシハジロ、キンクロハジロは少数繁殖する留鳥だが大部分は冬鳥として渡来する。キンクロハジロの他は少ない。夏鳥はオシドリだが少ない。冬鳥は9種。ヒドリガモ、スズガモ、ホオジロガモは普通に見られるが、オナガガモ、ハシビロガモ、ビロードキンクロ、ミコアイサ、ウミアイサ、カワアイサは少ない。他に旅鳥としてまれにシマアジが見られる。

カモ類は一般に雄の法が美しいが、カルガモは雌雄同色。マガモの雄は青首といわれ、雌雄の色彩は全く異なる。

俗にオシドリの契りといわれるが、オシドリは果たして一夫一婦であろうか。どうも群れの中では押すが少なくメスが多い。他のカモ類と同様オシドリも一夫多雌が本当らしい。

○カラス : 日本に定住あるいは渡来するカラス科の鳥は10種、そのうち7種が繁殖する。北海道にはカケス、ホシガラスなど5種が確認されていますが、なんといっても普通に見られるのはハシボソガラスとハシブトガラスです。

両種の見分け方は、ハシボソガラスは細めのくちばし、ガァーッ、ガァーッとにごった声で鳴き、鳴くとき身体を上下させ、ハシブトガラスはくちばしが先まで太く、おでこがでっぱった感じ、カァー、カァとすんだ声で鳴く。

カラスはいろいろは汚物、屍肉を食べるなど掃除屋として有益な面もないではないが、人間を相手に悪さをするほうが多い。「権兵衛がタネまきやカラスがほじくる」とはよく言ったもので、カラスはとても利口で人間の弱点を知り尽くして、人間に近づき、つきまとい、人間から利益の何%かとピンハネしていく。

ハシブトガラスは都会や集落の中、あるいはその周辺の高い木や鉄塔など人間社会により近いところに巣の持ち場があり、ハシボソガラスはこれより遠く離れた山間や海浜の林の中に巣の持ち場を定めています。

小学校唱歌に「...7つの子があるからよ」と7つの卵を産むことになっていますが、ハシブトガラスで4~6子、ハシボソガラスはこれより少なく4~5子のタマゴしかモタナイといえます。

○ムクドリ ... 湿原や丘陵地にも住みますが、秋になって寒くなると都市郊外に集まってきます。田畑の外注を好んで食べ害虫駆除に役立っています。夫婦仲が良く、雌雄交替で卵を温めたり、ヒナには両親で餌を与えるなど、他の鳥にくらべて繁殖条件がよいようです。

ムクドリは普通に見られますが、コムクドリは少ない。

○スズメ...スズメは人間と共に生きています。人家の軒や屋根裏などに巣を作り、食物と住宅が保証されている。そのくせ人間にはなかなかかなれません。1回に5~6個のタマゴを生み、年に3~4回繁殖するので数が減少することはありません。

スズメは朝寝坊で有名ですが、これも人家の周囲に住んで餌が豊富なせいかもしれません。昆虫やクモ類もとって食べるので庭の害虫駆除に貢献していますが、秋になると稲穂に集まってモミを食べるので害鳥になるところもあります。

ニュウナイスズメは、夏鳥として湿原や丘陵地に住み、昆虫を主食としてヒナを育て、8月末から9月中旬には本州に渡り稲作被害を与えるとされます。

D-12 【釧路湿原とその周辺で見られる主な野鳥】 ...①

環境区分 -- 夏鳥 -- 冬鳥 -- 留鳥

釧路湿原周辺の雑木林や低木林草原で主に見られる鳥

ツミ・チゴハヤブサ・クイナ・ヤマシギ・オオジシギ・キジバト・アオバト・ジュウイチ・カウ
コウ・ツツドリ・ハリオアマツバメ・アリスイ・ヒバリ・キセキレイ・ビンズイ・モズ・アカ
モズ・ミソサザイ・ノゴマ・コルリ・ノビタキ・トラツグミ・アカハラ・ウグイス・キビタキ・
エゾセンニュウ・シマセンニュウ・マキノセンニュウ・メボソムシクイ・エゾムシクイ・セン
ダイムシクイ・オオルリ・サメビタキ・コサメビタキ・ホオアカ・シマアオイジ・アオイジ・オ
オジュリン・コカワラヒワ・ベニマシコ・ウソ・イカル・コムクドリ・ニュウナイスズメ

オジロワシ・オオワシ・キレンジャク ツグミ カシラダカ ケアシノスリ ハギマシコ

トビ ハイタカ ノスリ チュウヒ ハヤブサ タンチョウ エジライチョウ オオコノハズク
エゾフクロウ エゾアカゲラ エゾオオアカゲラ コアカゲラ エゾコゲラ ハクセキレイ
キクイタダキ シマエナガ ハシブトガラ ヒガラ コガラ シジュウカラ シロハラゴジュウ
ウカラ キタキバシリ シメ ムクドリ ミヤマカケス ハシボソガラス ハシブトガラス ク
マゲラ

主に釧路湿原で見られる鳥

アオサギ カルガモ クイナ オオジシギ カウコウ アリスイ ハリオアマツバメ ヒバリ
ビンズイ ノゴマ ノビタキ アカハラ ウグイス エゾセンニュウ シマセンニュウ

カシラダカ ケアシノスリ

マガモ トビ ノスリ タンチョウ エゾアカゲラ エゾコゲラ ハクセキレイ シマエナガ
ハシブトガラ ヒガラ シジュウカラ シロハラゴジュウカラ

【釧路湿原とその周辺で見られる野鳥】 ...②

環境区分 -- 夏鳥 -- 冬鳥 -- 留鳥

主に釧路湿原で見られる鳥

コヨシキリ キビタキ センダイムシクイ シマアオジ アオジ オオジュリン コカワラヒワ
ベニマシコ ウソ ニュウナイスズメ コムクドリ

(ナシ)

キタキバシリ ムクドリ ハシブトガラス

河川や湖沼で見られる鳥

カイツブリ アオサギ アカエリカイツブリ カルガモ バン オオバン イソシギ ハリオアマツバメ ショウドウトツバメ カワセミ

ヒシクイ オオハクチョウ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジロ スズガモ ホオジロガモ ミコアイサ ウミアイサ カワアイサ オジロワシ オオワシ ユリカモメ ミツユビカモメ

マガモ ヨシガモ ホシハジロ ノスリ タンチョウ オオセグロカモメ エゾヤマセミ ハクセキレイ ハシブトガラス トビ

湿原道路帯で見られる鳥

オオジシギ カッコウ ハリオアマツバメ ヒバリ ノビタキ シマセンニュウ マキノセンニュウ コヨシキリ シイマアオジ アオジ オオジュリン コカワラヒワ ベニマシコ

ケアシノスリ コチョウゲンハウ コミミズク マヒワ ベニヒワ ハイイロチュウヒ

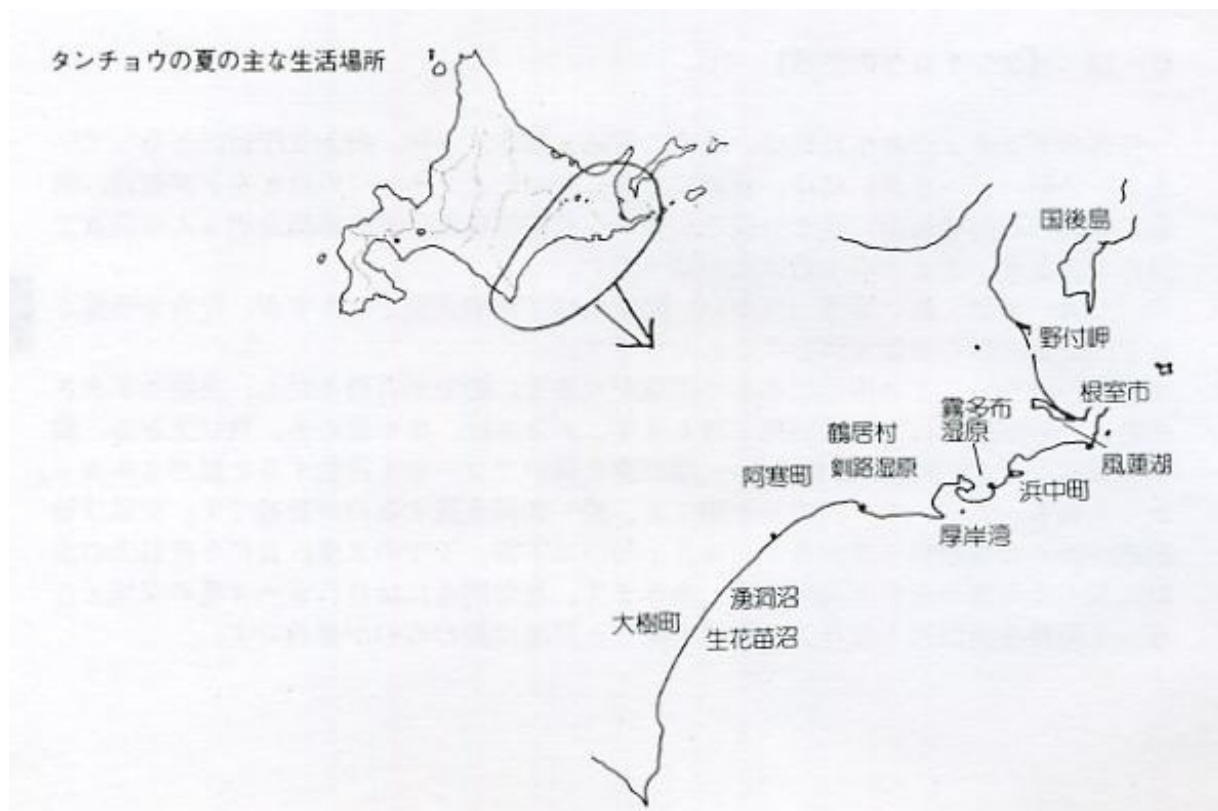
トビ ハイタカ ノスリ ハクセキレイ ハシボソガラス ハシブトガラス

D-13 【タンチョウの生活】...①

日本のタンチョウの生息地は、道東の釧路、根室、十勝、網走支庁管内となっています。冬期（12月～3月）には、各地に分散していたタンチョウのほとんどが釧路、阿寒、鶴居の給餌場周辺に集まり越冬します。丹頂鶴自然公園の高橋良治さんの観察記録によるとタンチョウの生活は次の通りです。

○一夫一婦型 ・ 長い間番（つがい）関係が続け繁殖活動をしますが、片方が事故などで欠けると新たな番を作ることもあります。

○愛の語らい：2月中旬になると頭頂が大きく、鮮やかに輝きだし、夫婦のダンスや鳴き合いが頻繁になり繁殖を迎えます。ダンスは、身体を低める、飛び上がる、翼を広げるなど。鳴き合いは番で行い、雄が空を仰いでコーと一声発するとメスが二声カッ、カッと鳴き、コー、カッ、カッと聞こえ、20～30回連続するのが普通です。交尾は繁殖期の初めは早朝に一度が多く、3月上旬頃は午前、午後の2度。日に2度以上の交尾回数となる頃から営巣場所を捜し歩きます。産卵間近には日に3～4度の交尾となり、1タマゴ目を産出後m続き、2卵目を産むと交尾は終るのが普通です。

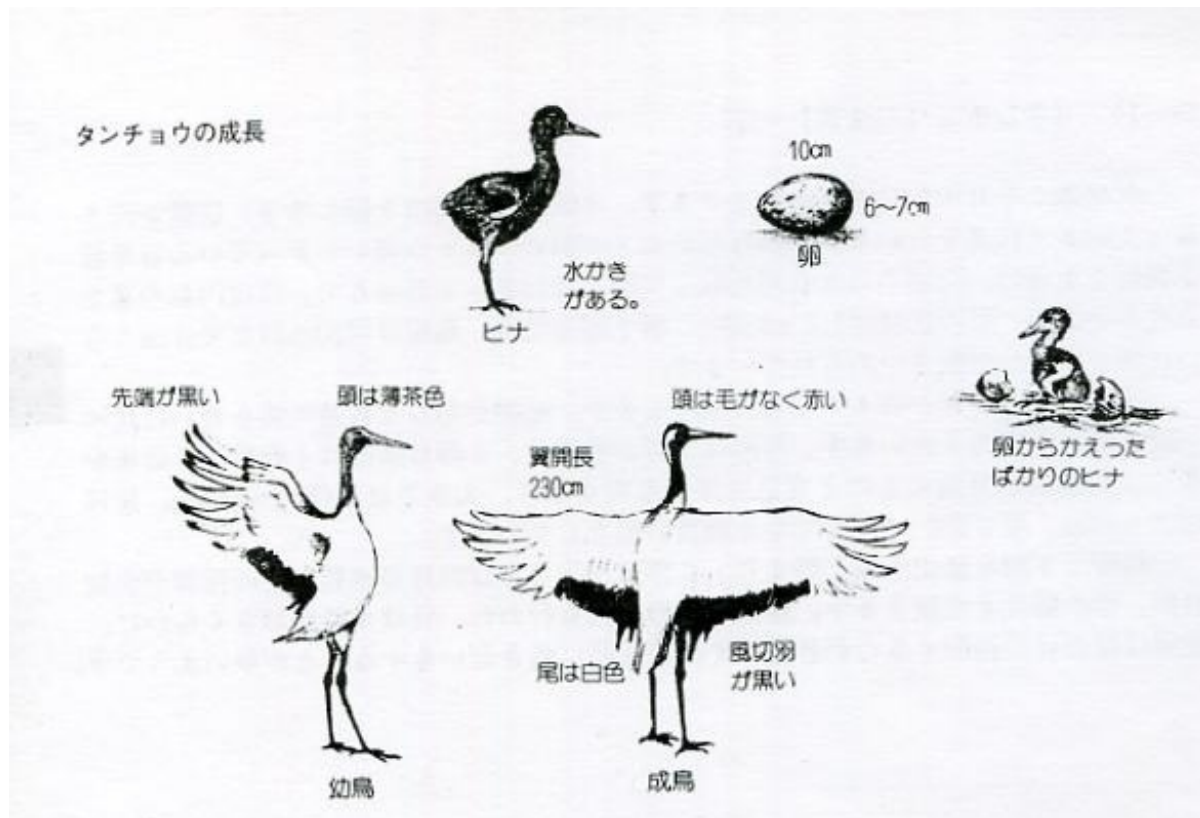


D-14 【タンチョウの生活】...②

○営巣地：3月中旬ごろ営巣が始まります。夫婦で営巣場所を捜し歩き、位置が決まると夫婦ともども作業を行います。巣は枯れたスゲ類のマットが覆いかかっている谷地坊主数個を土台に、周囲のヨシを刈り取って積んでいき、3日ほどで、ほぼ円形の巣を完成させます。巣の直径は1.3 m～2.0 m、厚さ30センチ前後、産座は径30センチほどで3センチくらいに切ったヨシが敷き詰められています。

○産卵：3月順から4月下旬に産卵します。産卵があると普通の鳴き合いに比べ一段と高い声で鳴きあいます。産卵は2卵が普通で、2卵目産出は1卵目の2日後が多く、卵は白色無斑のものと有色有斑のものがあり、大きさは長径98～115 mm、短径62.5 mm～68 mm、重さ202～243 g でやや細長い形をしています。

○抱卵：1卵を産出すると始まり、2卵産出後はほぼ24時間連続しての抱卵が約32日間、卵の孵化まで続きます。雌雄の抱卵交替も行われ、昼は4時間おきくらいに、夜間は雌だけで抱卵するのが普通です。交代時に鳴き合いをすることが多いようです。

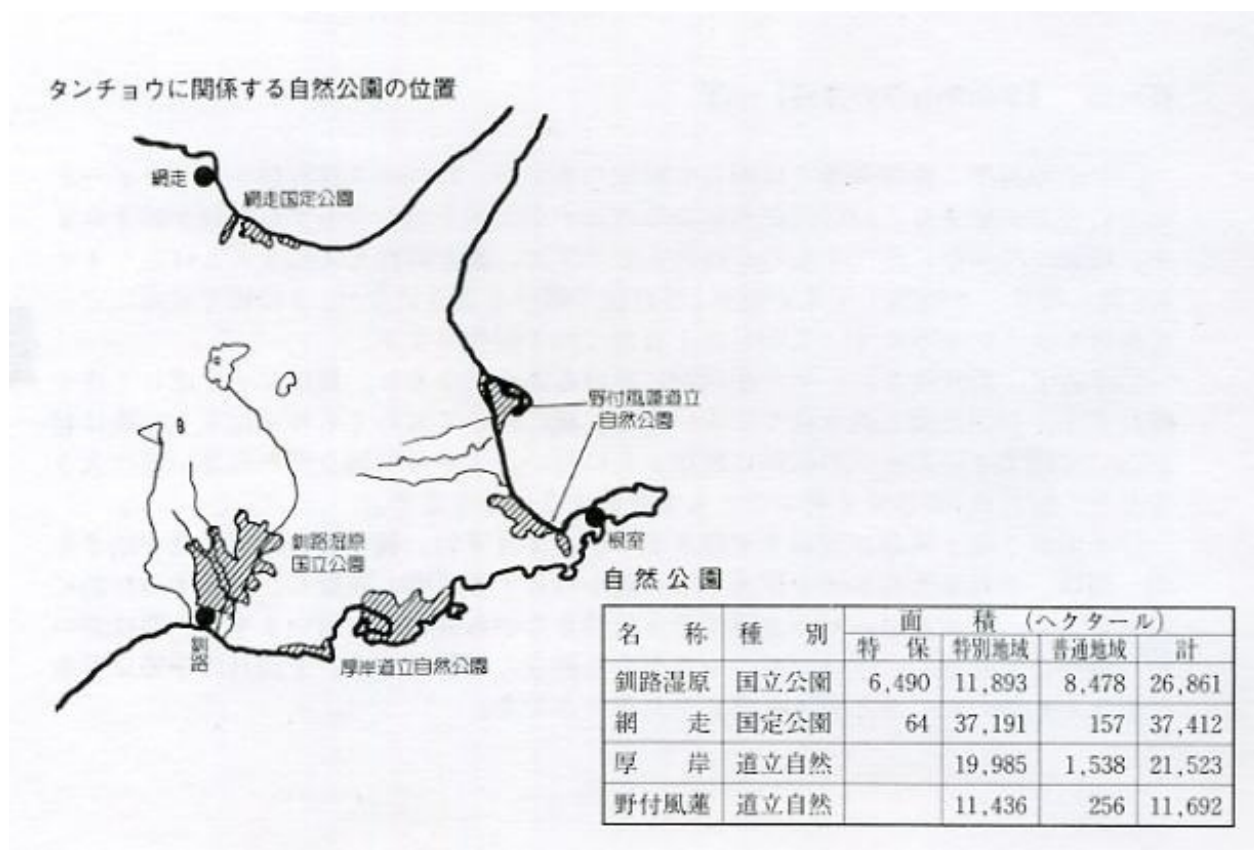


D-15 【タンチョウの生活】...③

○ヒナの誕生：産卵後多くは32日で孵化しますが、孵化の三日程前からピーピーとヒナの発声が始まり、24時間くらい前になるとヒナが卵殻を割ろうとする嘴打が始まります。雌親が抱卵中に誕生するのがほとんどですが親が孵化を手伝うことはありません。誕生後3～4時間で羽毛が乾き、半日位で動けるようになり、3日ほどで自由に立って歩けるようになります。2卵目は1日遅れて孵化します。

○子育て：孵化後3日、ヒナが自由に歩けるようになると、親はヒナを連れて巣を離れます。昼間は親と餌を探して歩いたり、親に抱いて暖めてもらったりし、夜は親が抱いて寝ます。ヒナへの給餌は雌雄共に行い、3ヶ月で親と変わらない程に大きくなり、孵化後100日くらいで跳ぶことも出来るようになります。

○子別れ：親子関係は翌春まで続きますが、2月下旬、親ツルの繁殖活動が始まる頃、親は、それまでのヒナを保護する行動からヒナを威嚇、攻撃し、排斥する行動に変わります。ヒナはピーピーとさびしそうに鳴きながら親の後を追いますが、親は突いたり蹴るなど攻撃し、子はいいやながらも独立していきます。子別れの季節は野生に生きるものの厳しさと強さを感じさせるときです



D-16 【タンチョウの生活】...④

○ツルのからだ： 孵化時は慎重13センチ、体重130g程度、成鳥では翼を広げると2mを超え、背丈は首を伸ばすと170センチ近く、体重は15kgくらいです。雌雄を外観から判別することは難しいが雄のほうが一回り大きい。2歳になると頭の毛が抜け皮膚が裸出し、うすい橙色になり、3歳でいわゆるタンチョウ（丹頂）となります。

○頭頂：いつも鮮やかな紅色とは限らず、季節、天候、感情などにより様々に変化します。寒い冬は小さく縮み、色も黒ずんだ赤であり、繁殖期を迎えると鮮やかな紅となり、一段と大きく見えます。興奮すると真っ赤に、後ろ側に大きく伸ばされ、まさに頭にきている状態を示します。

○羽根：初列風切羽は10枚で白く、次列と3列切羽は16枚と6枚で漆黑。翼をたたんでいると尾が黒いように見えるのは、長い3列風切羽が白い尾を覆い隠すためです。6～8月にかけて換羽します。首、旨、腹、背の小羽は毎年換わりますが風切羽や尾羽は不規則で、風切羽は隔年で換羽するようです。

○食性：幅広く雑食性で、とうもろこし、セリ、牧草の若芽、白菜、レタスなどの野菜、スゲ、ヨシの根など植物質のものから魚、小鳥、昆虫、カエル、ネズミなど動物質のものまで何でもよく食べる。特にウグイ、ドジョウは大好物。小鳥のヒナや野ネズミ、トンボなども好物です。

タンチョウ生息状況一斉調査表

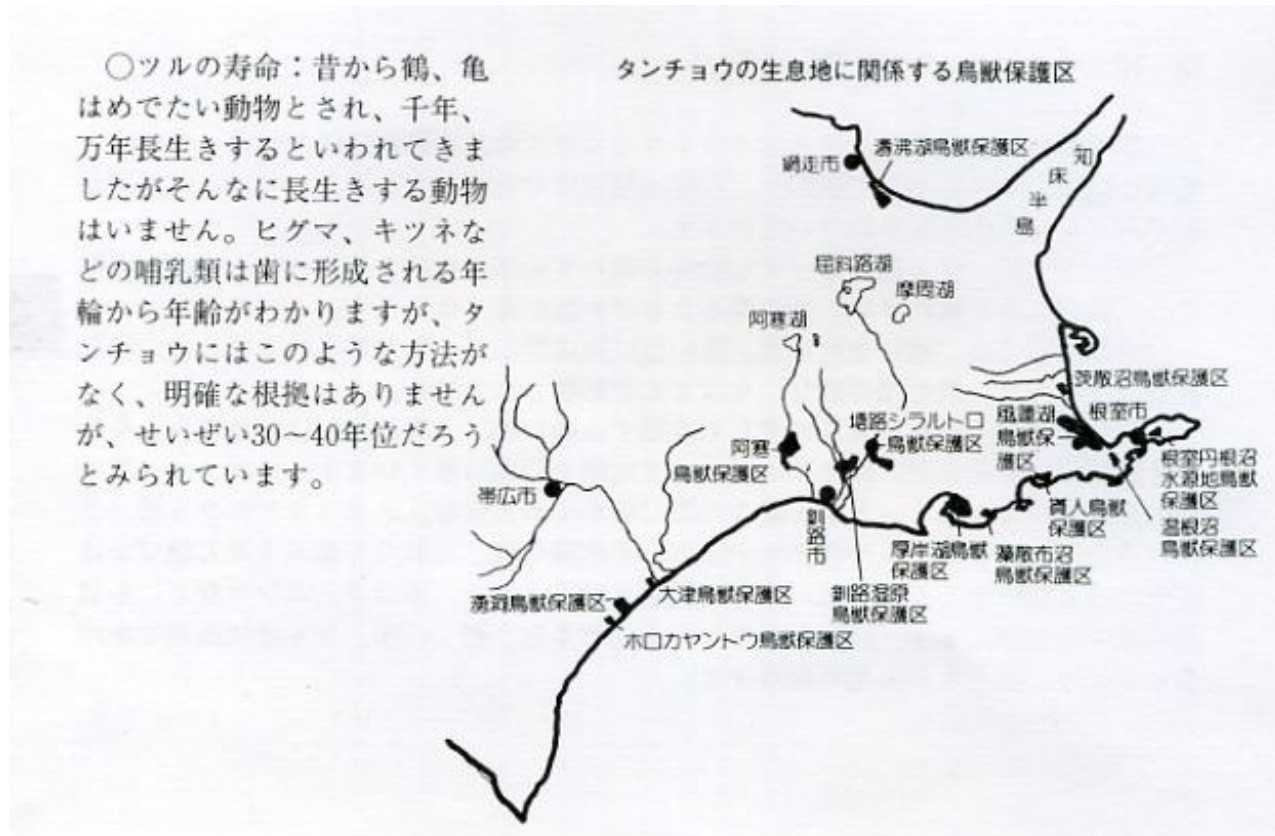
回 数	年 度	平均気温 (網路気象台調)		生 息 数			調査月日	回 数	年 度	平均気温 (網路気象台調)		生 息 数			調査月日
		11 月	12月上旬	成 鳥	幼 鳥	計				11 月	12月上旬	成 鳥	幼 鳥	計	
1	27					33羽	11月29日	20	46	3.7℃	1.3℃	129	18	147羽	12月4日
2	28					42	12月4日	21	47	3.2	2.9	195	27	222	12月5日
3	29					52	12月3日	22	48	3.9	-0.3	204	29	233	*
4	30					61	*	23	49	2.7	-4.0	221	32	253	*
5	31					76	*	24	50	5.0	-0.8	180	14	194	12月6日
6	32					92	12月5日	25	51	2.7	0.2	180	40	220	12月6日
7	33					125	*	26	52	4.7	-0.9	229	28	257	12月5日
8	34					139	12月8日	27	53	3.0	0.6	195	19	214	*
9	35					172	12月13日	28	54	3.9	1.8	235	36	271	*
10	36					175	12月5日	29	55	4.5	1.0	229	38	267	*
11	37			164	20	184	*	30	56	1.9	-2.5	267	28	295	*
12	38	4.8℃	1.6℃	128	19	147	12月12日	31	57	4.6	2.0	285	35	320	12月4日
13	39	3.4	-0.2	137	17	154	12月5日	32	58	3.7	-1.0	312	33	345	12月5日
14	40	3.6	-1.1	148	24	172	12月4日	33	59	2.7	0.9	295	33	327	*
15	41	4.8	-1.8	144	26	170	12月5日	34	60	3.8	-0.6	352	32	384	*
16	42	1.5	0.8	176	24	200	*	35	61	3.1	-0.7	344	39	383	*
17	43	5.3	0.3	147	24	171	*	36	62	3.1	-1.0	381	43	424	*
18	44	3.6	-0.5	188	24	212	*	37	63	2.8	2.5	432	53	485	*
19	45	4.5	-1.5	146	33	179	*	38	元	5.5	1.7	330	26	356	*

○冬の生活：冬季間のタンチョウはトウモロコシの人口給餌に強く依存しています。 昼間は給餌場を中心として採餌し、夜間は阿寒川や雪裡川など近くの凍らない河川をねぐらとして集団で眠りにについています。

○ツルと天候：夕方遅くなくても餌場を離れず異常な食欲を見せるとその晩か翌朝には天候が大きく崩れます。 雪が降るとなぜか気が荒くなります。

○ツルと色と音：タンチョウは犬をも攻撃する強い鳥。人間以外には成鳥の声明を脅かす動物はいませんが、卵やヒナにとって危険な動物は多くいます。カラスは一番の外敵。親ツルがちょっと巢を離れた際に卵をくわえ去る。ノスリなどのタカ類、フクロウなどもタンチョウの卵やヒナにとって危険な敵、これらが飛来すると親ツルは威嚇の鳴き合いをして追い払います。野良ネコ、イタチ、キツネ、ミンクなどにも親鳥は共同で攻撃します。外敵を首尾よく撃退すると、しばらくの間、ツル達は勝鬨をあげるかのように鳴きながら走り回ります。

○ツルの寿命：昔から鶴、カメはめでたい動物とされ、千年、万年長生きするといわれてきましたがそんなに長生きする動物はいません。ヒグマ、キツネなどの哺乳類は歯に形成される年輪から年齢がわかりますが、タンチョウにはこのような方法がなく、明確な根拠はありませんが、せいぜい30～40年くらいだろうとみられています。



D-18 【タンチョウの保護増殖事業】

タンチョウの給餌、生息数の一斉調査、監視等の保護増殖事業は環境庁の委託により北海道が実施しています。

タンチョウの人工給餌事業は平成元年現在、釧路支庁管内24か所、根室支庁管内5か所、十勝支庁管内1か所の計30か所で行われています。人工給餌は冬期間のタンチョウの餌不足を補うために行っているもので、昭和27年2月、阿寒町の人たちと、鶴居村幌呂小学校の先生、生徒によって始められたと言われています。10月から翌年3月末まで、30名の給餌人の方々がトウモロコシの給餌にあたっています。釧路支庁管内の給餌場は、釧路町1、浜中町3、標茶町4、阿寒町6、鶴居村8、音別町2の計24か所で、約24トンのトウモロコシが配布されています。

生息数の一斉調査は、昭和27年12月に33羽が確認されて以来、毎年12月5日を中心に全道一斉に行われ、生息数の推移、生息状況などを調査し、保護増殖事業の基礎資料としています。昭和63年12月の調査は、17市町村、283か所、1590名の協力を得て行われ、485羽（釧路469、根室7、十勝9）が確認されました。

このほか、釧路、根室地域に11人の監視員が配置され、通年、監視や採鳥指導などにあたっています。昭和62年10月発足した環境庁釧路湿原国立公園管理事務所もこの保護増殖事業に参画しています。

タンチョウ生息地に関する鳥獣保護区

名 称	面積ha(うち特別地域)	所 在 地
湧 洞	3855 (411)	中川郡豊頃町、広尾郡大樹町
ホロカヤントウ	196 (67)	広尾郡大樹町
塘路シラルトロ	1697	川上郡標茶町
釧路湿原	10940 (6490)	阿寒郡鶴居村、川上郡標茶町、釧路郡釧路町
阿 寒	5373	阿寒郡阿寒町
厚 岸 湖	3223 (2240)	厚岸郡厚岸町
藻 散 布 沼	87	厚岸郡浜中町
温 根 沼	517 (41)	根室市
根室丹根沼水源地	626 (150)	根室市
風 蓮 湖	6462 (937)	根室市、野付郡別海町
茨 散 沼	268	野付郡別海町
涛 沸 湖	2051 (900)	網走市、斜里郡小清水町

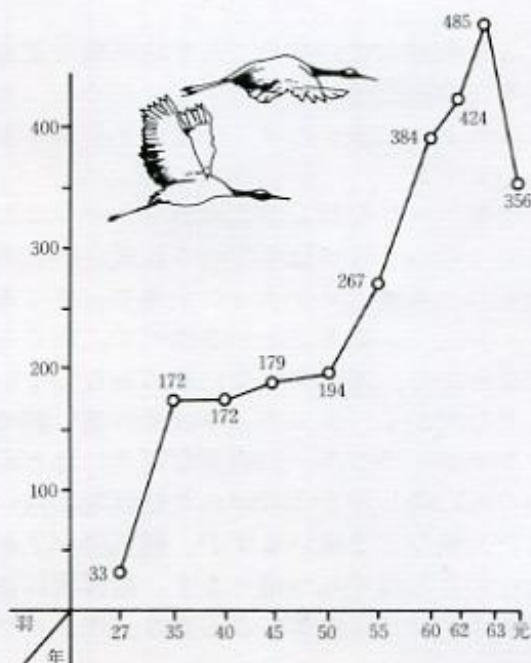
D-19 【タンチョウの給餌場の条件】

秋から冬にかけてはエサをやっているところを給餌場とよんでいます。本格的に給餌が始まったのは1952年（昭和27年）からですが、初めのころは十分とはいかず、苦労があったようです。今の様に多くのタンチョウを見ることができるのは地元の人たちの努力があったためです。

給餌場では道から委嘱された給餌人が餌のトウモロコシを地面に直接ばらまきます。トウモロコシは国や道の予算で毎年支給され現在30か所で行われています。

給餌場はただ餌を与えるからタンチョウが集まってくるのではなく、安心して夜が過ごせる「ねぐら」が近くにあることが条件です。ねぐらは浅くて凍らない川、飛び立つのに十分な河原があり、外敵のいない風の当たらないところが望ましいのです。流水は外気温が下がっても暖かく、タンチョウはその長い脚で立って寒い冬の夜を過ごすことができます。タンチョウが冬、釧路湿原周辺にほとんど集まってくるのは、雪理川や阿寒川に、ねぐらに適したところがあり、給餌場に近いことなどが考えられます。タンチョウはその日の天候などで違いますが、朝気温が上がると給餌場に来て、夕方日が沈み、薄暗くなったころねぐらへ帰ります。給餌場にはエサをねらって、ドバト、スズメ、カラスのほかオジロワシが舞い込んだり、キタキツネが出てきたりします。

タンチョウ生息数の推移



タンチョウが傷ついたり死んだりする原因には、天敵や病気など自然のなかでのものと人間が関係するものとがあります。

天敵としては、キツネ、カラス、野犬、野生化したミンクやイタチ類、ヘビなどがあげられます。健康な成鳥をこれらが捕食することはないと思われますが、けがをしたり弱っている時に襲われることが考えられます。タンチョウにとって重大なのは、卵、ヒナ、幼鳥の時期にこれら加害動物に狙われることです。この時期、人間が写真目的か何かでタンチョウの親を威嚇して巣を離れさせたり、親子が離れたすきに卵やヒナが襲われるのは人間の被害というべきで厳に注意すべきです。

昭和25年（24年以前のもの7羽を含め）から昭和63年までのタンチョウの全死亡数は339話ですが、病気によるものは42羽（43.6%）です。死亡原因の第1位は電線への接触や感電によるもので、148羽（43.6%）を数え、タンチョウの保護上重要なことから、電線に赤いビニールのタグや黒と黄色のチューブをつけたり、地中に埋めたりする方法がとられています。そのほかでは、外傷によるもの68羽（20.1%）、不明75羽（22.1%）などとなっています。電線への衝突も人間が急に飛び立たせることが間接的な原因かもしれません。こういった事故が一日も早くなるようにしなければなりません。

【タンチョウのことが書いてある本】

このリストは、平成元年3月31日、北海道保健環境部自然保護課が発行した「みんなのタンチョウ」から転載したもので、これらのうち年月のたっているものは絶版になっているものもありますが、すべて一般書籍として市販されているものばかりです。

1. 岩松健夫(1960)、写真集 丹頂鶴、175ページ、北苑社(札幌)
2. 岩松健夫(1961)、赤いペレーの恋人—タンチョウヅルの記録、221ページ、ポプラ社
3. 渡辺 整編(1961)、丹頂鶴、60ページ、北海道新聞社
4. 林田恒夫(1973)、タンチョウの四季、54ページ、あかね書房
5. 平凡社(1975)、鶴—野生のこころ〈季刊アニマ〉創刊号、156ページ、平凡社
6. 北海道教育委員会編(1975)、タンチョウ特別調査報告書、80ページ、北海道教育委員会
7. 林田恒夫(1976)、タンチョウ—根釧原野に生きる、87ページ、平凡社
8. 田中光常(1976)、原野にまうタンチョウ、31ページ、小峰書店
9. 叢書編さん事務局編(1976)、タンチョウの釧路〈釧路叢書第17巻〉、388ページ、釧路書義編さん事務局
10. 正富宏之(1977)、タンチョウ〈北海道の自然6〉、257ページ、北海道新聞社
11. 井上元則(1977)、野鳥—付丹頂鶴の興亡史〈北海道の自然1〉、257ページ、北海道新聞社
12. 高橋 健(1978)、みよちゃんとたんちょうづる、32ページ、ポプラ社
13. Britton Dorothy編(1981)、The Japanese Crane—Bird of Happiness、63ページ、講談社
14. 林田恒夫(1983)、タンチョウ—湿原にはばたけ!、51ページ、平凡社
15. 岩谷徳光(1983)、丹頂鶴—中国・日本のタンチョウ 岩谷徳光写真集、101ページ、くもん出版
16. 道東アウトドアーズ編(1984)、タンチョウ読本—湿原鳥「丹頂」のすべて、32ページ、道東アウトドアーズ(釧路)
17. 林田恒夫(1984)、タンチョウ—北の原野に舞う「神」、141ページ、平凡社
18. 野生生物情報センター編(1985)、きたの鳥たち、108ページ、野生生物情報センター(札幌)
19. 笹森繁明(1985)、タンチョウ—湿原に生きる、56ページ、併成社
20. 日本野鳥の会(1987)、こんにちわタンチョウ—鶴岡・伊藤サントリーアリ、16ページ、日本野鳥の会(東京)
21. 正富宏之(1987)、タンチョウ、79ページ、いちい書房
22. 日本航空つるの会編(1987)、サルルンカムイの語—釧路湿原に生きるタンチョウ、72ページ、あすか書房
23. 高橋良治(1988)、鶴になったおじさん、150ページ、併成社
24. 岩松健夫(1988)、タンチョウの詩 岩松健夫写真集、94ページ、北海道新聞社
25. 井出義雄(1988)、湿原の妖精たち—タンチョウ、井出義雄写真集、107ページ、京都書房

D-21【タンチョウ小史】...①

タンチョウは釧路湿原を代表する動物としてすでに有名ですが、北海道の木・エゾマツ、北海道の花・スズラン、ハマナスと並び、「北海道の鳥」として道民のシンボルにもなっています。昭和63年12月の調査では、485羽が確認されていますが、これまでの興亡を簡単にまとめてみましょう。

1. タンチョウの分布

その昔、タンチョウは春から夏は北海道で繁殖し、秋になると江戸付近にまで移動する系統と、シベリアで繁殖し晩秋江戸以南の本州、九州で越冬する系統の二つがあったものと推定されています。

現在日本では北海道東部の留鳥として生息し、外国ではモンゴル東部、中国東北、ウスリーなどで繁殖し、冬朝鮮半島、中国東北の南部などへ渡るとされています。

2. 明治時代以前のタンチョウ

タンチョウについてのもっとも古い記録は、擦文時代（700～1,300年前）のものとしてのアイヌの伝説がありますが、アイヌ民族は文字を持たなかったので、口伝えに後世につたえられたものです。これは釧路国のタンチョウの話、タンチョウが野生になった由来の話（民話）として残っています。

徳川時代は蝦夷地の探検、見聞記などに多くの観察記録がみられるようになります。この時代、本州では将軍はじめ諸大名はタンチョウを霊鳥と崇め、保護していましたが、北海道では禁猟制度がなかったので明治になっても鶴を乱獲し、塩漬けとして本州で売りさばいていたため著しく減少しました。

このようなことから、明治22年に北海道庁令によって鶴の猟獲が禁止され、同25年の狩猟規則の公布で初めて保護鳥になりました。

しかし、このような保護政策にもかかわらず、開拓の進展、狩猟者の増加、猟具の改良発達に加えタンチョウは体が大きく目立つことから密猟の対象になったといわれます。

3. 大正時代の以降のタンチョウ

大正の初期には自然状態ではほとんどその姿を見ることができなくなりましたが、大正13年10月、そのタンチョウを再発見し、詳細な調査報告をしたのが当時の道庁官吏斉藤春治という人でした。

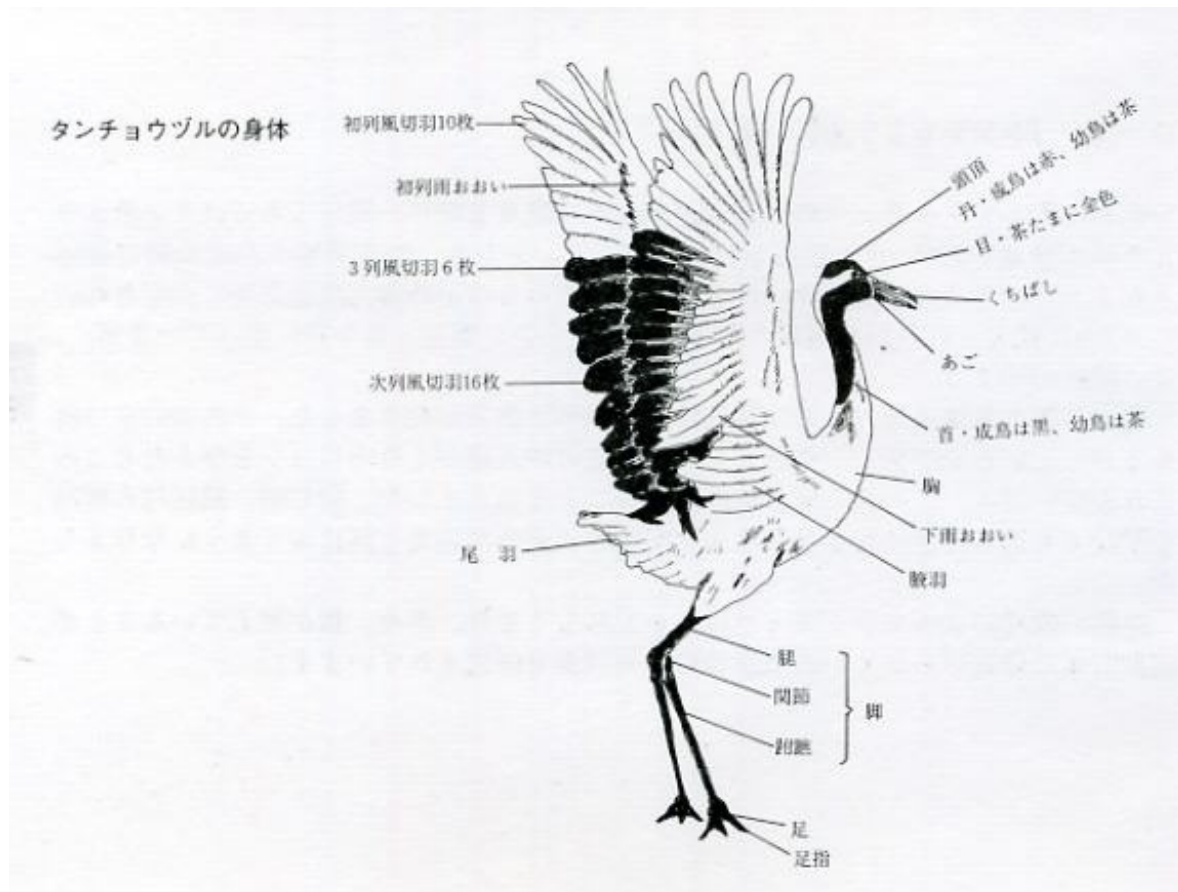
「その場所は、釧路阿寒郡舌辛村地内チルワツナイ川及びクッチャロ川合流点より北方のクッチャロ原野北3線、西方は坂井、宮島牧場境界に至る1,200町歩の泥炭湿地に5羽認めたり」と記録されています。

昭和に入ってタンチョウの保護気運が徐々に盛り上がり、昭和10年にはタンチョウとその生息地2,700ヘクタールが天然記念物に指定され、同27年これが特別天然記念物に指定されました。さらに同42年にはタンチョウそのものが特別天然記念物に指定され、5,012ヘクタールに拡大された釧路湿原の区域は天然記念物に指定され今日に至っています。

4. 給餌の始まり

昭和27年2月釧路地方一帯は猛吹雪におそわれ幾日も続きました。その雪の中で餌を探しているタンチョウの群れを発見、阿寒町の人たちがトウモロコシを与えたところこれをついばみ、その後同じ場所で食うことを覚えました。同じころ、鶴居村の幌呂小学校でも同じ方法で餌を与えることができ、その後各地で餌につくようになりました。

給餌の成功によってタンチョウは人を恐れなくなり、年々、数が増えていることが昭和27年以降続けられている生息数の一斉調査で確認されています。



D-23 【釧路湿原で見られるワシ、タカ類】

釧路湿原とその周辺で見られるワシ、タカのなかまは、トビ、オジロワシ、ツミ、ハイタカ、ケアシノスリ、ノスリ、ハイイロチュウヒ、チュウヒのほか、まれにはオオワシ、オオタカもみられます。肉食で雄より雌の方がやや大きく捕えた獲物を引き裂くかぎ形のくちばしと、鋭いつめの足を持ちます。

ツミ...全長はオス25センチ、メス30センチと特にその差がある。 タカのなかまでは最も小型、本州では留鳥、北海道では夏鳥として山地で増殖し、秋から冬にかけて平地に下りて過ごします。小鳥、ネズミ、昆虫を食べます。

ハイタカ...全長35センチ、日本各地の森林で増殖し、冬平地に移動するものもあり、小鳥やネズミを食べます。 タカ狩りのタカで、釧路には珍しいタカですが、冬場には市街地にも現れます。

チュウヒ...全長52センチ程の中型のタカ、アジア北部からヨーロッパにかけて増殖、冬鳥として渡来し、河川、湖沼の草原に棲み低空飛行で小型の鳥獣を捕えて食べます。たしかではないが釧路湿原周辺でh繁殖するともいわれています。

ノスリ...全長55センチ、トビよりやや小型、山地の林で繁殖し、冬は低地に移動します。飛び方や鳴き方はトビによく似ており、まぐそたかとか、くそとんびの別名があります。

ケアシノスリ...千島列島から北の方で増殖し冬鳥として北日本で見られますが、数は極く少ないので釧路では滅多に見られません。

トビ...全長60センチから65センチくらい、最も普通に見られるタカの仲間。上昇気流に乗るのが得意、よく空中、羽を水平に広げくると輪を回してとびピーヒョロロと鳴く光景は誰もが馴染み深く、望郷の想いを起こさせる光景ではないでしょうか。生餌は滅多に捕らず、死んだ動物などを食べます、。「とんびが鷹を生んだ」とか「とんびに油揚げさらわれた」「とんびも居住まいから鷹に見える」、また定職を持たないでぶらぶらしている人を「とんび」というそうですが、これらのたとえば、平和主義のトビに失礼なのでは。

ハイイロチュウヒ...冬鳥ですが見かけることはまれ、雄は頭、体、尾羽が明るい灰色、湿原に飛来し低く飛ぶことが多い。日本では繁殖しません。

オジロワシ...北海道では留鳥、本州以南では冬鳥。天然記念物で数は多くありませんが、冬、水辺で見かけることができます。

オオワシ...冬鳥で北海道の北東海岸以外では少ない。 嘴が巨大であざやかな黄色。天然記念物。 冬、結氷したシラルトロ沼、塘路湖上で見られることがあります。

オオタカ...留鳥。本州、北海道の山林で繁殖し、冬は平地にもきます。

D-24【シマフクロウ（亜種、エゾシマフクロウ）は神の鳥】

シマフクロウは留鳥として北海道に生息します。全長約71センチ。日本にはフクロウ科に属するものが10種生息していますがシマフクロウが最大です。

シマフクロウは群れは作らず、単独またはつがいで行動し、巣はミズナラやカツラの樹洞で、巣材を使いません。雄がごく低い声で「ボーボー」と鳴くと、雌が「ウー」とこたえ、「ボーボー、ウー」と聞こえます。

フクロウ類は他の鳥と違うところがあります。顔がハート型をし、目の位置と構造に特徴があります。ほかの鳥は両側に目がありますが、フクロウは人と同じ正面に目があります。視野はシギ（360度）やハト（337度）に比べ110℃と狭い。しかし立体視ができる角度が70℃とほかの鳥よりはるかに広いのです。また、耳の位置が左右不相称であるため音源も立体的に把握することができるのです。

フクロウは夜行性の猛禽であり、わずかな音や光で獲物が捕らえられるような機能が備わっているのです。

アイヌ民族はシマフクロウを「コタンクルカムイ」（村をつかさどる神）、あるいは「カムイチカップ（神の鳥）」と呼び、「コタン」（村）や「アイヌ」（人間）を守る最高の神としてあがめられてきたといわれます。



シマフクロウ

D-25【日本に渡来するハクチョウ】

日本に来るのは、オオハクチョウとコハクチョウのほか、コブハクチョウはまれです。オオハクチョウは最も大型の水鳥で、コハクチョウはこれよりやや小型で、ともにユーラシア大陸北部などで繁殖し、越冬のため渡来します。

冬季の食べ物は、田の落ちモミ、水生植物の茎、根などですが、渡来地で穀類、パンくずなどを給餌しているところもあります。越冬期間は家族でまとまって鼓動し、いくつもの家族が集まって大きな群れをつくるのが普通です。

おもに昼行性で、家族で朝ねぐらを出発し給餌へでかけ、夕方ねぐらへ戻ります。日本での主な越冬地は、オオハクチョウでは北海道の風連湖、鑑沸湖、青森県の大湊港、新潟県の瓢湖など、コハクチョウでは北海道のクッチャロ湖に、秋と春の渡りのとき大群が渡来し、越冬は、青森県小川原湖、福島県猪苗代湖、琵琶湖その他があります。コブハクチョウはヨーロッパが繁殖地で日本には迷鳥とし渡来するにすぎません。皇居のお堀で飼育、繁殖したものが各地の公園、動物園で飼われています。

釧路湿原の河川、湖沼には10月中頃オオハクチョウが美しい姿を現し、水面が凍てつく頃には更に南下し、春、北帰行の途中、又立ち寄ります。中には越冬するものもありますが、いわば彼らのドライブインといえます。

【伝説に由来する「白鳥」の話】

白鳥の歌 白鳥は一生に一度、死ぬ前にだけ美しい声で歌う、という伝説がヨーロッパにあり、従って作(曲)家が死ぬ前の作品や演奏を「白鳥の歌」というそうです。シューベルト（オーストリアで活躍）が死ぬ前に作曲した歌曲14編を友人たちが彼の死後、伝説に合わせて「白鳥の歌」と命名したそうです。

白鳥処女説話 白鳥によって女性、特に処女性を象徴する寓話、世界各地にいろいろな形で伝わっています。日本の「天女の羽衣」がそれです。

白鳥の湖 1895年以来各国で最も上演回数の多いバレエ作品、遠く湖の見える城内で、王子ジークフリートの成年を祝う舞踏会が開かれる。王子は魔法使いのためハクチョウにされたオデット姫を愛したが、魔法使いは自分の娘を姫の姿に変えて王子の花嫁に決めてしまう。しかし最後には王子とオデット姫は結ばれる、という四幕でした。

白鳥座 ゼウスがスパルタ王妃レダのもとに通うため変身した白鳥の姿を星座になぞらえたものです。

D-26 【渡りのチャンピオン「オオジンギ」】

シギの仲間は種類が多く、又その多くは北極圏のツンドラ地帯で繁殖し、南方で冬を越します。旅鳥で日本には渡りの途中、春と秋に立ち寄り少数は日本で繁殖し、冬を越すものもいます。日本では45種が記録されているそうです。

釧路では専門家によって5種が記録されていますが、「オオジンギ」以外あまりなじみがありません。「オオジンギ」は日本とオーストラリアの間だけを渡る夏鳥で日本の本州中部の産地、北海道の草原で繁殖します。日本、オーストラリア間無着陸飛行をするものと考えられており、正に渡りのチャンピオンです。

湿原の初夏の朝まだき、空高くからの急降下バクゲキに安眠を破られる。ジジジ、ジーヤク、タマヤク、キモヤク、ジジゴォー...を繰り返します。繁殖期の修正とか、雄の雌に対する示威とも思われます。ゴォーは羽音です。

【私はサギの仲間「アオサギ」】

私はアオサギ、サギの仲間では最も大きく全長は93センチ、嘴が長くとがっていて、体の割に頭が小さくて、首と脚が長いのが特徴です。水辺に棲み、浅瀬を渡り歩き獲物（魚類）を捕まえて食べます。翼は体に比べ幅が広くて大きく、首を肩のところに縮め、脚を後方に伸ばしてゆるやかに羽ばたいて飛び、ガァーとかギャァーとか悪声でゴメンナサイ。集団で繁殖するのが私たちのきまりなのです。

釧路市湿原展望台から東に約2km地点のハンノキ林が私たちのコロニー（集団営巣地）です。国内最大と言われ自慢しています。3月下旬からみんなでお邪魔して巣作りをします。新しく作る仲間もいるけれど、ほとんどは去年の巣を補修して使うので余り手間はかかりませんですハイ…。3, 4年は補修で使います。

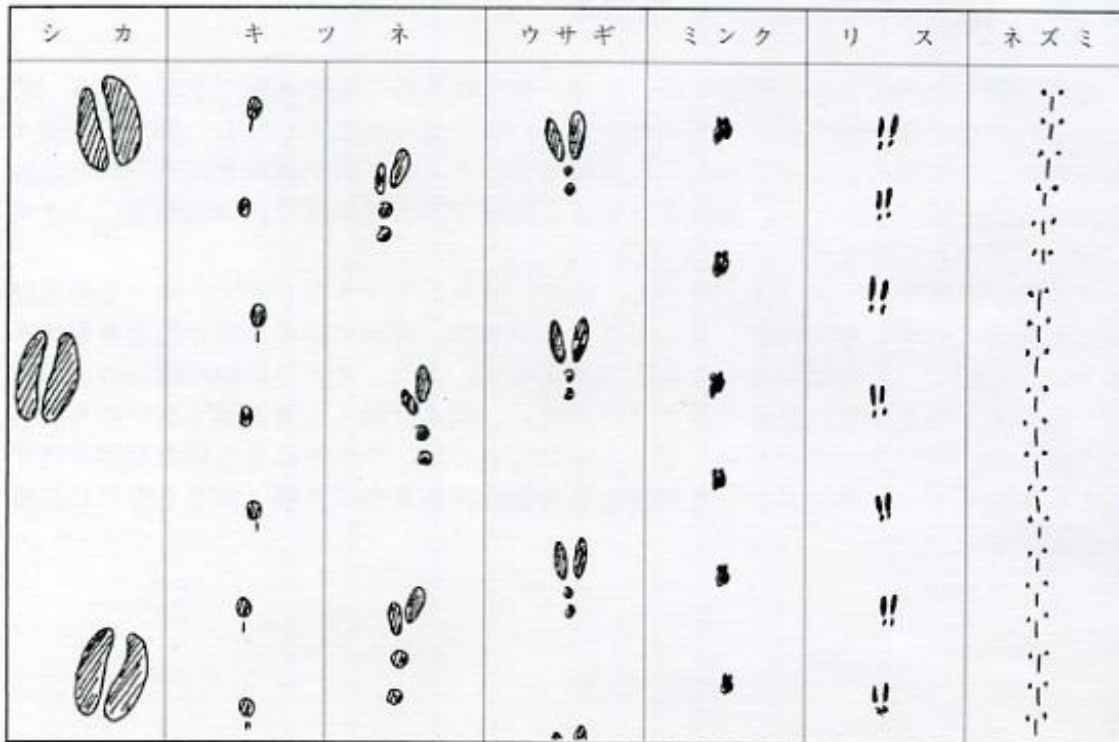
だいたい4月中頃までに3から5個産卵をすませます。抱卵は夫婦交代で仲良く致します。25日でふ化しますが、それからの子育てがたいへん、巣立ちまで50日もかかるのです。

北海道から九州にかけて繁殖（留鳥）し、本州以南で越冬しています。

D-27【動物たちのメッセージ（足跡）】

哺乳動物を野外でじかに観察することは、実にわくわくする体験ですが、彼ら（彼女ら？）はなかなか姿を現してくれません。仮に見られたとしても、警戒心が強く、ありのままの生態を見せてくれることは稀です。そこで、雪や泥の上に残された足跡を読む方法を覚えましょう。英語よりずっと簡単です！ 運がよければ自然界のドラマに出会えるかもしれません。

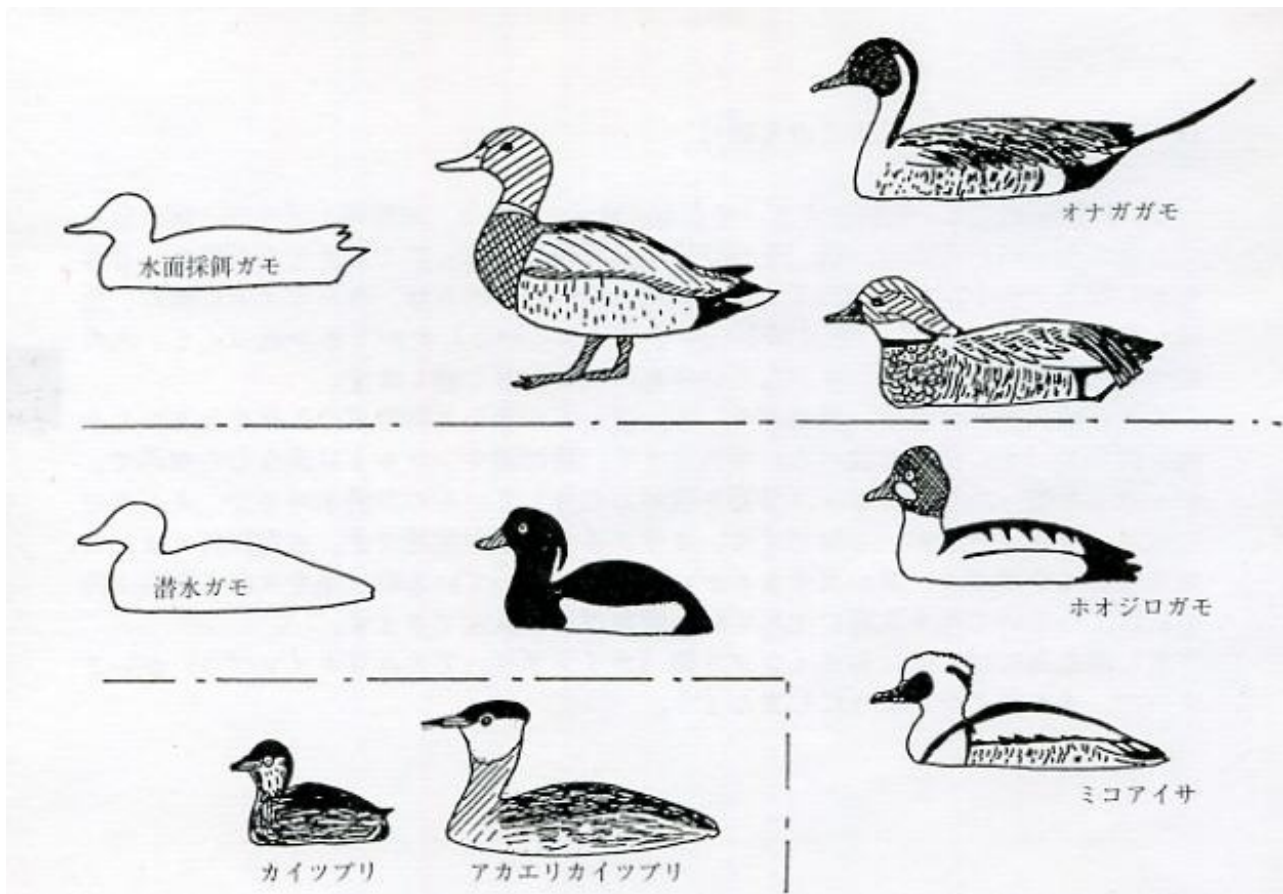
よく見かけるのは、キツネ、ウサギ、シカ、リス、ネズミなどです。キツネの足跡は犬と間違えやすいので注意しましょう。キツネは、前足で踏んだ跡に後足を乗せるように歩くので、2本足で歩いたようにみえます。また、犬より肩幅が狭いので足跡が一直線上につきます。ひとつひとつの足跡は、犬より細くて爪が鋭く長いのも特徴です。また、キツネや犬がピョンピョンはねていくと、ウサギによく似た足跡を残すことがあります。シカもヒツジと間違える可能性があるので歩幅、大きさなどに注意が必要です。



夏、釧路湿原でも、少数のカモ（マガモ、ヨシガモなど）が繁殖しますが、何と言っても見ごたえのあるのは、秋、シベリアから大挙してわたってくるカモたちです。8月も末になると姿を現し始めますが、このころのカモたちは、みんなメスに似た、地味な色彩をしています。（非生殖羽ーエクリプスという）やがて冬が近づくと、次の繁殖の求愛行動のために雄たちはきれいにお化粧しなおします。

カモには大きく分けて、潜水ガモ（水に潜って小魚など動物質のエサをとる）と水面採餌ガモ（主に植物を食べる）があります。塘路湖やシラルトロ湖などの湖沼で、ピョコツともぐったり、ヒョッコリ姿を現したりしているのが潜水ガモで、キンクロハジロ、ホオジロガモ、ミコアイサ、カワアイサなどが常連です。水面採餌ガモには、マガモ、オナガガモ、ヨシガモなどがいて、水に浮いている時は尾を水面より高く持ち上げているので尾を水面に沈めている潜水ガモと区別できます。

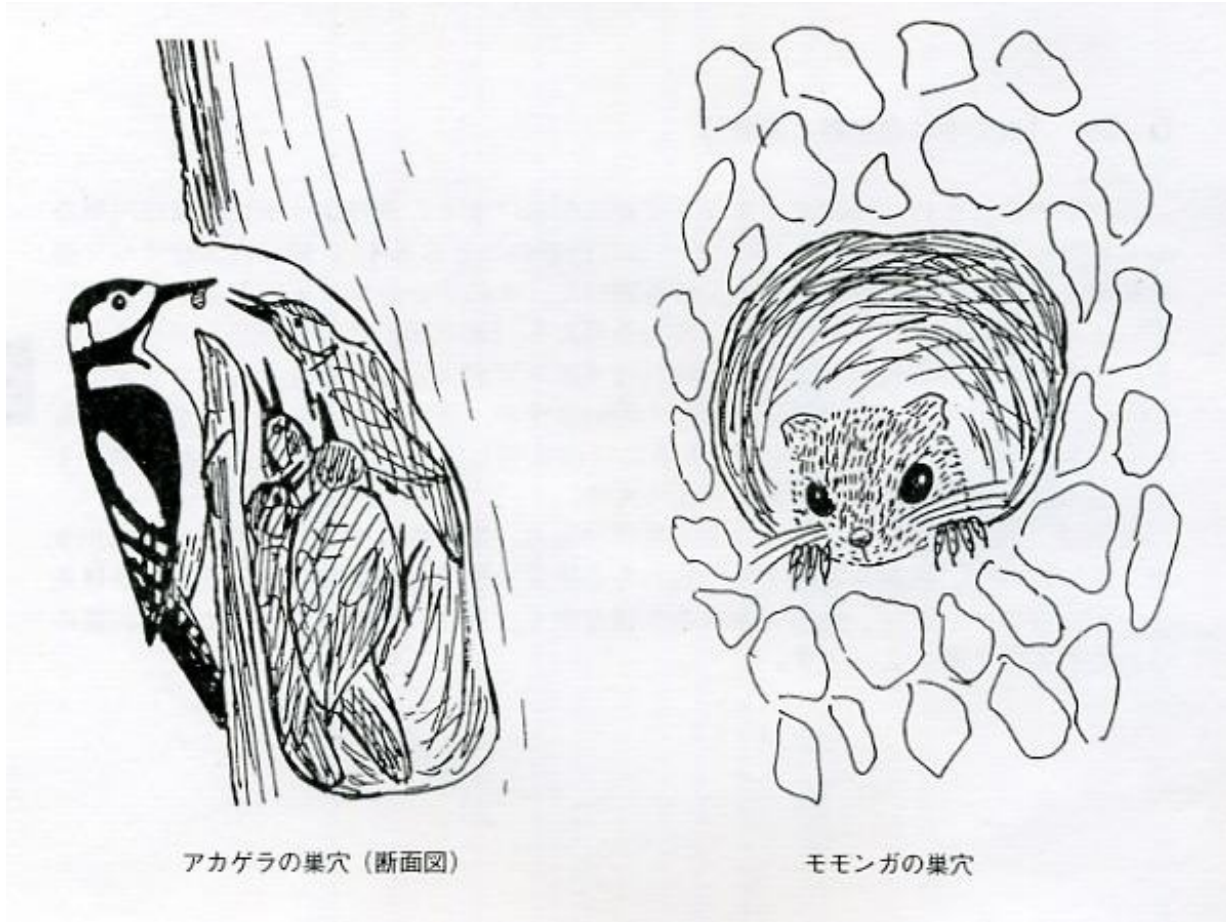
水に潜る鳥には、他にもカイツブリ類（カイツブリ、アカエリカイツブリ）がいますので、まちがえないようにしましょう。



D-29 【森の中は住宅難（巣穴）】

森の中の枯れかけた木によくキツツキが穴を開けます。 そのような穴はほぼ円形なので容易に見分けられます。（クマゲラは楕円形のこともある。）開けた穴はすべて巣に利用しているわけではなく、いくつも開けて、その中から気に入ったものを巣にしています。 また、キツツキの穴は、他の小鳥たち（カラ類、コムクドリ、アリスイなど）がよく巣として利用しますし、時にはモモンガが入っていることもあります。 穴の大きさはキツツキの種によっても異なりますが、直径3～4センチくらい（コゲラ）から8.5～13センチ（クマゲラ）で、体の大きさにはほぼ比例しています。よく見かけるのは4～6センチのアカゲラの巣のことが多いようです。

最近では、森林の伐採や、植林による整理が進み、巣を作りやすい立ち枯れた木が少なくなったので、樹洞を利用する小鳥たちが巣穴の取り合いをしているのを見かけることがあります。また、巣箱をかけるとほどなく、そこに巣作りを始めます。森の小鳥たちも住宅難のようです。



アカゲラの巣穴（断面図）

モモンガの巣穴

D-30 【動物たちの食事あと（食痕）】

足跡とともに、動物たちの行動を探る手がかりとなるのは、食痕（食べあと）です。森の中でよく見かけるものには、ウサギ、エゾシカ、エゾリス、ネズミなどの食痕があります。夏、草をちぎって食べた跡を残すのは、ウサギ、シカですが、ヒツジやウシ、ウマのこともあるので、よく注意してください。

秋になって、クルミを食べた跡があったら、犯人はだれか推理するのも面白いでしょう。真っ二つにきれいに割れていたらエゾリス、ギザギザの穴が開いていたらネズミです。

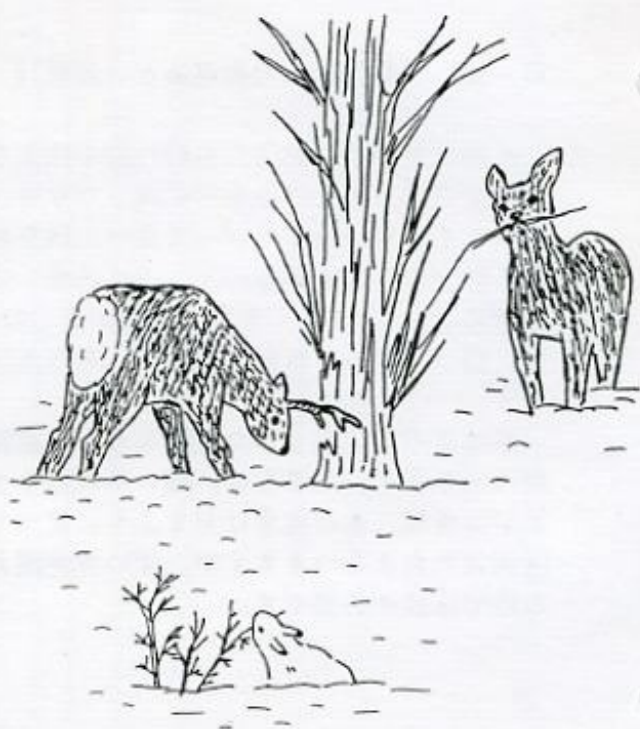
冬は雪の上に残された足跡とともに推理すると、動物の行動がより鮮明に浮かび上がってきます。ウサギは、細い木の枝をナイフで切り取ったようにかじっていますし、エゾシカは、木の皮をはがすように食べています。食べ跡の位置（高さ）でも両者の区別はおおよそつきますが、深い雪が消えた後には、ウサギの食痕も高いところにあるので注意が必要です。



エゾリスがオニグルミを食べた跡



アカネズミがオニグルミを食べた跡



雪の中でエサをとるエゾシカとユキウサギ

D-31 【釧路湿原にすむ魚】

釧路湿原の水域に棲んでいる魚は下流域や河口域を含めると34種の淡水魚がすんでいます。

淡水魚類とは、一生涯のうちの全期間あるいは一定期間を淡水域(塩分のほとんど含まれていない水域)に過ごす魚類の総称といわれています。

淡水魚でもそれぞれ生活様式の違いがありその区分は表の通りです。純淡水魚はフナ、コイなど5種。二次性淡水魚とは、かなり近い過去に淡水と海水を行き来できる種類から派生したもので、イトウ、ニジマスなど9種。遡河回遊魚とは、淡水で卵から生まれて海に下って成長し、産卵のため再び川にのぼってくるもの、サケ、シシャモなど13種と、もっとも多い。降河回遊魚とは反対に淡水で成長し、海に下って産卵するものでウナギの一種。両側回遊魚は、淡水域で卵から生まれ海に下って稚魚の一時期を海水中で生活し、再び淡水にもどって成長するもので5種がある。まったくの海産魚ですが、淡水が混合する汽水域で一時期生活し、さらに川の下流域にも入るチカ、ヌマガレイがあります。

釧路湿原を代表する魚ではイトウがあり、また塘路湖には、そこが昔海であったことをものごたる水生生物、イサザアミが生息している。これらについては別に解説しています。

釧路湿原に生息する淡水魚の生活型による区分

*人為分布種を示す

一生を湿原で生活		湿原と海の両方で生活			下流・河口で生活
純淡水魚	二次性淡水魚	遡河回遊魚	降河回遊魚	両側回遊魚	海産魚
コイ科 フナ コイ ヤチウダイ ドジョウ科 ドジョウ★ タニノボリ科 フタドジョウ	ヤツメウナギ科 スネヤツメ サケ科 イトウ ニジマス★ キュウリウオ科 イシカリワカサギ コイ科 エゾウグイ トゲウオ科 イバラトミヨ エゾトミヨ トミヨ カジカ科 ハナカジカ	ヤツメウナギ科 カリヤツメ チョウザメ科 チョウザメ サケ科 サケ カラフトマス マスノスケ アメマス キュウリウオ科 ワカサギ シシャモ キュウリウオ コイ科 ウグイ マルダウグイ トゲウオ科 イトヨ	ウナギ科 ウナギ★	ハゼ科 ジェズカケハゼ ウキゴリ ヌマチチブ ヨシノボリ カジカ科 エゾハナカジカ	キュウリウオ科 チカ カレイ科 ヌマガレイ

釧路川の魚類の棲息分布模式図



釧路湿原を代表する魚イトウは、日本で一番大きい淡水魚でサケの仲間です。根釧原野を中心とした道東に生息するといわれていますが、近年の河川改修、水質の悪化などの影響から数が減り、幻の魚ともいわれています。

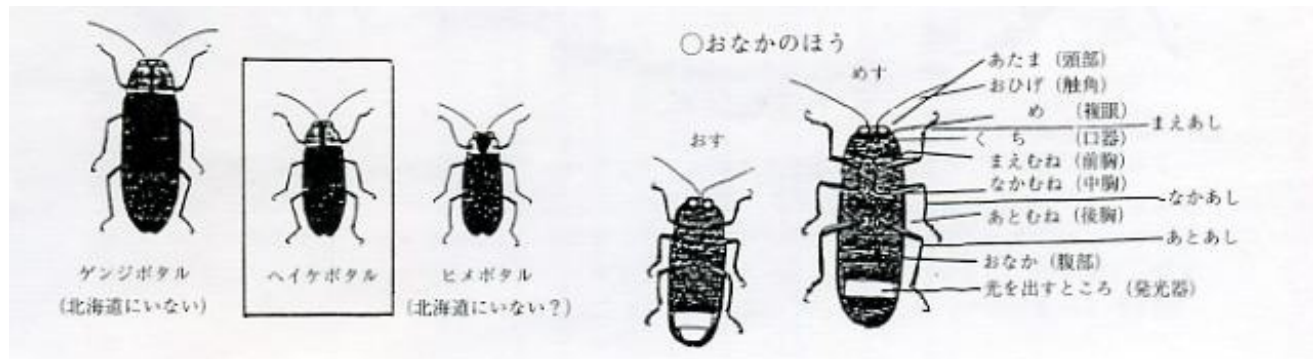
釧路湿原では、釧路川はじめコッタロ川、久著呂川、雪理川、幌呂川、仁々志別川などの中、下流部の深い川岸の倒木の影にゆう然と潜んでいます。塘路湖、シラルトロ沼、達古武沼などにもすんでいるといいますが、このころでは姿を見ることが少ないといえます。イトウは成長に応じて食性が変わり、体調15センチくらいまではトビゲラ類などの水生昆虫を餌とし、これより大きくなると魚も食べ、30センチ以上になるとスナヤツメ、フクドジョウ、トゲウオ類など魚だけを食べます。大型のものはネズミ、カエル、ヘビなども捕食するといえます。このためか、イトウは魚偏に鬼という漢字を書きます。成長は遅く、2年で13センチ、5年で30センチくらい、8年でやっと50センチ位とゆっくりしています。サケは空き、川にのぼって産卵し、産卵後死にますが、イトウはサケの仲間では唯一春に産卵し、産卵後も死なずに、15～20年以上も生き続けるといえます。釣り人にとっては引きの強さがたまらない魅力だといい、あこがれの的になっている魚です。

D-33 【湿原のホタル】

近年見ることが少なくなったホタルですが、釧路湿原の西側、恩根内から入る右岸堤防沿いに、7月下旬から8月下旬(時期は年により多少異なる)にかけてみるができます。釧路湿原で見られるのはヘイケボタルですがそのあらましは次の通りです。

○湿原ボタルのあらまし

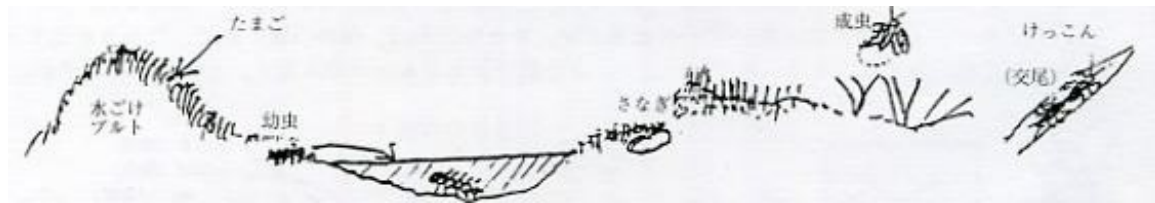
・からだの形...大きさは雌10mm、雄8mm、色は黒色、胸の背中側(前胸背板)はうすだいいいで、真ん中に黒い太いすじがあります。お腹側は、灰色で、光を出すところ(発光器)はうすいクリーム色で、中にピンクの部分がありルーペで見るととてもきれいです。



○光の出し方・・・光を出すところ(発光器)で、燃料(ルシフェリン)が、酵素(ルシフェラーゼ)やマグネシウムなども手伝って燃え、熱やエネルギーの代わりに光をだし、神経によってコントロールされます。呼吸とは関わりないようです。

●湿原のホタル(ヘイケボタル)

ゲンジボタルほど光は強くありません。しかし、雄はきらめきのある光を1秒間に2回ずつ、忙しく出します。また、ゲンジボタルのように、微光・フラッシュ発行・刺激発行など、複雑ではなく、簡単な点いたり消えたりを繰り返しますが、雄やメスがそれぞれ相手を見つける役にはなっているようです。でもまだ詳しいことは分かっていません。皆さんが研究してみてください。



●湿原のホタルの一生

7～8月にかけて、湿原の草や木で雄と雌が結婚します。メスはミズゴケなどに100個ほどの卵を産みます。たまごは、1か月あまりでふ化して幼虫になります。幼虫になると水ごけのブルトから水の中に入り、ヒメモノアラガイ、タニシなどを食べて大きくなります。翌年の5～6月頃に水中から陸に上がり、土やミズゴケの中に潜り(潜土)7～8月頃親になって(成虫)出てきて飛び回ります。

D-34【トンボー釧路湿原は日本で貴重な生息地】

釧路湿原の昆虫で注目すべき分布がトンボ類です。46種が生息し、エゾカオジロトンボ、イイジマルリボシヤンマは、日本では釧路湿原をほぼ唯一の生息地とする北方の寒冷地(シベリア北ヨーロッパ)の種類です。

その他、本州では、東北や高山の湿原に局地的に生息するカラカネトンボ、オオトラフトンボ、ホソミモリトンボ、キバネモリトンボ、ムツアカネ、カオジロトンボ、などが、湿原に散在する池や沼で普通に見受けられます。

釧路湿原のトンボ歳時記

湿原東縁の3湖沼のトンボ

釧路湿原の東の縁にある、シラルトロ湖、塘路湖、達古武沼は広い水面をたたえ、水生昆虫の一大生息地となっています。

5月上旬のオツネントンボの出現から始まります。この小さな枯れ草色のイトトンボは北海道で唯一の成虫越冬のトンボで、氷点下30度を超える厳寒の冬を物陰にひそんでじっと耐え抜いたのです。

6月中旬までに、いわゆる春季出現型の種が出そろい、湖畔はにわかに活気を帯びてきます。エゾイトトンボ、ゴトウアカメイトトンボ、コサナエ、オオトラフトンボ、カラカネトンボ、たちです。ゴトウアカメイトトンボは、その名の通り、雄の複眼が美しい赤で染まっている種で、北見地方のチミケップ湖で最初に発見され、釧路湿原が第二の発見地となったものです。

6月中旬から7月にかけて、夏から秋に活動するトンボたちが現れます。すなわち、クロイトトンボ、アオイトトンボ、ホンサナエ、コオニヤンマ、ルリボシヤンマ属三種、エゾトンボ属各種、シオカラトンボ、それにアカトンボ属8種類が揃って賑やかです。

釧路地方は、エゾトンボの仲間の宝庫でもあります。なかでもエゾトンボは多数発生し、8月には成虫が車道や空き地を含め、至る所でみられます。

D-35 【釧路湿原だけにすむ「キタサンショウウオ」】

日本には16種類のサンショウウオが生息し、北海道には本州からわたってきたエゾサンショウウオと釧路湿原だけに生息するキタサンショウウオの2種があります。

キタサンショウウオは氷河期の遺存種といわれ、約2万年前樺太と北海道が陸続きのとき北方から渡ってきて生き延び、釧路湿原が日本唯一の生息地です。

全長は11センチ前後、頭から尾にかけて背面の中央部に黄色の太い縦縞が2本あり、後ろ脚の指が4本であることでエゾサンショウウオ（5本）と見分けられます。 腹部は背面より色が淡く、暗青色の斑点が多数散布し、背面に13本、腹面に11から12本のしわがあります。

4月中旬から5月中旬、雌は水草の茎などに60～90個の卵が連なったひも状の卵塊を2本産み付け、直後に雄がとりつき受精します。卵塊のゼリー質が吸水すると、長さ13センチ、太さ3センチほどの房状になり、卵塊を包む卵のう膜は光にあたると紫の蛍光色を発し美しい。 5月下旬頃全長7mmほどの幼生がふ化し、8月頃には全長4センチほどの亜成体となって陸上生活に移り、成体になるまで二夏以上かかります。

これまで、釧路市北斗、愛国、新富士、星ヶ浦、大楽毛、標茶町塘路、釧路町鳥通、鶴居村恩根内で生息地が発見され、最初の発見地北斗の生息地は、昭和50年釧路市

E-1 【釧路地方1年の気象の移り変わり】

釧路市(釧路地方気象台のある位置)は、東経144度24.北緯42度59に位置しますが、釧路地方の気象には二つの特徴があります。一つは、全国の気象官著(気象台や測候所)の置かれている気象観測店の中で、富士山頂を除いて、釧路の年平均気温が最も低いことと、もう一つは、生物が最も活発に活動する夏に霧の発生が多く、6～8月の日照時間が我が国で最も少なくなることです。

春の訪れとなる桜前線は5月の中、下旬に釧路に到達し、日本最後の花見シーズンを迎えます。湿原が緑の装いを始めるのもやっとこの頃ですが、5月は比較的好天に恵まれ乾燥しますので林野火災の発生しやすい季節でもあります。枯れたヨシ、スゲ原の湿原では特に火の用心が肝心です。

6月に入ると、内陸では気温が上昇しますが、太平洋沿岸では「ガス」と呼ばれる海霧(移流霧と呼ばれます)が発生し、時には海岸から、100kmも内陸に侵入してきます。釧路の年平均霧日数は113日で、その60%は5月から8月に集中し、生物の活動が盛んな時期に日照時間が少なくなることが湿原の泥炭形成に大きな役割を果たしていると言われています。

7月～8月は海霧のため日照率は30%内外で、気温は上がらず、反面湿度は90%にも達し涼しい夏となり、湿原は7月下旬頃ようやく緑一色の装いをします。

9月に入ると秋雨前線のため多少雨が多くなりますが、霧の日はだんだん少なくなります。10、11月ともなると朝夕の冷え込みは増すものの晴天日が多くなり、空はどこまでも澄み、湿原は黄金色に輝き一年中で最も美しい季節を迎えます。

この時期、上空はすでに氷点下になるので、上昇した水蒸気は氷晶(氷の結晶)となり、うろこ雲やすじ雲など繊細な雲が見られます。雲の厚さがごく薄いため文字通り「天高く」感じられますが、すじ雲が広がりしだいに厚く全店を覆うようになると天気が崩れる前兆です。

秋も深まり10月から11月に入ると、初霜、初氷、初雪が訪れ冬支度に入ります。このころから厳寒期にかけては、薄く結氷した湖面や川面に積もった雪の上にできる幾何学模様「氷紋」、全面結氷した湖面の凍りが割れて盛り上がる「御神渡り」、空気中の氷の結晶に日光が当たってキラキラと輝いて見える「ダイヤモンドダスト」、さらに河口付近では、真水によって海水の塩分が薄められてできる「ハス葉氷(海氷)」などの自然界の不思議な現象が見られます。

釧路の冬は雪は少なく晴天の日が多く、各月の日照率は60%以上、と夏とは反対に北海道内では最も高いと言われます。よく晴れて冷え込んだ朝、海水と空気の温度差で発生する「けあらし」と呼ばれる霧や、内陸部では放射冷却現象によって地表の空気が冷やされ、水蒸気が凝結してできる「放射霧」もみられます。

E-2 【釧路湿原を作った気候】

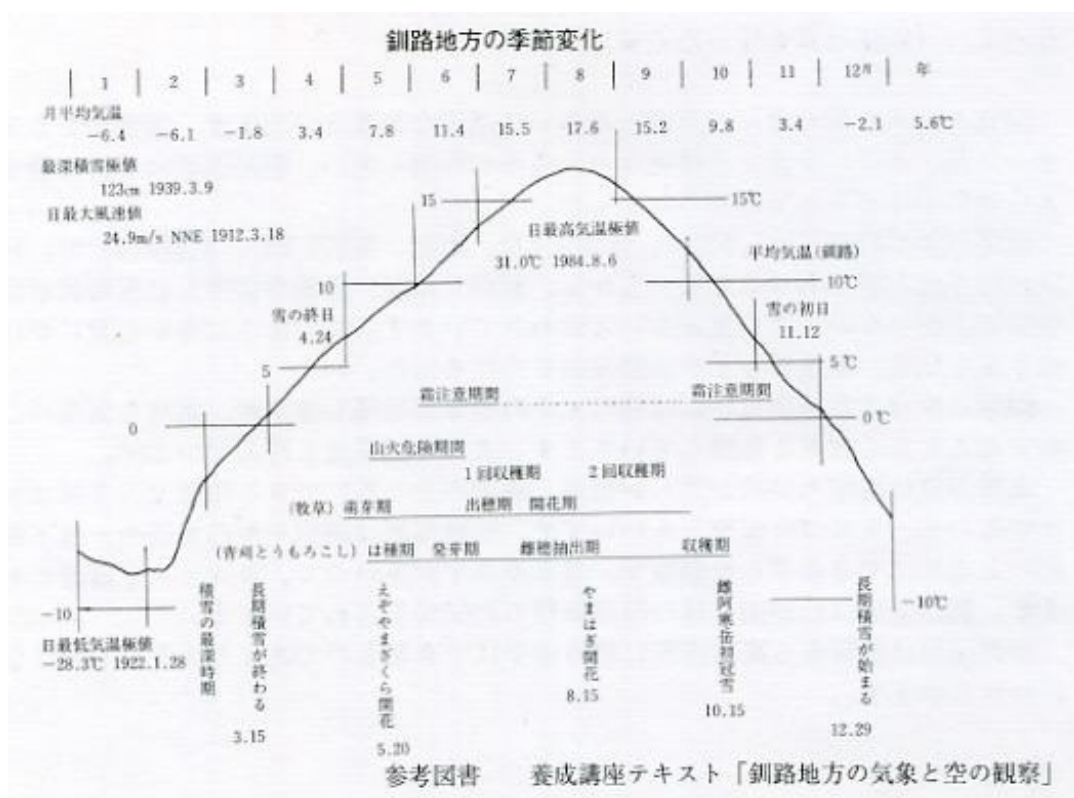
湿原とは水を多く含んだ草原、あるいは過湿な草原といえます。 湿原ができるには、水と気温、そこに生息する植物などの条件が作用しあい、釧路湿原はそれに適する広大な地形条件があって形成されました。

釧路の年平均気温は5.6℃で、根室5.7℃、網走、帯広5.9℃、札幌7.8℃で、札幌を除けばさほど差はありません。しかし、釧路では夏、海霧が発生し日照時間が短く気温が上がらない、よく夏がないといわれています。このように春から夏にかけて冷涼多湿な気候、水条件などが釧路湿原を作りました。

湿原に生育する植物は秋には枯れてその遺体が堆積しますが、寒冷な気温のため分解することなく次々と堆積していきます。これを泥炭地と呼んでいます。

高層湿原は塩類の供給が乏しい低温、過湿のところにできる湿原で、ミズゴケを主とするので、ミズゴケ湿原ともいいます。低層湿原は湖沼や河の水辺や、地下水位の高いところにできる平らな湿原で、ヨシやスゲが多いので、ヨシ・スゲ湿原ともいいます。釧路湿原は我が国全体の湿原面積の約60%を占めています。

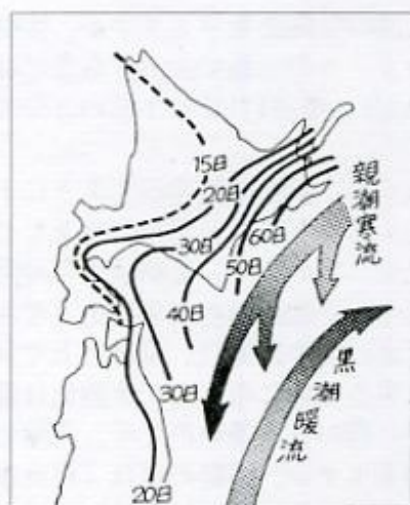
中間湿原は低層から高層湿原に移る途中にできるものであまり大きなものはないといわれています。



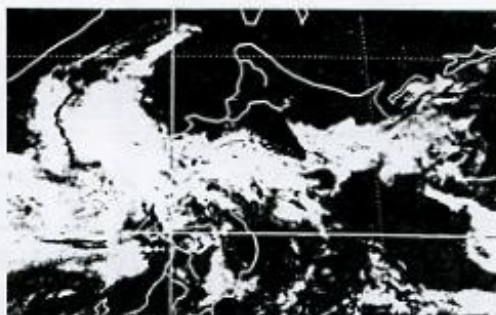
E-3 【釧路はなぜ霧が多い】

霧は「ガス」とか「濃霧」と呼ばれ、人々に風物詩的な印象を与えますが、太陽が遮られ気温は上がらず、湿度が高い、視界が悪くなりなどその土地で生活する者には歓迎されていないようです。年平均の霧日数は釧路113日、根室111日と1年の3分の1近くが霧のベールに包まれ、“霧の街”になります。

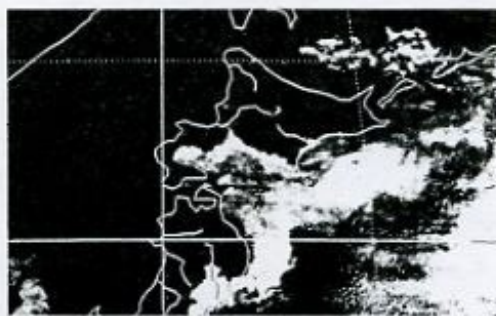
なぜ釧路、根室地方の太平洋側で霧が多いのだろうか。裏面の図で示すように千島列島沖から北海道の太平洋沿岸んを通して三陸沖に達する水温の低い親潮が南下している一方、本州の太平洋側の沖は水温の高い黒潮が北上しています。夏期は太平洋高気圧の強い時期です。またオホーツク海高気圧もその中心が北海道の南東海上まで南下します。そのため北海道は南風が吹きやすくなります。この南風は、黒潮の上で気温が高くなり、水蒸気を多量に含みこれが親潮の上に来ると急に冷やされて水蒸気は凝結し霧になります。このため、釧路、根室地方は夏期に霧の日が多いのです。内陸で発生する霧は「放射霧」といって朝発生し間もなく消えますが、釧路の霧は「移流霧」とも呼ばれ終日消えず、釧路空港では飛行機の欠航がたびたびです。気象予報では霧による視界の距離によってそれぞれ「濃霧」は200m未満のとき、「キリ」は1km未満のとき、「モヤ」は1kmから10kmのとき、と分けて呼ばれています。



6～8月
3ヶ月間の霧日数分布と海流



1986年6月5日09時の静止気象衛星可視画像



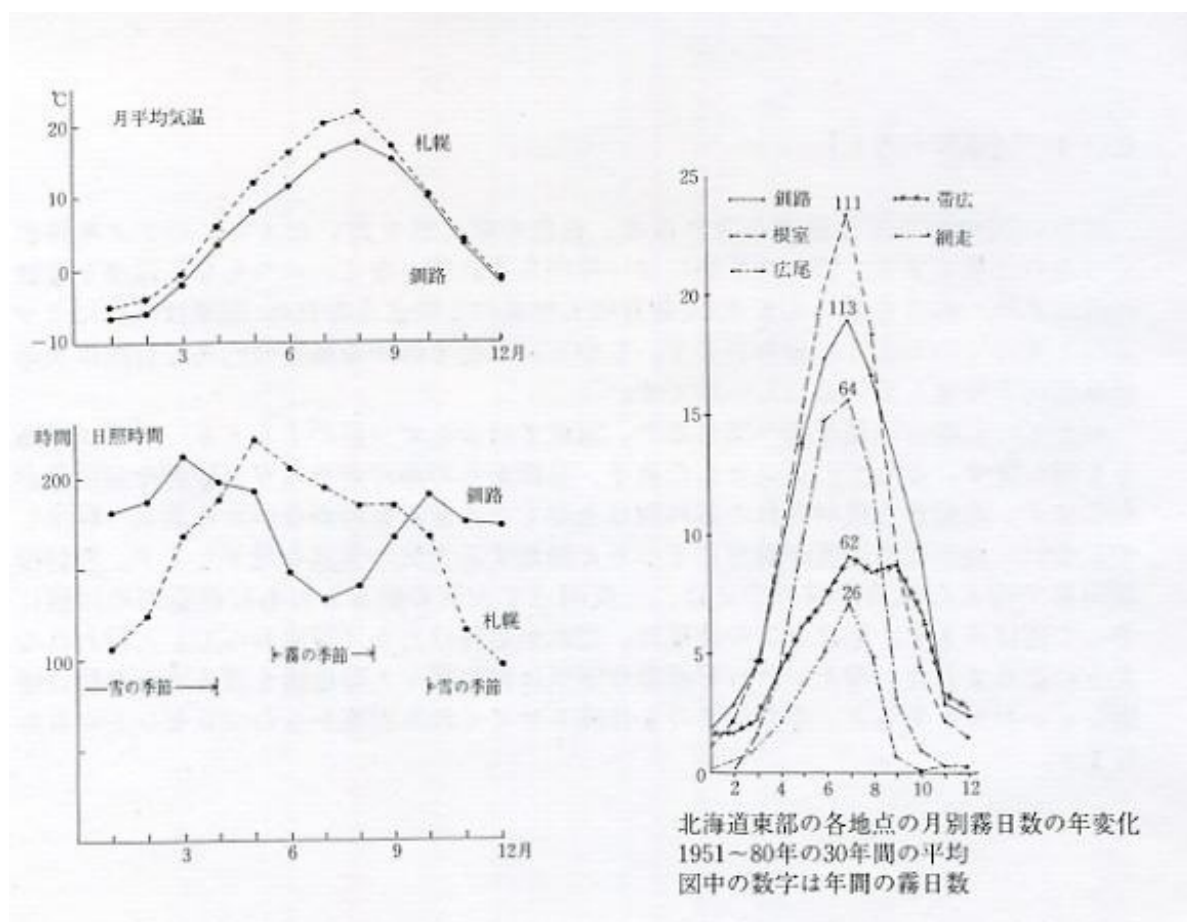
1979年6月4日09時の静止気象衛星可視画像

「釧路測候百年史」(釧路地方气象台)から

E-4 【湿原おろし】

湿原に円やかな雪化粧がなされると、白色の顔に眉をかいたようにハンノキ林がくっきりと見えます。晴れた冬空には一片のちぎれ雲も無く、いつもなら湿原を縦横に遊ぶ北風の叫び声も聞こえません。終日晴天無風のこのような日は、湿原は本当にニッコリと笑っているように思われます。しかし、平穏で静かな風景の内奥で自然は次の気象変化を用意しているらしいのです。

やがて太陽が白糠丘陵へ落ちると、湿原では少しずつ星のイルミネーションが輝きを増します。そして、シンとした夜半、昼間からの条件がそろって放射冷却現象が生じます。湿原から放射された赤外線は上空でさえぎるものがないため満天へ脱出してしまい、地表面の温度が異常に下がると設置する大気的气温も降下します。放射冷却現象で冷えた釧路湿原の空気は、一夜明けて大気の動きとともに釧路川の川筋にそって運ばれます。寒冷なこの北風は、だれが名づけたか「湿原おろし」と言われるようになりました。冷たいけれど清浄な空気は幣舞橋や久寿里橋を渡る人々の肺に健康なインパクトを与え、冬の深まりを体感させてくれる湿原からのプレゼントでもあります。



E-5 【天気を当てる ―観天望気とは―】

気象通報や天気図などに頼らず、空を仰いで、雲の種類、動き、その他の自然現象を手掛かりに天気の予測をすることを「観天望気」といいます。

昔からそれぞれの土地で、多年の経験から割り出した観天望気についてのことわざがあり、これらの中には確率の高いものがあり覚えておくと役に立ち安栖。

日本列島の場合、天気はだいたい西から変わること、気圧や気団の動きは、およそ時速40km前後のスピードであること、天気が崩れるときは高層雲からだんだん雲量を増し、雲が厚くなっていくことなどが観天望気の基礎となっています。

重要な要素は、雲・風・気温であり、この変化を鋭く捕え、とりわけ、西の空の状況に注意することが大切です。

その土地の言い伝えをたくさん集め、自分で確かめ、自分の判断が当たったかどうかメモし、チェックするなどしたらよいと思います。

観天望気では雲を読み取ることが大切であり、雲の形を知っておく必要もあります。



E-6 【釧路地方のお天気・一口メモ】

釧路地方の天気の特徴を表す言葉に次のようなものがあります。

【霧白色なる時は晴れ、深黒色は雨】：霧が白色に見えるのは水分が少なく比較的乾いた状態で日中気温が上昇するに従い消散し晴れる。深黒色は濃霧で水分多く、消散し難く霧雨が雨となる。

【好天は4日以上続くのが普通】：晴れ、または快晴の場合4日以上続くのは75%、5日以上続く可能性は50%、5日続いた場合は9日以上続く。

【晴れ・の予報は80%当たる】・冬期の天気は改正、晴れが多く特に12月から2月の3月は80%天気が良い。内陸部の弟子屈や根室海岸部に比べ2倍の日数。

【風は4～6日毎に強くなる。】：強風は西高東低の気圧配置や道東南岸を低気圧が強まる傾向が最も高く、次いで倍の12日毎となっている。

【天気は悪くなるのも早いが回復も早い】：雪が降る場合、快晴のところへ雲が出始めて、3～9時間後に雪が降り（約70%）、雪がやんでから3～4時間後は快晴になりやすい（約60%）

【強いシバレは嵐の二日後に】：冬期に低気圧が通過するとすぐ後面の寒気が入っているが、月2～3回程度の厳しい寒さはこの低気圧発生後約48時間位後でなければ入ってこない。

【寒い朝は霧笛が鳴る】・釧路地方で、冬の朝にシバレ、最低気温が-15度前後まで下がると、河口から港にかけて一面けあらしが発生する。これは川霧の一種で港付近はもうもうと霧が立ち込めて警報が鳴る。けあらしは太陽が昇るとともにきえてゆくが「けあらしがあると日中天気良い。」

【丹頂鶴の天気占い】：丹頂鶴が夕方遅くなっても餌場を去らず異常な食欲を見せるとその日の晩か、翌日には天気が崩れる。また丹頂がけたたましく鳴くと地震が起きる。

全国に通用し、科学的にも意味ある天気に関することわざ観天望気には次のようなものがあります。

【朝にじは雨、夕にじは晴れ】：【朝焼けは雨、夕焼けは翌日晴れ】・【日がさ、月がさ懸れば雨】・「星のきらめきが強い翌日は大風になる」・「レンズ雲が出ると風が強くなる」

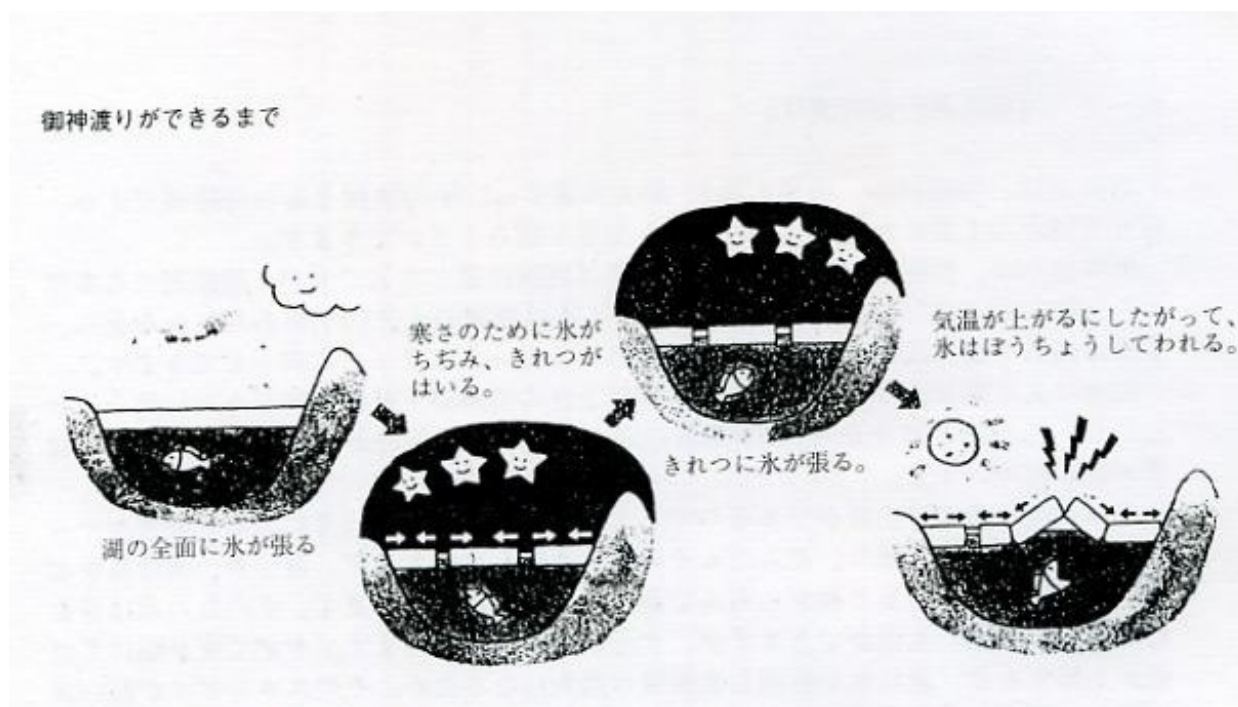
E-7 【塘路湖の御神渡し】

塘路湖は、周囲18km、面積6.2平方キロメートル、最大水深7m、平均水深5mの海跡地ですが、12月下旬から1月にかけて「御神渡し」現象を見ることができます。

御神渡しは、長野県の諏訪湖、北海道では屈斜路湖が有名ですが、塘路湖でも南岸から北岸に向かって500m程のものが2本、1本は南岸の土佐市宅前あたりから北に、1本は同じく筒井氏宅前から北岸、神社のあるタンネヌタップに向かってできます。

伝承による御神渡りの由来は、諏訪大社上社の男神が下社の女神のもとに通う道と言われ、諏訪湖では今から約600年前の応永4年からの記録が残っており、今でも神事が行われています。

ではなぜ氷のミニ山脈ができるのでしょうか。11月末から12月に入ると寒波がやってきて湖面には氷が張り、だんだんその厚さを増していきます。夜中や、明け方など寒さがさらに厳しくなると氷がちぢんで湖の氷の面積が不足します。そのため氷は音を立てて割れ、細い水面ができますが、すぐに薄い氷が張ります。やがて夜が明けて気温が上昇すると、逆に氷が膨張し表面積が過大になるため、そのエネルギーが弱い氷の部分に集中し、大きな音を立てて数百メートルにわたって立ち上がるのです。氷の割れるとき、立ち上がる時の音、それはあたかも海底からとどろく神々の叫び声のように聞く人の心を打つと言います。



E-8 【スター・ウォッチングと星座】

1930年国際天文学連合によって、全天88星座が整理されました。内訳は、黄道12・北天28、南天48星座です。

星座は時間とともに少しずつ西に動いていきます。そして夜半には次の季節の星座が南の空高く昇ってきて、さらに夜明け近くにはその次の季節の星座が姿をみせてくれます。一晩中で3シーズンの星座を楽しむことができます。翌日、前日より3分56秒早い時間に同じ方向に同じ星座を見ることが出来ますが、このことは、星座の見え方は地球に自転による一日の動きと、地球が太陽のまわりをゆっくりと公転することによる季節の動きの二つが組み合わさって表れていることを示しています。

スター・ウォッチングはまず一年中いつでも牧田に輝いている北極星を見つけて、全天図の北の方向を北極星に向け頭上にかざして見比べて、星座の様子と全天図の星の並びを一致させることから始めます。スター・ウォッチングの道具として意外に役立つのは双眼鏡です。手持ちだと視野が揺れて見えにくいので体を壁や柱に寄せるか、カメラの三脚などに固定してみるのがコツといえます。あなたも湿原でのスター・ウォッチングをお楽しみください。

地面の動きと感じ、宇宙を見下ろしてみよう

①地面の動きを感じよう



②宇宙を見下ろしてみよう



覚えておきたいそれぞれの星の色、距離、運行を話題にしよう。

	覚えておきたい主な星	星 座	色	距離(光年)
春	アルクツルス	牛 飼	橙	36
	スピカ	乙 女	白	250
	レグルス	獅 子	白	70
	カペラ	駁 者	黄	50
	プロキオン	小 犬	黄	11
	ポルクス	二 子	橙	35
夏	ベガ	琴 鷲	青白	26
	アルタイル	鷹	青白	17
	デネブ	白 鳥	青白	1,500
	アンタレス	さ そ り	赤	600
秋	ベテルギウス	オリオン	赤	500
	リゲル	オリオン	白	600
冬	シリウス	大 犬	青白	8.7
	アルデバラン	牡 牛	橙	70

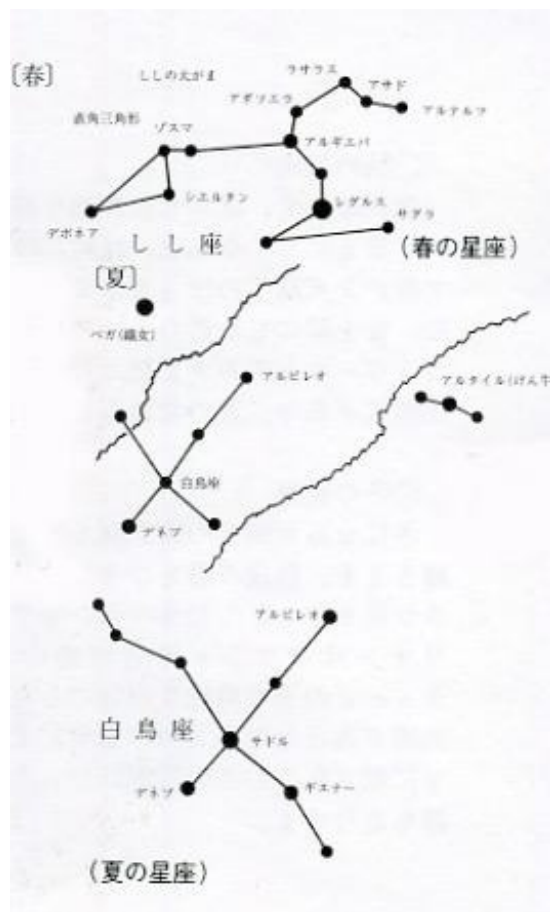
E-9 【四季の星座】

○春の星座

春になると東の空に、？マークを裏返しにしたような星の群れに気が付くと思います。このマークの↓の部分に1等星のレグルスが静かに光っています。ギリシャ神話の世界一強い男、ヘラクレスにアルゴスの王が試練のため12種の荒行をさせ、そのひとつに、牛や羊、人を食うネメヤの森に済む「シシ」を退治せよと言われました。ヘルクレスに殺されたシシは天上の星座になりました。

○夏の星座

東の空から、白鳥座、こと座、さそり座が見えると夏になります。天の川をはさんで、1等星の明星ベガ(織女)とアルタイル(牽牛)、その間を流れる天の川の中に白鳥座(北十字星)を見つけることができます。北十字星の端にあるアルビレオは、全天で1番美しい二重星として有名です。



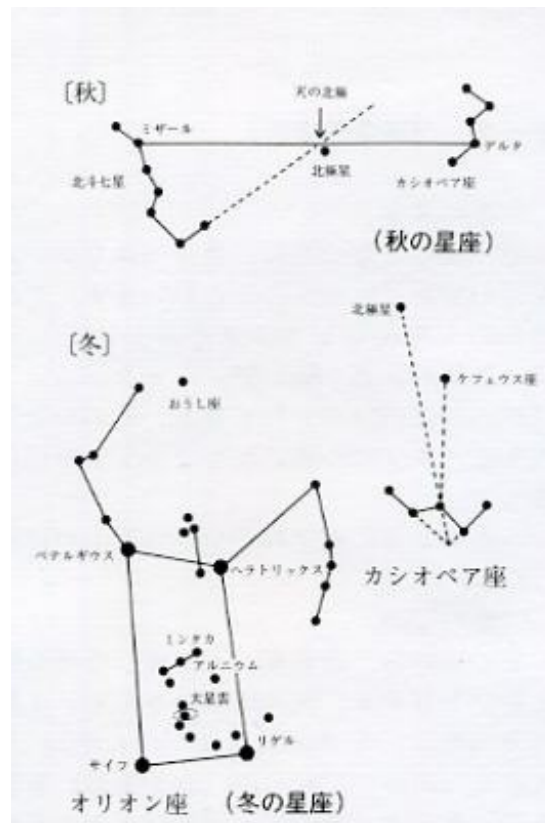
○秋の星座

秋になって、北斗七星が地平線に近づいて見えにくくなると、反対にカシオペア座が北天高くのぼってきます。天の川に、Wを横にした形の5つの星です。ミザールとデルタを結んだ線の真ん中に北極星があり、天の北極もこの線上です。

○冬の星座

冬になると南空の頭上高く美しい星が輝きます。私たちの目をひきつけるのが、3つ星を中心と

したオリオン座です。オリオンはギリシャ神話の海の神ネプチューンの子で勇壮な漁師でした。でも高慢であったため大神の命令によりサソリに殺されてしまい星座になったという話もあります。



今でこそ国立公園にもなり、訪れる人々が「すばらしい！」と感嘆の声を上げる釧路湿原ですが、昔、この地に開拓民として初めて入った人々はどんな思いを抱いたことでしょう。

釧路湿原の開拓は、明治17、18年鳥取土族の集団入植に始まります。

明治維新、あの動乱と政変の時代に、武士階級は経済的基盤を根底から覆され、生活に困る者が続出しました。時の政府はその救済策の一つとして屯田兵制度を採用しましたが、鳥取土族もそんな事情の中で明治17年6月には41戸、翌明治18年には64戸が釧路に入植しました。その時の様子が鳥取町史に記録されています。「上陸してみると、斯うだらうとはおおよそ覚悟しておったものの、海岸に三四十の家が立ち並び、上の方にはアイヌの小さな草小屋が点在している。其余は目も届かぬ茫々とした野原で、年寄共の内には、声を上げて泣くものさへあり、全く胸のつぶれる様な気がした。」それでも「何糞！やってみせるぞ！とふるいたった」のですが、何しろ生まれて初めての野良仕事、「何とも彼とも言い様のないつらさで、口には出さなんだが腹の中では泣いたもんだ。そうやって汗水流し、手のひらに血豆をつくって、ようやくできたのが、わずかばかりのじゃがいも、大根、ニンジンに一握りの粟かソバ。それもひと度阿寒川の氾濫にあえば...」

入植草々からたびたび阿寒川の洪水に見舞われ、初期の開拓は水との戦いであったようで、のちに「開拓とは治水工事である」とまでいわれました。夏はご存じの海霧、冬は掘立小屋のような家に住み、「水はもちろん、酒や醤油も飯びつの飯も、見ている前で凍る始末である。布団をかぶって寝ていれば、寝息の当たる部分が凍ってバリバリになり、朝には掛布団の上に人型の霜が凍りつく...」ありさまだったようです。

鳥取村、鳥取町を経て、今は釧路市の地名として鳥取の名を止めています。

明治25年旧暦6月初旬、貫誠社と呼ばれる、香川県からの開拓団が塘路湖畔に入植しました。団員の多くは農民で、その他大工、左官、鍛冶職人など一行11戸47名、団長は神官の息子で高岡縫殿という青年でした、。彼らは、ただ同然で、国有未開地80万坪（約2,700ヘクタール）の払い下げを受け、この広大な土地にサトウキビ畑を作ろうと、3年分の食料を持ち、製糖機具も携えてやってきたのでした。塘路湖のほとりに八幡様の分霊をまつる社を建立し、就業、休憩、食事などすべて八幡社の太鼓を合図に、共同で働き生活したいということです。

しかし、ここの土地は郷里の土地とはあまりにも違っていました。熊笹やヨシの根をやっとの思いで掘り起こしてみればそこは泥炭土、もちろんサトウキビ畑には適さず、おまけに蚊やブヨの大軍。一人去り、二人去り、しかもその年12月には火災で家財道具や蓄えの食料まで消失し、貫誠社の一行はとうとう離散ということになってしまいました。

北海道の地名はアイヌ語を語源にしたものが多いです。札幌、旭川の年もアイヌ語起源の地名です。ほかの地名もほとんど同様に、それだけアイヌ民族とのかかわりの多いことがわかります。そして、その生活文化の漂いを感じます。しかし、アイヌの伝説、伝承と同じように未解明、難解なものも多くあります。特に道東と呼ばれる釧根地方は難解な地名が多いので知られています。珍問迷答もよく耳にします。

釧路湿原を取り巻く各地名もほとんどアイヌ語にカナや漢字をあてたものです。釧路の語源にはいくつかの解釈がありますが、その一つは、クシルまたはクスル説で、クシは「越える」、ルは「路」の意。釧路を中心に、斜里、根室などに人や物資の往来が盛んに行われたのでそう名付けられたというものです。釧路川は昔、上流の標茶まで船での往来ができましたが、標茶は、着いた船から人や荷を下ろすところ、シ・ペツ・チャ「大・川・岸」で、これを大川端と訳すことができます。アイヌ語地名ではありませんが、JR釧網本線の駅名ともなっている五十石という地名は、釧路川の航行が曳船で行われていた昔、五十石船が航行できる上流端を名づけて呼んだものと聞きます。

F-3 【塘路湖のペカンペ祭り】

まつりは、捧げものをして神「自然」と祖先とのきずなを良い状態に保つためコミュニケーションを行い、間を釣り合うように調整するという大切な意味合いがあります。このような古式のスガタを伝承している塘路湖のペカンペ（又はペカンペ、ヒシの実）まつりは、毎年9月のはじめに取り粉われます。

オンネムシというヌサ（幣場）のある浜辺に新しいイナウ（木幣）が並べられ、祈り詞（ことば）が天上の神、湖の神、村の神にささげられてから、ユリカモメの群れを脅かさぬよう迂回をして、一行は小舟をカムイ崎にむかわせます。

カムイ崎では、シトウイナウ（イラスト参照）に酒粕がおかれ祖先祭が始められます。朗々とした先祖への語らいは、輝きを最高に増した湖と周りの自然へと吸収されます。あとは手作りの捧げものをおいしく頂きながら、江戸期の文献に著されたような盛大なペカンペまつりをなつかしみ、語らいの時を過ごします。

知里真志保夫人でもある萩中美枝氏は、「新しい見せるためのまつりも生まれれば、こうして気負いもてらいもなく自然に自分たちのものになっているまつりもある。アイヌの情趣が感じられ



るまつりである」と書いています。

F-4 【アイヌ民話】 ―釧路湿原にクジラがいた―

釧路湿原が海であった大昔のことです。知人岬から遠矢、塘路にわたる東側の給料と白糠丘陵から連なる標茶丘陵キラコタン、コツタロまでの西側と北部丘陵に包まれた湿原は深い入り江になっていました。そして、東に釧路アイヌ、西には白糠アイヌのコタンがありました。

海が時化たある日の朝、一頭のクジラが遠矢の岸に打ち寄せられました。知らせを受けたアイヌのエカシ（長老）は、近くのコタンに知らせ、クジラをみんなで分け合い、人々はフンペヤン（鯨があがった）と叫び喜び踊り出しました。太鼓をたたきのろしを上げての賑わいに、対岸の白糠アイヌも加わり更に大賑わいになりました。

それから釧路アイヌと白糠アイヌは仲良くなり、入り江に鯨が入った時は、のろしを上げて知らせ合い、クジラ漁がおこなわれるようになったといいます。知人、遠矢、北斗、キラコタンにはのろし台があったともいいます。

「フンペヤンの歌」 トオヤ フンペヤン 遠矢の浜に鯨があがる

セイアンナニシ シコトリ 紫色の煙がたなびくよ

ハ～ホ～ ホイヤホ～ は～ほ～ほいやほ～

（上田カム伝・佐藤直太郎 談）

【アイヌ民話 ー湿原と丹頂ー】

大昔、丹頂はアイヌコタンの近くに住んでいました。アイヌの人々は丹頂を家畜の様に可愛がっていました。

ある時、釧路のアイヌコタンに千島のアイヌコタンが攻めてきました。根室、厚岸のアイヌを破って勢いのある千島アイヌとの戦いは熾烈を極め、釧路アイヌも多くの犠牲者を出しましたが、やっと勝利を収めることができました。

その時、多くの丹頂が戦いの犠牲になりました。矢に当たって死んだ丹頂、敵に食べられた丹頂、コタンには丹頂の死骸が累々とできました。わずかに生き残った丹頂は、傷ついた哀れな姿で哀しい声を上げ啼いていました。心の優しい美しいエカシのビルカメノコは、この丹頂をいたわりながら湿原の奥深く入っていきました。

そして、ビルカメノコも丹頂も再びコタンにその姿を見せませんでした。それから丹頂が釧路湿原に棲むようになったと言われています。

湿原のほぼ中央に今も真冬でも凍らず、こんこんと湧き出る泉があります。ひとびとは、これを「ビルカの泉」と言っています。（八重九郎翁 談）

F-5 【アイヌ民話 ー遠矢のチャシとタンチョウヅルー】

昔々、遠矢付近に平和な釧路アイヌの村がありました。その村長の名はキラウコロエカシといい、今の龍谷寺の裏にあるチャシ（砦）に住んでいました。

ここには一つがいの鶴が飼われておりました。鶴は、餌を求め、朝飛び立ち夕方になると戻ってくるという生活で、村人たちに親しまれて暮らしていました。鶴も子を増し、コラウコロエカシの孫が村長になった頃にはたくさんの鶴が繁殖するようになっていました。

そんなある日、千島アイヌだといわれるクムセが根室、厚岸軍を破り、釧路領内にまで侵入してきました。時の村長カネキラウコロエカシは、釧路連合軍を率いて防戦し、戦は勝ったかのようにみえましたが、釧路郡の不平分子を買収していたクムセは、不意に、間道から遠矢のチャシに攻め込んだのです。老人、女、子供だけが残っていた遠矢チャシは、たちまちクムセ軍に占領されてしまいました。占領したクムセ群は、いつものように夕方になると戻ってきた鶴を射殺し、夕食のごちそうにしまいました。遠矢チャシの異変を知らされた釧路軍は、ただちに一隊をさしむけ、クムセ勢を倒し、遠矢チャシを奪い返しましたが、鶴たちは二度とこの村へは帰ってきませんでした。

今、釧路湿原にいる鶴はこの時帰ってこなかった鶴の子孫だということです。

（佐藤直太郎 釧路地方の伝説）

【アイヌ民話　ーオオジンギ（白糠に伝わる神話）ー】

私は、天の神から大事なことをいいつかって人間の村に来ました。折から村は春の真ただ中で草も木も花盛り、何処へ行ってもいい香りと美しさにみとれ遊びほうけて、私は神様の用事をすっかり忘れたのです。そのうち木の花も草の花もすっかり散り、私は神様から言いつかった用事を思い出しました。私は慌てて用事を終え神の国へ戻ろうとすると神様の声がします。「人間のところが良くて言いつけを忘れた者はもう天に戻ってくるな」と神様は私を叩きます。仕方なく私は地上に下りましたが、でも神の国に戻りたい、私は途中から戻っていくと、「二度と来るな」とまた叩かれました。とうとう帰ることができず、神の国を思い出して泣きながら下りてくるのでした。チビヤク（シギ）が物語るのです。（コタン生物記より）

釧路地方の伝説です。人間界に悪の種をばらまいていた魔神をアイヌの英雄オタスウングルが退治し、再び生き返らないように六昼夜かけて焼き払ったところ、その灰が夜風に吹かれて飛んでしまった。初めはアブ、次は蚊、そしてブヨ、ヌカカになったとのこと。だからこれらの蒸しは今も悪魔の性が抜けずに人間にまといつき血を吸うのだといわれています。

ある時、蚊の長老の娘がアイヌの英雄オタスウングルに恋をしました。夫婦になりたいと思いましたが、人間のところに行けば叩き潰されるので、オタスウングルに夢を見せて自分の想いを伝えました。同情したオタスウングルは、妻に、蚊と言っても生き物だ。生きるために命がけで血を吸いに来るのだからむやみに殺すなというと、妻はだからといって食われるこちらだってやりきれたものではない。殺すのは当然だと言い張るのです。オタスウングルは黙って裸になって外に出ていきました。すると蚊の大群が真っ黒に彼を取り囲み、ありったけの血を吸い取ってしまいました。ふらふらになって歩いていくと、大きな砦がありました。中には立派な長老と姥がいて、美味しい油の入った混ぜご飯を食べさせてくれました。食後オタスウングルの傍らにきれいな娘が現れました。そして長老がいます。「あんたがここに来たのは、娘があんたを好きになったからだ。私どもの仲間が殺されるのを同情してくれたので、娘の仲間や家来があんたの血を皆吸い取った。あの混ぜご飯の油はあんたの血で作ったものだ。あんたはもう人間に戻ることはできない」。オタスウングルの家では、出かけて帰ってこない夫を探しましたが夫は死んで発見され、泣く泣く葬式を出しました。その晩、夫が家人の夢枕に立ちことの次第を話しました。そして「子供を丈夫に育ててくれ、明日の朝、二匹の蚊が飛んでくる。それは私と娘だから」といいました。翌朝、おかみさんが子供に乳を飲ませていると二匹の大きな蚊が飛んできて、ポタポタ涙を落として何処かへ飛んでいきました。（コタン生物記より）

アイヌ語地名は言葉の順、音が日本語とほとんど同じで単語を覚えれば気軽に読め、親近感のある地名だと言われ「文化遺産である」といわれます。

地名は、その時代の生活環境の反映だと言われ、日本語地名では黒田とか山田とか「田」が多いことは、それが稲作農業経済の土地であったことの反映で、アイヌ語地名には田などは出でず、たとえばベツとナイ(共に川の意)のつく地名が多い。これはそこが主食である魚を取る場所であり、狩りに行くにも沢筋を通ったなど狩猟採取にかかわっているといえます。

また、北海道には同じ地名、似た地名が至るところにあります。古い時代、アイヌの人々は小さなコタン（村）と、その周辺の狩猟採集地の中で、自給自足の生活をしていました。アイヌ語地名はそのほとんどが地形を呼んだもので、当時はどこの村でも同じような生活慣習で、どこの村に行っても同じような地名があったに違いなく、これが転じて現在の地名になったため、同じ地名、似た地名が多くあるのです。地名は、人類がその地に集団を形成し、生活の営みをするようになって発見したものであり、人間の歴史と証でもあります。地名のもつ意味を正しく知ることは歴史を理解するうえで大きな助けになると思います。

【アイヌ語—地名に出てくる主な単語—】

（１）川筋の地名

・ベツとナイ（共に川の意。アイヌ民族は川筋にコタンを持ち生活。別とか内のつく地名が特に多い。）・ポロ（大きい、多い）・ポン（小さい、少ない）・フシコーベツ(古い川)・アシリーベツ（新しい川）・ホロカーナイ(後戻りする川)・ソ（ソー・滝）・ト（トー・湖・沼・池）
・クッチャロ（喉口）・パンケ（川下のところ・の）・ペンケ（川上のところの・の）パンケ
・トー（下の・沼）・ペンケ・トー（上の沼）

（２）海辺・山野の地形・地物

・アトウイ（海）・オタ（砂・砂浜）・レブ（沖）・コイ（波）・エトウ（鼻・転じて岬）ノ
ッ（あご・岬）・シレトコ（地の・頭・の突出部・岬）・ヌプリ（ふつうは高い、聳えた山）・
シリ（山）・マツネ・シリ（女である・山）・ピンネ・シリ（男である・山・雌阿寒がマツネ
シリ・雄阿寒はピンネシリ）・フル・（丘）・ビラ（崖・ペシは奥地の方に多い崖）・ニタッ（
低湿荒野・やち）・トマム（奥地に多いやち）・サル（あし原）・ヌプ（野・草原）・ル（道）
・コッ（窪地）・シュマ（スマ・石）・シラル（岩）・ワッカ（石）

○釧路：由来には3つの説があります。その1 クシュル説。クシュルは越える道、通る道の意味で、釧路は昔から交通の要所であったことから名づけられたとする説。その2 クッチャロ説。クッチャロは本来は咽喉の意。寛永年間、時の松前藩がクッチャロ（屈斜路）湖畔のアイヌを今の釧路に移住させてそこをクスリ場所としたとする説。クッチャロ＝クスリ＝釧路と発音が天かしたものの。その3 クスリ説。クスリの本来の意味はクスリ、あるいは温泉の意。クッチャロ湖の原名、クスリ湖を水源とするクスリ川、すなわち釧路川にちなんで、その河口にある集落をクスリと名付けたとする説。

○仁々志別：（ニニシベツ） 樹木や魚の豊富な川

○幌呂：（ホロロ） ポロ・大きい、ル・道で、大きい道

○久著呂：（クチョロ） 人間の咽喉の意で、入り口、川の入入口、沼の入入口

○恩根内：（オンネナイ） オンネ・ナイは親・川。大きな川、年老いた川、支流の多い川など。

○雪裡：（セツリ） セッチリウシまたはシチリウシに由来し、クマや鷹の多いところ

○達古武（タッコブ、タブコブ、小さな丘のある常呂、離れてポツンと建っている円山、瘤のような丘に由来する。

○遠矢（トオヤ） 沼岸の丘。

○塘路（トウロ） トー・オロ沼あるいは湖・の所。なお、ポロ・トーは大きな・沼、親沼の意味もある。

○ポンピラ：ポン・ヒラ（ピラ） 小さい・崖

○サルボ：サル・ボ（ポ） 葦原（湿原）の・子。ポは指、元々の意味は子。小さい葦原（湿原）の意味。

○エオルト沼：繊維をとるために、ニレノ木の皮を漬けておく沼。

○マクントー・マク・ウン・トー奥へ・入る・沼

○ポント：ポン・トー小さい・沼

○シラルトロ沼：シラリ：ウトル岩ないし岩磯の・間であるがシラルトロ沼には岩や磯浜はない。この沼の水源シラルトロエトロ川の上流にあるという岩の間を流れ下る水が流れ込む沼なのでシラルトロ・トーになったという解釈がある。

○タンネウシ：タンネ・ウシ長い・所。湖岸がまっすぐに長く続いている所。

○タンネヌタフ：タンネ・ヌタフ長い・湾曲内の土地。ヌタフまたはヌタブは湾曲する川に囲まれた土地、川沿いの岩崖の上の平地などの意味がある。塘路湖を川に見立てて呼んだものか。5万文の1地形図ではタンネヌタフとなっている。

F-9 【アイヌ語―地名の解釈―】 ...②

○モヤサム：入り江の奥。 やはり塘路湖畔の地名

○ワッカオイ：ワッカ・オ・イ 水が・沸いている・所

○オモシロンベツ川：オ・モシリ・ウン・ペ川尻に・島・ある・川（者）であるが現実の川尻に島があるようにはみえない。

○アレキナイ川：旧くはアルキナイであるが、「阿歴内」の字を当てたのでアレキナイになってしまったものか。意味は解明されていない。アレキナイ川は昔からの交通路であったことから「アルキ・ナイ来る・沢」かとも推定されている。

○モアレキナイ川：モ・アレキナイ小さい（子の）・アレキナイ。アレキナイ川の支流のひとつ

○チョクベツ川：これもアレキナイ川の支流。古くはチョロヘツ。チ・ホロ・ベツ我ら・（水に）漬ける・川で、オヒョウニレの多いところでその樹皮から繊維をとるためにつけた川であったのだろうとする説。

○コッタロ川：豊島三右衛門「豊島地名解」（1882）の引用、「コッタロト云ハ深キト云言也ロヲ云ハ静ヲ云名ナリ 此処ハ小サキ小川ナレトモ底深シ 水ノ流れ静ナルヲ名付ルナリ」。音だけからはコツ・タロ沢の低地となるが、解釈は諸説あって定説。

○ヌマオロ川：ヌマ・オロ、ヌマは毛髪、ヲロは在る、生える。シカの骨が非常に多かったとのことで、ヌマはあるいは毛、毛皮のこととも考えられているが明解ではないようである。

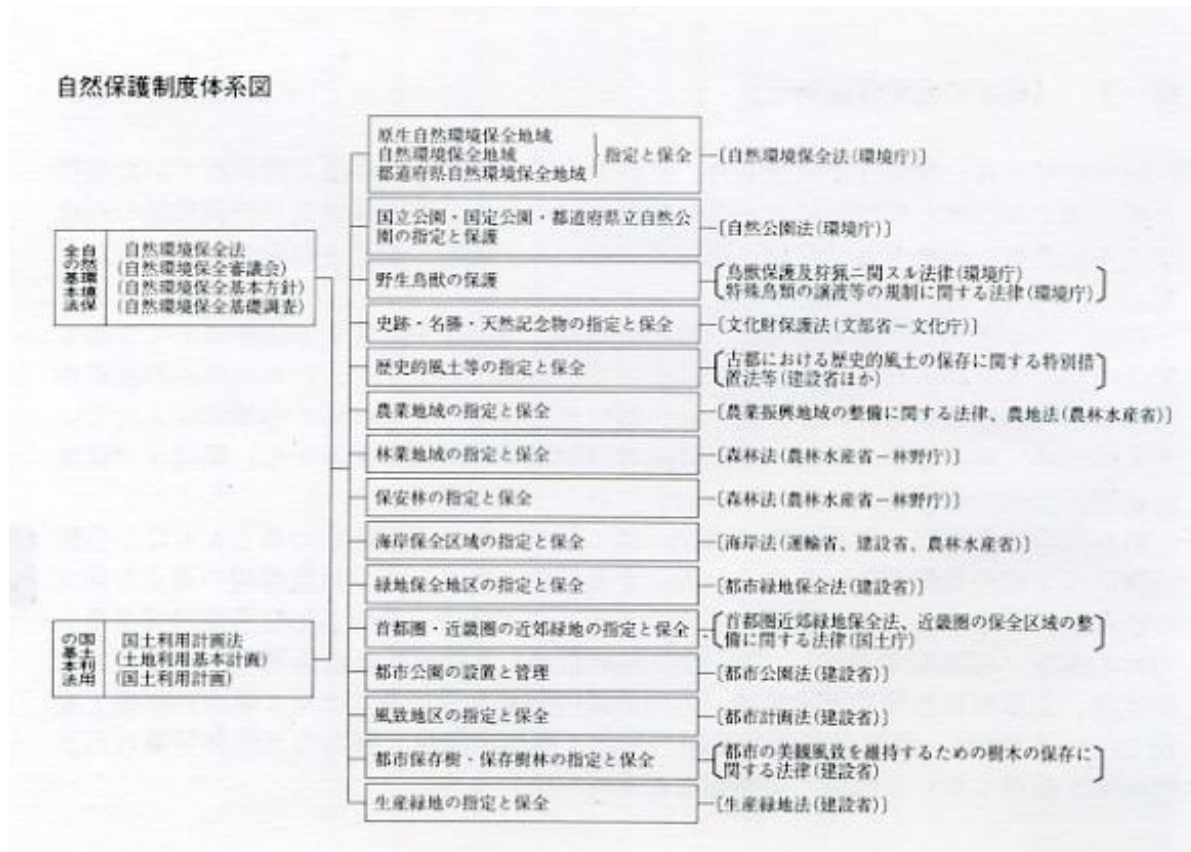
○オソベツ川：オソッ・ベツ川尻の滝。湿原の中で滝があるとは思えない。未解明。

G-1 【日本の自然保護制度】

昭和46年7月に環境庁が設置され、それまで厚生省国立公園部で行われていた自然公園に関する行政と林野庁において行われていた野生鳥獣の保護及び狩猟関係の行政が一本化され、自然保護行政は、環境庁において一元的に推進されることになりました。

現在、我が国の自然環境保全のための行政は、環境庁が所管する法律ばかりでなく、裏面の図にまとめられるような法律によって行われていますが、これら以外の法律の中にも部分的ではあるにせよ、何らかの形で自然環境の保全に関する規定が入っているものが多くあります。これらの法体系は自然環境保全法を基本とし、環境庁が関係行政機関の総合調整をおこないつつ運営にあたっています。

自然環境保全法は、自然環境の保全に関し基本となる事項を定めるとともに、自然公園法など他の自然環境の保全を目的とする法律と相まって、自然環境の適正な保全を総合的に推進することを目的としています。この法律に基づき①自然環境保全基本方針の策定（昭和48年策定）、②「緑の国勢調査」と呼ばれる自然環境保全基礎調査の実施、③原生自然環境保全地域（人の活動の影響を受けることなく原生の状態を維持している地域）、自然環境保全地域（高山・亜高山植生、優れた天然林等優れた自然環境を維持している地域）の指定などを行っています。



G-2 【日本の自然公園制度の歴史】

日本で「国立公園」をつくろうという初めての動きが起きたのは明治44年（1911）のことです。この年、衆議院で富士山一体を「国設大公園」にしようという「国設大公園設置ニ関スル建議案」が提案され、この時、自然保護についての議論もされたということです。当時はまだ、国立公園という名称は一般的ではなかったので国設大公園という言葉が使われたのでしょう。しかしこの建議案が実現するのはだいぶ後のことです。政府として国立公園を作るための法律の準備や、国立公園法が制定されたのは大正9年（1920）頃からのことです。そして国立公園法が制定されたのは昭和6年（1931）、国立公園が実際に指定されたのは昭和9年（1934）のことでした。昭和9年3月には瀬戸内海、雲仙、霧島、12月に阿寒、大雪山、日光、中部山岳、阿蘇国立公園が指定され、続いて昭和11年には4つの国立公園が指定され12の国立公園が誕生しました。

次は、戦後の昭和21年の伊勢志摩の国立公園の指定ですが、昭和32年には、それまでの「国立公園法」に代わって「自然公園法」が制定され、ここに初めて3種類の自然公園、すなわち、国立公園の他に新しく国定公園、都道府県立自然公園が生まれることになりました。自然公園行政は今、昭和46年発足した環境庁に引き継がれています。

国立公園一覧表

番号	国立公園名	指定年月日	面積	番号	国立公園名	指定年月日	面積
1	利尻礼文サロベツ	昭和49. 9. 20	21,222	15	中部山岳	9. 12. 4	174,323
2	知床	39. 6. 1	38,633	16	白山	37. 11. 12	47,700
3	阿寒	9. 12. 4	90,481	17	南アルプス	39. 6. 1	35,752
4	釧路湿原	62. 7. 31	26,861	18	伊勢志摩	21. 11. 20	55,549
5	大雪山	9. 12. 4	230,894	19	吉野熊野	11. 2. 1	59,798
6	支笏洞爺	24. 5. 16	98,332	20	山陰海岸	38. 7. 15	8,996
7	十和田八幡平	11. 2. 1	85,409	21	瀬戸内海	9. 3. 16	62,821
8	陸中海岸	30. 5. 2	12,348	22	大山隠岐	11. 2. 1	31,927
9	磐梯朝日	25. 9. 5	187,041	23	足摺宇和海	47. 11. 10	10,967
10	日光	9. 12. 4	140,164	24	西海	30. 3. 16	24,653
11	上信越高原	24. 9. 7	189,028	25	雲仙天草	9. 3. 16	28,289
12	秩父多摩	25. 7. 10	121,600	26	阿蘇くじゅう	9. 12. 4	72,680
13	小笠原	47. 10. 16	6,099	27	霧島屋久	9. 3. 16	54,833
14	富士箱根伊豆	11. 2. 1	122,686	28	西表	47. 5. 15	12,506
				計			2,051,592

G-3 【日本の自然公園制度】

自然公園には、国立公園、国定公園、都道府県立自然公園がありますが、昭和6年に制定されたそれまでの国立公園法にかわって昭和32年制定された自然公園法によって指定されています。この法律は「すぐれた自然の風景地を保護することとともに、その利用の増進を図り、もって国民の保険、休養及び教化に資することを」目的としていますが、国立公園は「我が国の風景を代表するに他散る傑出した自然の風景地で」環境庁長官が指定します。国定公園は国立公園に準ずるすぐれた自然の風景地であって都道府県の申し出によって環境庁長官が指定するものです。都道府県立自然公園は都道府県が指定します。

	公園数	公園面積	国土面積に対する比率
国立公園	28	2,051,592ha	5.43%
国定公園	54	1,291,836	3.42
都道府県立自然公園	300	1,983,585	5.25
合計	382	5,327,013	14.10

国土面積は 37,771,976ヘクタールです。（国土地理院の資料）

国定公園一覧表

公園名	指定年月日	面積(ha)	公園名	指定年月日	面積(ha)	公園名	指定年月日	面積(ha)
暑寒別天売焼尻	平成2.8.1	43,559	佐渡弥彦米山	昭和25.7.27	29,464	西中国山地	昭和44.4.10	28,553
洞走	昭和33.7.1	37,412	能登半島	43.5.1	9,672	北長門海岸	30.11.1	8,021
ニセコ穂丹小樽海岸	38.7.24	19,009	越前加賀海岸	43.5.1	8,992	秋吉台	30.11.1	4,502
日高山脈標雲	56.10.1	103,447	若狭湾	30.6.1	21,870	剣山	39.3.3	20,870
大沼	33.7.1	9,083	八ヶ岳中信高原	39.6.1	39,857	室戸阿南海岸	39.6.1	7,216
下北半島	43.7.22	18,728	天竜奥三河	44.1.10	25,756	石鎚	30.11.1	10,683
津軽	50.3.31	25,966	揖斐関ヶ原奥老	45.12.28	20,219	北九州	47.10.16	8,249
早池峰	57.6.10	5,463	飛騨木曽川	39.3.3	18,075	玄海	31.6.1	10,974
栗駒	43.7.22	77,137	愛知高原	45.12.28	21,705	耶馬日田英彦山	25.7.29	85,023
南三陸全華山	54.3.30	13,902	三河湾	33.4.10	9,763	志岐村馬	43.7.22	12,625
蔵王	38.8.8	40,089	鈴鹿	43.7.22	29,821	九州中央山地	57.5.15	27,096
男鹿	48.5.15	8,156	室生赤目青山	45.12.28	26,308	日豊海岸	49.2.15	8,506
鳥海	38.7.24	28,373	琵琶湖	25.7.24	98,144	祖母嶺	40.3.25	22,000
越後三山只見	48.5.15	86,129	明治の森箕面	42.12.11	963	日南海岸	30.6.1	4,643
水郷筑波	34.3.3	34,309	金剛生駒	33.4.10	15,564	奄美群島	49.2.15	7,861
妙義荒船佐久高原	44.4.10	13,123	水ノ山後山郡岐山	44.4.10	48,803	沖縄海岸	47.5.15	10,208
南房総	33.8.1	5,685	大和青垣	45.12.28	5,742	沖縄戦跡	47.5.15	3,127
明治の森高尾	42.12.11	770	高野竜神	42.3.23	19,213			
丹沢大山	40.3.25	27,572	比婆道後帝釈	38.7.24	7,808			

G-4 【世界の国立公園】

○世界で初めての国立公園は、アメリカ合衆国のイエローストーン国立公園で1872年に指定されました。1870年この地域を調査したウォシユバン・ランクフォード探検隊によって「国家のシンボルとなるような大自然は、国家の財産として現在及び未来の人々のために保護していく必要がある。永久的に国民の公園として管理するために国立公園として留保する」というアイディアが出され国立公園が誕生しました。

○それから間もなくオーストラリア、ケニア、カナダ、ニュージーランドなどで次々と国立公園が指定されました。これらの国は、新大陸の国で広大な原始地域があり、しかも国有地が多く公園の指定は容易でした。

○アジア、ヨーロッパ、日本など人口が多く古くから土地利用が進んでいた国では、アメリカ型の国立公園の指定は容易ではなく、独自の制度を設け20世紀に入ってから国立公園の指定が進みました。

○1985年現在、国立公園がある国は103か国1030か所、総面積は234,379,886ヘクタールです世界の全陸地面積の1.73%にあたります。

【世界の国立公園と日本の国立公園】

アメリカ・カナダ型国立公園（常造物公園）

国立公園の土地は原則として国有地で、国が公園専用地域として管理するもので、「常造物公園」と呼ばれます。日本でも、都市公園や環境庁が所管する国民公園（新宿御苑、皇居外苑、京都御苑など）は営造物公園です。

日本・イギリス型国立公園（地域制の公園）

日本の国立公園の中の土地は国有地、公有地あり、民有地もありで様々で、公園専用地域はごくわずかです。国有地であっても大半が国有林であるなど公園専用地域ではありません。このように土地の所有形態にかかわらず、法律によって一定の地域を指定し、自然の風致・景観を保護するために、各種行為を制限する制度で「地域制の公園」と呼ばれます。日本の自然公園は皆同じです。

○タンチョウ保護の歴史と天然記念物指定

1935：（昭和10年8月27日）釧路湿原のうち2,700ヘクタールが、史跡名勝天然記念物保存法に基づき「釧路丹頂鶴藩殖地」として天然記念物に指定される。

1952：（昭和27年3月29日）史跡名勝天然記念物保存法に代わって制定された文化財保護法に基づき、上記地域が「釧路のタンチョウ及びその繁殖地」として名称変更されるとともに、特別天然記念物に指定される。面積が2,749ヘクタールとなる。

1967：（昭和42年6月22日）タンチョウそのものが、生息地に関係なく特別天然記念物に指定される。

（昭和42年7月6日）天然記念物の地域は、4、02ヘクタールに拡大され、名勝「釧路湿原」となる。

○鳥獣保護区等の指定

1972：「タンチョウ」が特殊鳥類の譲渡等の規制に関する法律に基づく特殊鳥類となる。

1969：（昭和44年3月26日）天然記念物地域と同じ5,012ヘクタールが「鳥獣保護及び狩猟ニ関スル法律」にもとづき「国設クッチャロ太鳥獣保護区」が設定され、うち3,833ヘクタールが特別保護地区に指定される。

1989：（平成元年4月1日）鳥獣保護区が10,940ヘクタールに拡大され、うち特別保護地区が6,490ヘクタールとなり、名称が「国設釧路湿原鳥獣保護区」に変更される。

○ラムサール条約登録

1980：（昭和55年10月17日）鳥獣保護区5,012ヘクタールが「ラムサール条約」（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）の登録湿地に指定される。

1989：（平成元年7月6日）ラムサール条約登録面積が7,726ヘクタールに拡大される。

○国立公園の指定

1987：（昭和62年7月31日）釧路湿原と周辺丘陵地を含み、釧路市、釧路町、標茶町、鶴居村にまたがる26,861ヘクタールが、我が国28番目の国立公園、釧路湿原国立公園に指定される。

（同年10月1日）釧路湿原国立公園管理事務所開設（釧路市内）

G-6 【釧路湿原国立公園】

昭和62年7月31日、わが国28番目の国立公園として誕生した釧路湿原国立公園は釧路湿原の主要な部分16,552ヘクタールと湿原の東側のシラルトロ沼、塘路湖、達古武沼の海跡湖、及び周辺丘陵部を含み、釧路市、釧路町、標茶町、鶴居村の1市2町1村にまたがる26,861ヘクタールの区域です。この公演は、山、森と湖、海といった、それまでの国立公園の風景のタイプとは違って、湿原という、平野部に残された広大な水平的風景であることに その特徴があるといえます。環境庁の第2回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）によれば、釧路湿原はわが国最大の湿原で、その面積21,440ヘクタールはわが国に存在する湿原総面積の約60%を占めています。かつては全国的に分布していた平野部の湿原の多くが水田になり、あるいは市街地化するなどして分断され、消失していった中で、釧路湿原がなお我が国を代表するに足る傑出した自然の風景地としての資質を保っていたことも、国立公園指定の大きな理由になりました。

釧路湿原はまた、高層、中間、低層湿原それぞれに特徴的な植生が見られるばかりでなく、特別天然記念物のタンチョウはじめ、わが国最大の淡水魚イトウ、氷河期からの遺存種キタサンショウウオ、エゾカオジロトンボなど貴重な野生動物の生息地としても重要な地域でもあります。

釧路湿原国立公園土地利用現況

釧路湿原国立公園土地利用現況						
土地利用現況別公園面積表						
(単位：ha)						
区 分	原 野	森 林	水 面	農 地	そ の 他	計
公園面積	16,522	8,360	1,481	460	38	26,861
(%)	(61.5)	(31.1)	(5.5)	(1.7)	(0.2)	(100)

釧路湿原国立公園保護計画									
保護に関する方針									
本公園の核心部となる釧路湿原の優れた景観、豊かな自然性を厳正に保護することを主眼とする。									
塘路湖等の湖沼は湿原景観に変化を添える優れた景観構成要素であり、また、適正な利用の増進の観点からも重要であることから適切な保護を図る。									
湿原及び湖沼をとりまく丘陵地については、湿原と一体的な景観をなす風景の保護、湿原生態系の保護を図るための集水域の保全、展望利用のための良好な利用環境の確保等の観点から適切な保護を図る。									
地域地区別市町村別面積総括表									
(単位：ha)									
地 域 地 区		特 別 地 域					普通地域	合 計	
		特 保	第1種	第2種	第3種	小 計			
市町村名	北 海 道 釧路市	—	—	—	1,745	1,745	839	2,584 (9.6)	
	釧路郡釧路町	1,127	348	276	610	2,361	1,438	3,799 (14.1)	
	川上郡標茶町	2,617	869	1,885	2,891	8,262	3,731	11,993 (44.7)	
	阿寒郡鶴居村	2,746	552	1,198	1,519	6,015	2,470	8,485 (31.6)	
合 計		6,490	1,769	3,359	6,765	18,383	8,478	26,861 (100)	

釧路湿原国立公園保護計画

保護に関する方針

本公園の核心部となる釧路湿原の優れた景観、豊かな自然性を厳正に保護することを主眼とする。

塘路湖等の湖沼は湿原警官に変化を添える優れた景観構成要素であり、また、適正な利用の増

進の観点からも重要であることから適切な保護を図る。

湿原及び湖沼をとりまく丘陵地については、湿原と一体的な景観をなす風景の保護、湿原生態系の保護を図るための集水域の保全、展望利用のための良好な利用環境の確保等の観点から適切な保護を図る。

G-7 【自然公園の保護と利用】...①保護のための規制

自然公園については、その指定の目的である、自然の保護と利用の増進を図るための公園計画が定められ、これに基づいて、森林の伐採、建物の建築など、風致景観の現状を変更する行為を規制するとともに、利用のための施設などを整備する事業が計画的に行われる仕組みがとられています。

国立、国定公園の区域は、その風致景観を保護する必要性の度合いに応じて、特別保護地区、第一種特別地域、第二種特別地域、第三種特別地域及び普通地域に区分され、普通地域以外の区域（これを特別地域と総称します。）においてはその区域内の自然環境に影響を及ぼす行為、例えば立木の伐採、宅地の造成、工作物の設置などを行う場合には、環境庁長官あるいは都道府県知事の許可を受けなければなりません。

許可を必要とする行為の範囲や許可の基準は上記の区域の種類ごとに異なりますが、特別保護地区が最も強い規制を受けます。普通地域における行為については、許可を受ける必要はありませんが、事前に届け出を行うこととされています。

なお、都道府県立自然公園においては特別保護地区および海中公園地区の指定は行われませんが、それ以外については、条例により、国立、国定公園とほぼ同様な規制が行われています。

【参考】

自然公園（国立・国定公園）の特別地域の中では次にあげる行為をするときは国立公園では環境庁長官の、国定公園では都道府県知事の許可を受けなければなりません。

1. 工作物を新築し、改築し、または増築すること
2. 木竹を伐採すること。
3. 鉱物を掘採し、または土石を採取すること。
4. 河川、湖沼等の推移または水量に増減を及ぼさせること
- 4-2 環境庁長官が指定する湖沼または湿原及びこれらの周辺1キロメートルの区域内において当該湖沼もしくは湿原またはこれらに流水が流入する水域もしくは水路に汚水又は廃水を排水設備を設けて排出すること。
5. 広告物その他これに類するものを掲出し、若しくは設置し、または広告その他これに類するものを工作物等に表示すること
6. 水面を埋め立て、または干拓すること
7. 土地を開墾しその他土地の形状を変更すること
8. 高山植物その他これに類する植物で環境庁長官が指定するものを採取すること。
9. 屋根、壁面、へい、橋、鉄塔、送水管その他これらに類するものの色彩を変更すること。

また、特別保護地区の中では、上にあげた行為に加えて、次の行為をするときも許可が必要です。

1. 前条第3項各号に掲げる行為（上にあげた9つの行為の事です。）
2. 木竹を植栽すること

3. 家畜を放牧すること
4. 屋外に置いてものを集積し、又は貯蔵すること
5. 火入又はたき火をすること
6. 植物または落ち葉若しくは落枝を採取すること
7. 動物を捕獲し、又は動物の卵を採取すること
8. 道路及び広場以外の地域内へ車馬を入れること。

G-8 【自然公園の保護と利用】...②保護のための開発規制

私たちの国土の美しい自然は、私たちが祖先から引き継いだ国民共有の財産であり、私たちの世代だけが享受するものではなく、私たちの子孫にまで永く伝えるべきものと考えられます。

また、自然はひとたび破壊されると復元することが極めて困難なものです。

このような意味で、自然はかけがえのないものですが、とりわけ自然公園は、特に優れた自然の風景地として位置付けられたものですので、その自然環境に開発の手を加える場合は特に慎重な配慮が必要です。このため、自然公園においては自然景観の保護が特に必要な特別地域において、一定の開発行為の規制を行っているのです。

限られた国土に1億1千万人もの人々が生活している我が国では、自然公園内においても産業活動や生活利便のため道路や発電所の建設など各種の開発を求める声が常に聞かれます。このような場合にも自然保護との調整を図る観点から、それらが本当に必要なものかどうか、自然公園の区域以外に代替地を求めることができないか、開発の規模や方法などを自然との調和が図られるようにさらに工夫する余地はないかなどについて、慎重な検討を行う必要があります。

北海道立自然公園

(平成2年8月31日現在)

公園名	指定年月日	公園面積 (陸域のみ)	特別地域			普通地域
			第1種	第2種	第3種	
富良野芦別	昭和30.4.19	35,756 ha	5,158	15,232	10,902	4,464
厚岸	〃	21,523	2,227	5,178	12,580	1,538
檜山	35.4.20	17,013	—	524	—	16,489
恵山	36.6.1	2,637	453	108	2,076	—
野付風蓮	37.12.27	11,692	2,025	532	8,699	256
松前矢越	43.5.15	2,052	1,485	—	567	—
北オホーツク	〃	3,927	2,104	1,316	507	—
野幌森林公園	〃	2,052	281	927	704	140
狩場茂津多	47.6.23	22,647	10,286	3,190	9,125	46
朱鞠内	49.4.30	13,764	4,926	3,918	3,926	994
天塩岳	53.1.6	9,369	977	3,346	5,046	—
斜里岳	55.11.13	2,979	2,000	19	960	—
計 12ヶ所	—	145,411	32,102	34,290	55,092	23,927

自然公園における開発規制は土地所有者などが開発によって受けることを期待している利益を奪い、あるいは減少させることがあります。開発規制によって美しい自然が維持されればそれによって利益を受けるのは自然公園を利用する国民全体であり、開発規制は国民全体の利益、すなわち公共の利益のために行われるものと考えられますので、土地所有者の方々には規制に伴うある程度の負担については協力して頂く必要があるでしょう。しかし、その負担が著しく過大なものとなった場合には何らかの救済手段が必要です。

このような土地所有者の負担の軽減を図るため自然公園の特に重要な区域内の土地については固定資産税の減免の措置が講じられています。また、自然公園法では、国立、国定公園の特別地域内で開発行為が許可されなかったこと等によって損害が生じた場合には国がその損失を補償する規定を設けています。さらに、規制が厳しく、私権との調整が困難な国立、国定公園の特別保護地区や第一種特別地域の土地については、国の助成を受けて、都道府県がこれを買上げる道が開かれています。

以上のような開発規制に伴う負担の他にも、自然公園の快適な環境を維持していくためには、特別の費用を必要とする場合が少なくありません。

たとえば、多数の利用者が訪れる自然公園の主要な利用拠点においてはゴミなどの清掃が必要となり、このための費用をだれが負担すべきかという問題が生じます。これまでこのような費用は国や都道府県、市町村などの公的な負担や、地元関係業者などの負担によってまかなわれてきました。しかし、費用の増加とともに、自然公園の快適な利用によって利益を受ける利用者からも応分の負担を仰ぐべきではないかという考え方が出てきました。

このような考え方に従って昭和54年には財団法人自然公園美化管理財団が発足し、国立公園の公共駐車場の利用者からの協力料をもとに、周辺の美化清掃や公共施設の管理などの事業が始められています。

美しい自然に親しみたいと願う心は人間本来のものであるばかりでなく、きわめて大切なものですが、そのための自然の保護が、地元住民などの一方的な犠牲の上になりつつものであれば決して長続きするものではありません。

このような観点から、利用者の側の負担を含めた適切な費用負担の在り方を考えることは極めて重要な問題であると思われます。

自然公園は多くの人々によって利用されていますが、自然が長い歳月をかけて創り出した景観を、今生きている私たちが利用させてもらっているともいえます。私たちは自然公園を利用することによってこれをむやみに壊してしまわないようにする義務も負っています。

自然公園の利用は、一言でいえば、優れた自然の風景地において、澄んだ大気の中で、日ごろ疎遠になりがちな自然とふれあい、心身の保養、健康の増進を図るとともに、自然の中から多くの事を学ぶことにその本来の姿があるように思われます。

このような観点から、自然公園においては、できるだけ自分の体で、自分の目や耳で、直接に自然に接触することが望ましいと思われます。山や野を「歩き」、海で「泳ぎ」、キャンプなど自然の中で「泊り」、風景や鳥や植物を「見る」ことなどがその例としてあげられるでしょう。特に、自然に接触するためには、自分の足であることが基礎となるものですし、汗を流して山野を跋涉することによって得られる心身の爽快感はこれを味わった人には忘れられないものとなるでしょう。このような意味で「歩く」ことはいわば自然の扉を開き、自然との一体感を体得するために不可欠な行為であるといっても過言ではありません。

自然はまた私たちに生命の神秘を教えてくれる優れた教室です。自然公園においては、自然教育のための施設として、その地域にみられる動植物や地形、地質の特色などについて解説し、あるいは標本等を展示したビジターセンターや、散策しながら自然の姿や営みを観察するための自然研究路などの整備が進められているのでこれらの施設の積極的な利用が望まれます。

G-11 【自然公園の保護と利用】...⑤利用のための施設等の整備

自然公園の利用を促進するためには道路、駐車場、宿舎、ビジターセンター、キャンプ場などの施設が、周辺の自然環境を損なわないように、適切に整備される必要があります。このため、あらかじめ公園計画において、これらの施設の配置が認められ、個別の事業の実施にあたっては、それが適切なものであるかどうか、認可等によって確認されるしくみがとられています。

また、これらの施設のうち、道路、駐車場、ビジターセンター、キャンプ場などの公共的な施設は国や地方公共団体が整備します。ホテル、旅館などの有料施設については、国民休暇村や国民宿舎など公的機関が設置、運営するものもありますが、一般的に民間の業者が設置、運営を行っています。

なお、環境庁は、自ら公共的な施設の整備を行うほか、都道府県がこれを行う場合にも補助金を交付し、施設整備の促進に努めています。

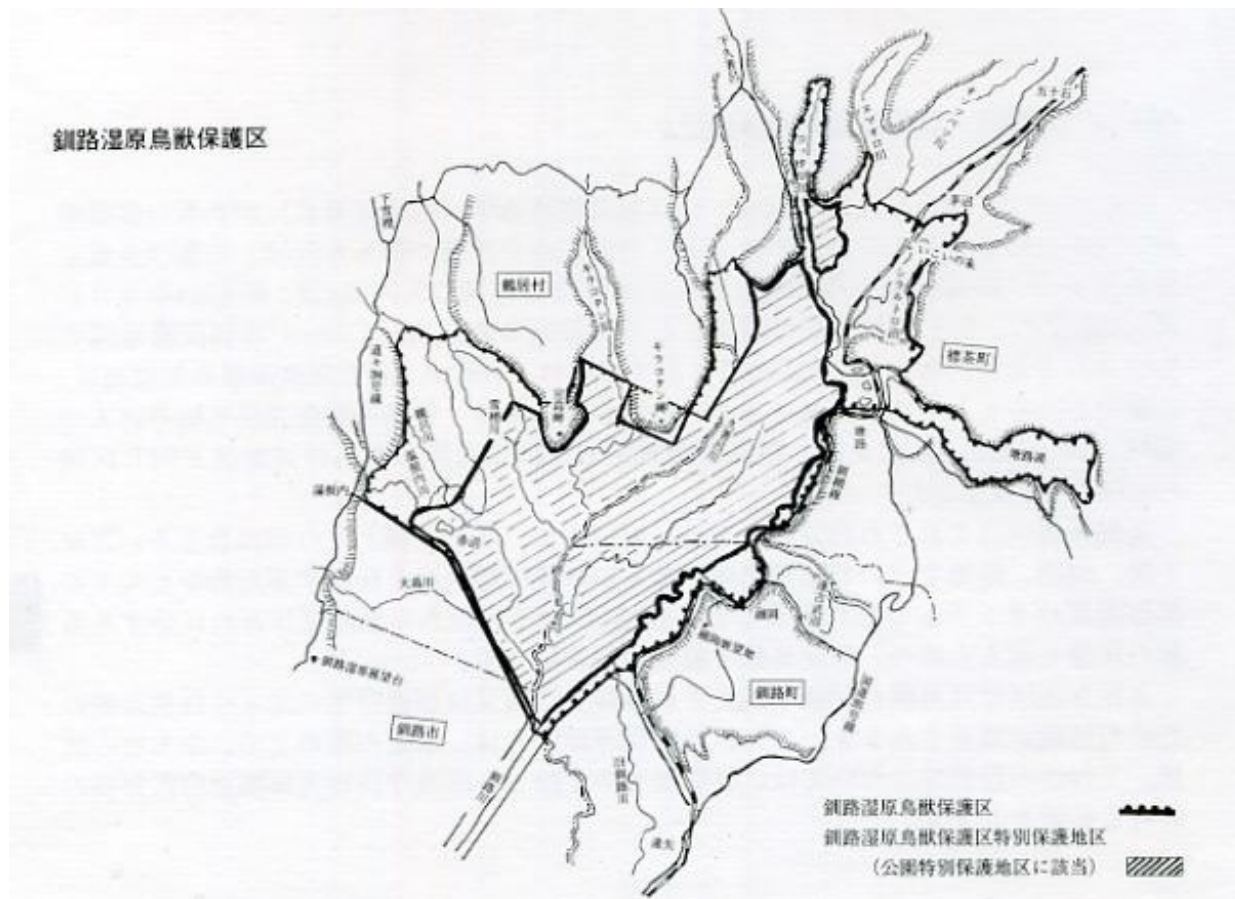
利用施設計画（釧路湿原国立公園）

施 設	位 置
園 地	釧路市(北斗)、釧路町(細岡)、標茶町(シラルトロ沼)、鶴居村(赤沼町)など12箇所
宿 舎	標茶町(シラルトロ沼)、鶴居村(宮島岬)
野 営 場	釧路町(達古武)、標茶町(シラルトロ沼)、標茶町(塘路)
舟 遊 場	標茶町(シラルトロ沼)、標茶町(塘路)
博物展示施設	標茶町(塘路)、鶴居村(温根内)
車 道	達古武沼線など9路線
歩 道	細岡岩保木線、シラルトロ塘路線
自 転 車 道	釧路湿原探勝線

長寿保護区は環境庁長官（国設）又は都道府県知事（都道府県設）が鳥獣の保護繁殖を図るため必要があると認めるとき「鳥獣保護及狩猟ニ関スル法律」に基づき設定されますが、釧路湿原の核心部、天然記念物地域と同じ5,012ヘクタールは、昭和44年3月26日「国設クッチャロ太鳥獣保護区」として設定され、内3,833ヘクタールが特別保護地区に指定されました。そして、平成元年4月1日には、名称が「国設釧路湿原鳥獣保護区」に変更されるとともに、それまでの「道設シラルトロ・塘路鳥獣保護区」も取り込んで、面積が10,940ヘクタールに拡大され、特別保護地区も、国立公園の特別保護地区と同じ区域6,490ヘクタールになりました。

鳥獣保護区はそれぞれ設定目的を持っています。多くの種とその個体数も多い森林、干潟、湖沼、湿地などの集団渡来地、あるいは集団繁殖地を保護するためなどですが、釧路湿原はタンチョウを対象とした「絶滅のおそれのある鳥獣又はそれに準ずる鳥獣の保護を図るための」特定鳥獣生息地の保護区です。

鳥獣保護区では鳥獣の捕獲が禁止されるほか、国又は都道府県によって保護繁殖のための施設が設置されます。また、特別保護地区では、水面の埋め立て、立木竹の伐採、工作物の設置等については、軽微なものを除き、環境庁長官又は都道府県知事の許可を必要とします。



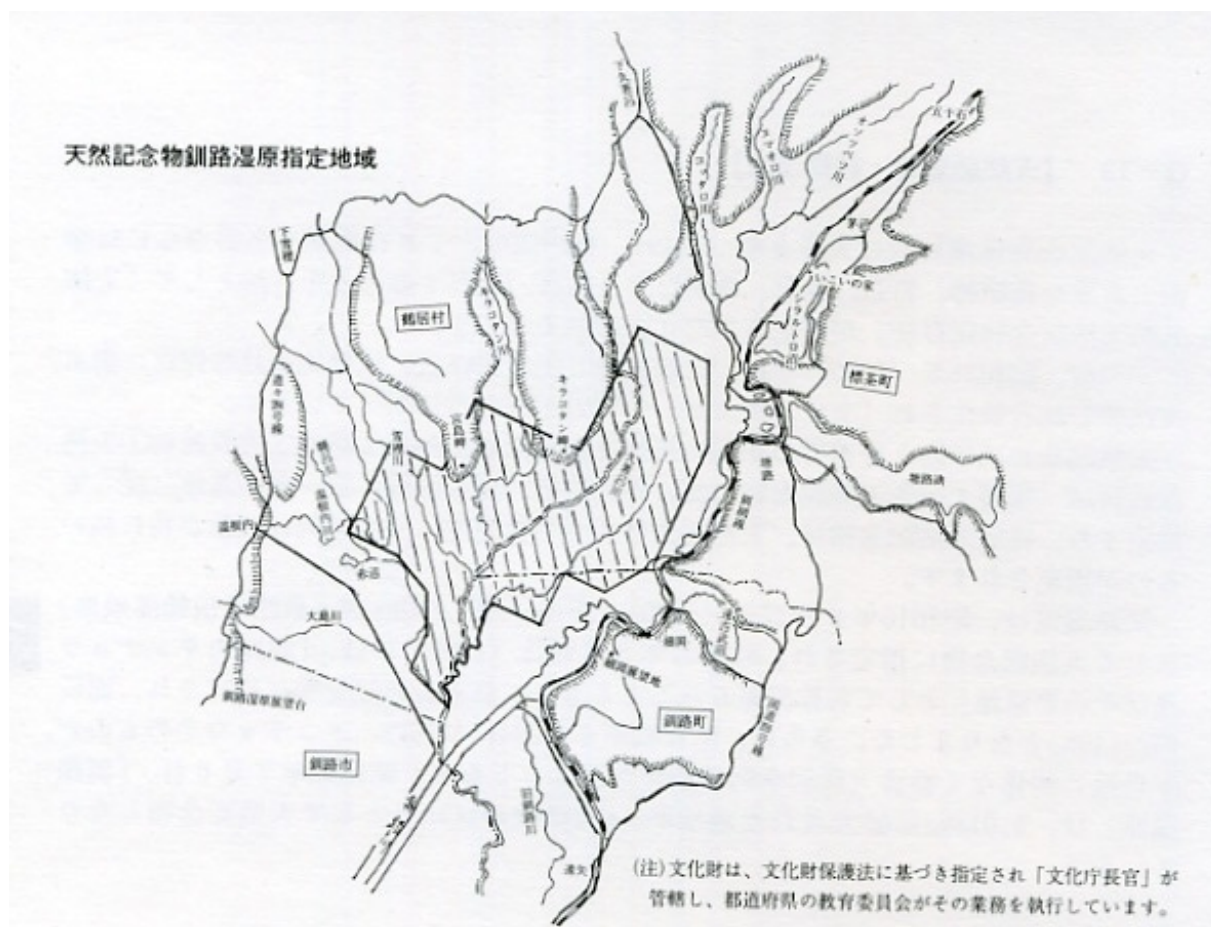
G-13 【天然記念物・釧路湿原】

天然記念物保護行政は大正8年（1919）、わが国のすぐれた風景や名勝さらには学術上貴重な動植物、岩石、地形、地質などを保護、保存することを目的として「史跡名勝天然記念物保存法」が制定されたことに始まります。

その後、昭和25年（1950）年に、この法律と国宝保存法、重要美術品等保存ニ関法律が統合強化され「文化財保護法」が制定され今日に至っています。

天然記念物は学術上貴重で我が国の自然を記念する①動物②植物③地質鉱物④天然保護区域(保護すべき天然記念物に富んだ代表的一定の区域)が一定の基準に従って指定され、特別天然記念物は、天然記念物のうち世界的に又国家的に価値が特に高いものが指定されます。

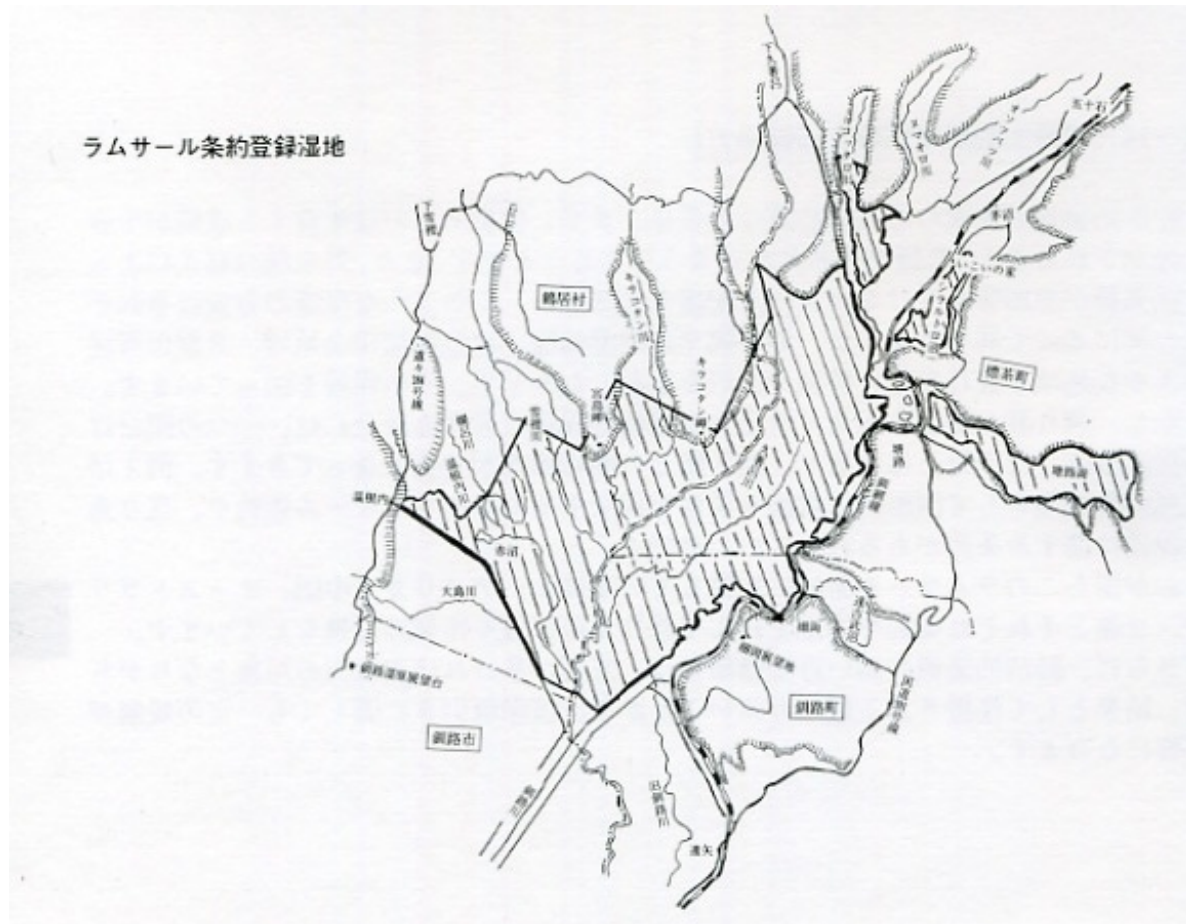
釧路湿原は、昭和10年8月27日（1935）、その一部2,700ヘクタールが「釧路丹頂鶴繁殖地」として天然記念物に指定され、昭和27年3月29日（1952）には「釧路のタンチョウ及びその繁殖地」として名称変更されるとともに、特別天然記念物に指定され、面積が2,749ヘクタールとなりました。さらに、昭和42年6月22日（1967）、タンチョウそのものが、生息地に関係なく特別天然記念物に指定されるとともに、昭和42年7月6日、「釧路湿原」は、5,012ヘクタールに拡大された地域が「天然保護区域」として天然記念物となりました。



野生動植物の保護のために必要な手段は、まず、生息あるいは生息する環境が十分に保全されること、乱獲が行われないようにすることです。また、外来種の移入によって在来種が悪影響を受けないような配慮も必要です。このような保護の対策はそれぞれの国によって異なりますが、わが国では自然公園、自然環境保全地域、鳥獣保護のような地域を設けたり、狩猟や採取を規制したりして、その保護を図っています。しかし、渡り鳥や国境を越えて生息する動物の保護を考える場合には、一つの国だけの保護措置では十分とはいえず、国と国との間の協力が必要となってきます。たとえば、水鳥の生息地として国際的に重要な湿地を保全するためのラムサール条約や、渡り鳥の保護に関する条約があるのもこのためです。

我が国も子のラムサール条約に加盟しているほか、アメリカ、中国、オーストラリア、ソ連とそれぞれ条約や協定を結んで渡り鳥の保護や情報の交換をしています。

さらに、経済的価値の高い野生動植物は、需要が多ければ商取引の対象となりがちで、結果として乱獲される恐れも強いことから、国際取引に関しても一定の規制が必要になります。



G-15 【ラムサール条約】 ...①

1. 正式名称：「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」

(The Convention on Wetlands of International Importance especially as Waterfowl Habitat)

この条約は1960年代に、湿地の保全に関心の深かったヨーロッパ諸国と国際水禽調査局（WRB）とによって何回か開催された国際会議で起草され、1971年2月2日にイランのラムサールという都市で開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」に参加した18か国が署名し採択されました。この条約が一般にラムサール条約と呼ばれるのはこのためです。

2. 生い立ち（なぜこの条約が作られたか）...湿地は地球上でもっとも生産力の高い生態系であるといわれ、何百種類もの水鳥はじめ、多種多様な生物にその住家を提供し、洪水や渇水を調節する天然の巨大なスポンジとしての役割も果たしています。

湿地はこのように生物学、水文学、そして経済学的にみても非常に重要な存在でありながら、ここ数10年間に世界上のいたるところで排水、干拓、汚染などによって驚くべき早さで姿を消してしまいました。「現在及び将来にわたって進行しつつある湿地の神職や消失を阻止する（条約前文）」ための国際的な協力体制を作り上げることを目的としてこの条約は作成されました。

[ラムサール条約加盟国]...地域別の締約国は次の通りです。このうちパナマは加盟しているものの加盟の際義務付けられている湿地を登録していません。

アフリカ：16か国...南ア、セネガル、モロッコ、チュニジア、モーリタニア、アルジェリア、ガボン、ニジェール、マリ、ガーナ、ウガンダ、エジプト、ギニアビサオ、ケニア、チャド、ブルキナファソ

アジア：8か国...イラン、パキスタン、ヨルダン、日本、インド、ネパール、ベトナム、スリランカ

東ヨーロッパ：6か国...ブルガリア、ソ連、ユーゴスラビア、ポーランド、ハンガリー、チェコ

西ヨーロッパ：18か国...フィンランド、ノルウェー、スウェーデン、ギリシャ、イギリス、スイス、ドイツ、イタリア、デンマーク、アイスランド、オランダ、ポルトガル、スペイン、オーストリア、アイルランド、ベルギー、フランス、マルタ

中南米：8か国...チリ、ウルグアイ、スリナム、ベネズエラ、グアテマラ、ボリビア、エクアドル（パナマ）

北米：3か国...カナダ、メキシコ、USA

オセアニア：2か国...オーストラリア、ニュージーランド

G-16 【ラムサール条約】 ...②

3. この条約に加盟している国（締約国）...この条約は、条約の規定によりオーストラリア、フィンランド、ノルウェー、スウェーデン、南アフリカ、イランに次いでギリシャが7番目の締約国となった4か月後の1975年12月21日に発効しました。日本が25番目の締約国（東西ドイツが統一されたので現在は24番目）となったのはそれから5年後の1980年10月17日です。この条約に加盟する際に最低1か所の湿地を「国際的に重要な湿地に係る登録簿（List of Wetland of International Importance）」に登録する義務がありますが、日本は釧路湿原を登録しました。現在（1990年10月）の締約国数は61か国（東西ドイツを統一ドイツとして）です。

4. 登録湿地数...1990年10月現在、全世界では508か所、総面積30万平方キロメートル以上の湿地が登録されています。登録湿地数のもっとも多い国は45か所のイギリスとイタリアでそれぞれの総面積は173,257ヘクタール、54,458ヘクタールです。総面積のもっとも大きい国はカナダで30か所12,937,549ヘクタールが登録されています。次いでオーストラリアの39か所4,477,861ヘクタール、ソ連の12か所2,987,185ヘクタールです。

日本は条約加盟の際、釧路湿原を登録しましたが、その後2か所の湿地を登録しています。

【わが国のラムサール条約登録湿地の概要】

名 称	所 在 地	面 積 (ha)	登 録 年 月 日
釧 路 湿 原	北 海 道 釧 路 町 標 茶 町 鶴 居 村	7, 7 2 6	1980. 10. 17 (1989. 7. 6 拡張)
伊 豆 沼 ・ 内 沼	宮 城 県 若 柳 町 迫 町 築 館 町	5 5 9	1985. 9. 13
ク ッ チ ャ ロ 湖	北 海 道 浜 頓 別 町	1, 6 0 7	1989. 7. 6
総 面 積		9, 8 9 2	

G-17 【渡り鳥保護の国際協力】

鳥類の多くは、非繁殖期を繁殖地から遠く離れた場所で過ごします。このように年に一度、繁殖地と非繁殖地との間を往来する季節的移動を「渡り」といい、渡りをする習性を持った鳥を「渡り鳥」と呼んでいます。渡り鳥は国境を越えてときに数千キロ数万キロの渡りをする種もいます。

我が国では渡り鳥やその生息環境の保護などを目的とした条約または協定をアメリカ、オーストラリア、中国及びソ連との間に締結し、国際協力に努めているほか、WRB（International Warefoel Research Bureau国際水禽調査局）などの国際機関による活動を通じ、他の国々と情報交換などを行っています。こうした国際協力によって、渡り鳥のたどるコース全体にわたって保護が行われています。

渡りのコースについての研究は、鳥を捕獲して足環などをつけ（バンディング）移動した場所で回収する標識調査、飛行機による追跡、レーダーによる探索など方法で行われています。日本では現在、環境庁が設置した全国55か所の鳥類観測ステーションを中心として、資格を持ったボランティアの人々の協力を得て、年間10万羽に標識の装着を行い調査しています。こうした調査によって、今日まで行先のわからなかった鳥や移動しないと考えられていた鳥についても、その実態が明らかになってきています。

日本に生息する鳥獣の種類

① 鳥 類

地区別	区 分	留 鳥	渡り鳥	渡り鳥の割合
北海道		51種	281種	84.6%
本州、四国、九州		88	345	79.7
琉球諸島		45	249	84.5
伊豆小笠原諸島		36	215	85.7

留 鳥—国内に常時生息しているもの。(スズメ、カラス、ウグイス等)

渡り鳥—
夏鳥……春季南方地域から繁殖のためわが国に渡来し秋季再び南方へ渡去するもの（ツバメ、カッコウ、オオルリ等）
冬鳥……秋季北方地域から越冬のためわが国に渡来し翌春再び北方へ渡去するもの（ツグミ、ガン、ハクチョウ等）
旅鳥……北方地域で繁殖し、南方地域で越冬するため、春秋の渡りの途次一時的にわが国に渡来するもの（シギ類、チドリ類等）
迷鳥……わが国には本来渡来しない種であるがアクシデントにより迷い込んできたもの（ハクガン、ミカドガン等）

② 獣 類（海獣を除く）

単位：種

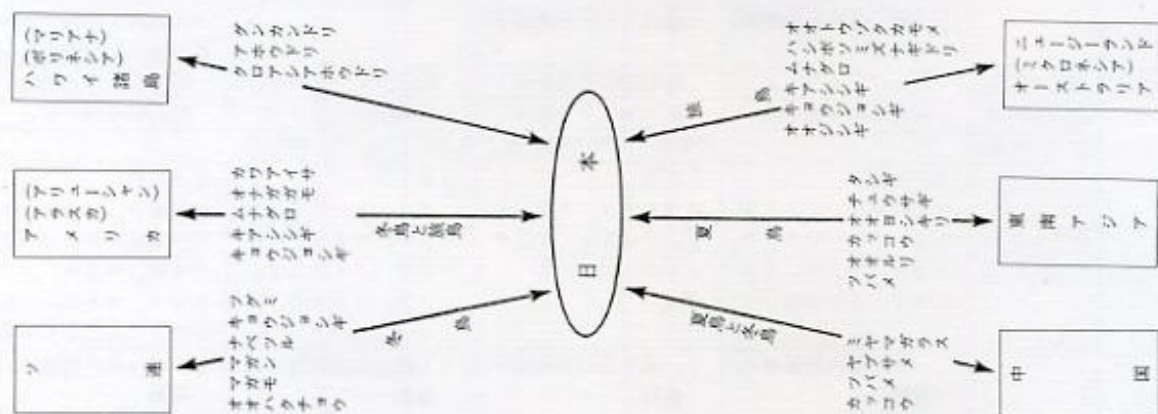
種類数	食虫目	翼手目	霊長目	兎 目	げっ歯目	食肉目	偶蹄目	計
	18	35	2	5	33	21	7	121

(注) 鳥獣法の適用対象獣は上表のうち79種であり、ネズミ、モグラ類は鳥獣法の適用外とされている。

G-18 【渡り鳥保護条約】

名 称	渡り鳥及び絶滅のおそれのある鳥類並びにその環境の保護に関する日本政府とアメリカ合衆国政府との間の条約 (日米渡り鳥等保護条約)	渡り鳥及び絶滅のおそれのある鳥類並びにその環境の保護に関する日本政府とオーストラリア政府との間の協定 (日豪渡り鳥等保護協定)	渡り鳥及びその生息環境の保護に関する日本国政府と中華人民共和国との間の協定 (日中渡り鳥等保護協定)	渡り鳥及び絶滅のおそれのある鳥類並びにその生息環境の保護に関する日本国政府とソヴェト社会主義共和国連邦政府との間の条約 (日ソ渡り鳥等保護協定)
署名年月日	昭和47年3月4日	昭和49年2月6日	昭和56年3月3日	昭和48年10月10日
発効年月日	昭和49年9月19日	昭和56年4月30日	昭和56年6月8日	昭和62年12月20日
存続期間	15年間 (その後は終了を通告しない限り継続。)			
対象とされる渡り鳥	190種 アホウドリ、ミズナギドリ、オオハクチョウ、マガン、マガモ、オジロワシ、タシギ等	76種 カツオドリ、キアシシギ、アジサシ、ゲンカンドエ、ツバメ等	227種 マガン、コハクチョウ、コガモ、オオワシ、イソシギ、ユリカモメ、ツバメ、ヨタカ等	287種 コクガン、マガン、オオハクチョウ、コハクチョウ、マガモ、オジロワシ、オオワシ、カラフトアオアシシギ等
主 要 内 容	1. 渡り鳥の捕獲等の規制 2. 絶滅のおそれのある鳥類の保護 3. 資料の交換等 4. 環境の保護	1. 渡り鳥の捕獲等の規制 2. 絶滅のおそれのある鳥類の保護 3. 資料の交換等 4. 環境の保護	1. 渡り鳥の捕獲等の規制 2. 資料の交換等 3. 環境の保護	1. 渡り鳥の捕獲等の規制 2. 絶滅のおそれのある鳥類の保護 3. 資料の交換等 4. 環境の保護

渡り鳥の移動図



G-19 【ワシントン条約って何】

ワシントン条約は正式名称を「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」(SITES: The Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora)といい、絶滅のおそれのある野生動植物の輸出入などについて一定の規制を国際協力のもとに実施することによりその目的を達成しようとするものです。1972年6月、ストックホルムで開かれた国連人間環境会議において出された「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保護を図るため、国際間の取引に関する条約の早期制定の韓国」を受け、国際自然保護連合(IUCN)が中心となり条約作成の準備が進められ、1973年にワシントンで開催された本条約採択会議で採択され、2年後の1975年に効力が発生しました。

我が国は、国内体制の整備や関連業界との調整のため加入が遅れ、1980年に加入しました1989年4月現在の締約国数は103か国です。

この条約は、国際取引の規制によって保護すべき野生動植物を、現在置かれている絶滅のおそれの状況に応じて3つのカテゴリに区分し、それぞれ付属書Ⅰ、付属書Ⅱ、付属書Ⅲに掲げ、付属書ごとに規制の内容を定めています。取引規制の対象は生死に関係なく、はく製やハンドバッグ、コートなどの加工品も対象となります。条約の主な内容は裏面の通りです。

ワシントン条約の規制の内容と主な対象動植物

	附 属 書 Ⅰ	附 属 書 Ⅱ	附 属 書 Ⅲ
附属書に掲げる基準	絶滅のおそれのある種で、取引により影響を受けるもの	現在は、必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を厳重に規制しなければ絶滅のおそれのある種となりうるもの	締約国が自国内の保護のため、他の締約国の協力を必要とするもの。
附属書に掲げられている主な種	ゴリラ、ジャイアントパンダ、トラ、シロナガスクジラ、クロサイ、コウノトリ、オジロワシ、タンチョウ、タイマイ、オオサンショウウオなど。 科として指定 4 属として指定 29 種として指定 469	ホッキョクグマ、アフリカゾウ、コビトカバ、ベニイロフラミンゴ、コハクチョウ、ヤイロチョウ、ラン類、ソテツ類など。 目として指定 7 科として指定 14 属として指定 34 種として指定 209	セイウチ(カナダ)カバ(ガーナ)アメリカダチョウ(ウルグアイ)など。 科として指定 5 属として指定 4 種として指定 73
規制の内容	商業目的のための取引は禁止されている。 学術研究用を目的とした取引は可能だが、輸出国、輸入国双方の政府の発行する輸出許可書及び輸入許可書が必要である。	商業目的の国際取引は可能だが輸出国政府の発行する輸出許可書が必要である。	商業目的の国際取引に際しては、輸出国政府の発行する輸出許可書又は原産地証明書が必要である。
許可の条件	○取引及びその目的が種の存続をおびやかすものでないこと。 ○法令に違反して入手したものでないこと。 ○生きたものの場合、輸送方法が適切であり、また、適切な収容施設等を備えていること。	○取引が種の存続をおびやかすものでないこと。	

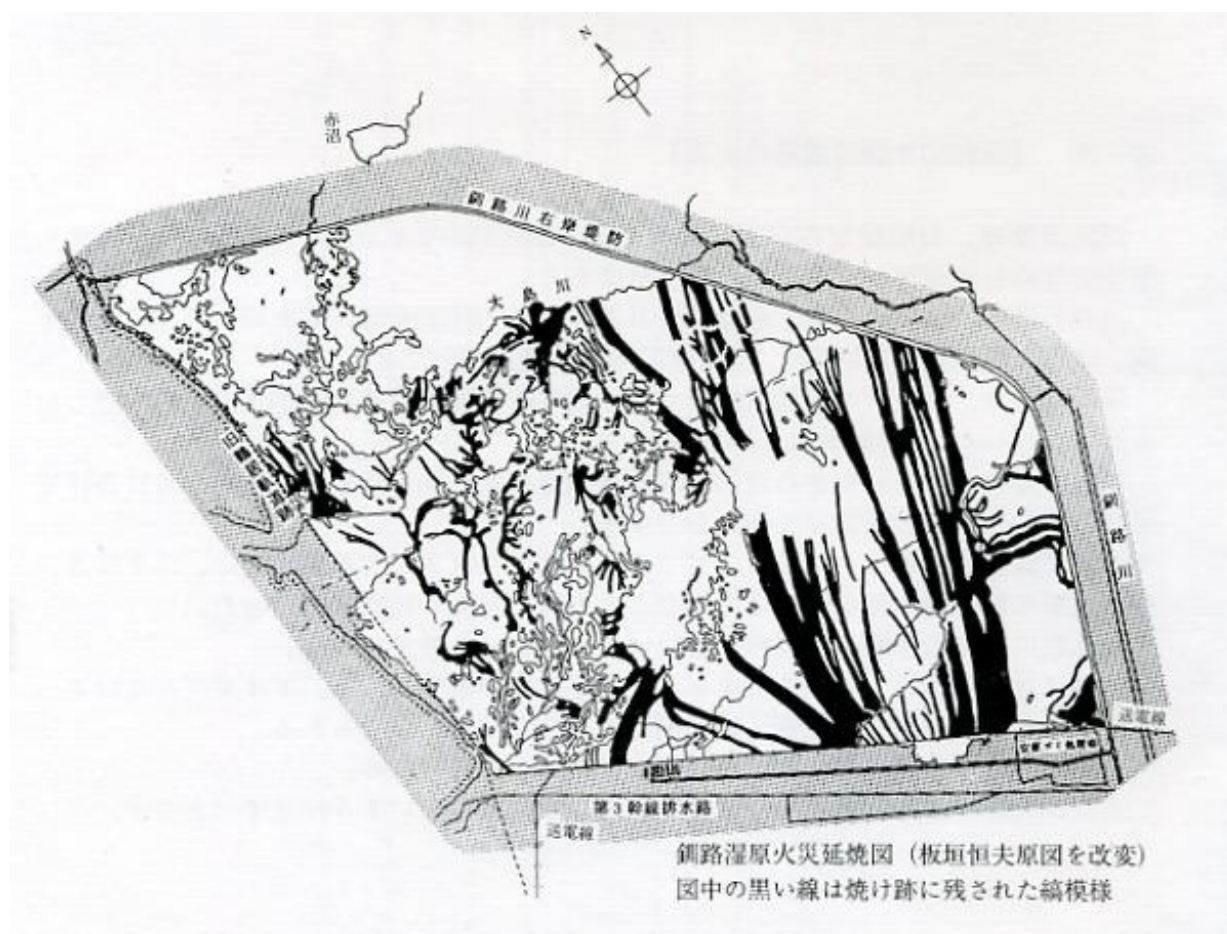
G-20 【昭和60年釧路湿原の火災】

釧路湿原は、公園指定の前昭和60年4月、南西部の約2,200ヘクタールが火災のため消失し、動植物等の自然環境への影響が心配されました。

失火の場所は釧路市安原、日時は4月30日午前10時30分頃、鎮火は5月2日午後午後1時、消失面積釧路市1,500ヘクタール、鶴居村700ヘクタールの計2,200ヘクタールです。出火原因は、たき火の不始末かタバコの投げ捨てと推定され、消火のため出動した人員は、延べ453人と記録されています。

環境庁では、火災にかかる自然環境影響緊急調査を同年10月から翌年1月にかけて実施しました。その要旨は次の通りです。

- ・植物に対する影響：ハンノキ、ヒラギシスゲ、カブスゲが影響を受け、スゲ群落、高層湿原の植生は火勢が弱まっていたこともあり強度の被害はなかった。
- ・哺乳類に対する影響：火災の影響はほとんどないと考えられる
- ・鳥類に対する影響：抱卵中のタンチョウ2か所が繁殖に失敗。アオサギのコロニーは無事。その他の鳥では定着、繁殖開始を遅延させたと考えられる。
- ・両生類及び魚類に対する影響：殆どないと考えられる。火災は人為によるものであり今後このようなことのないよう注意すべきです。



G-21 【釧路湿原の水利用】

釧路湿原と地域社会とのかかわりとして釧路川水系の水利用があります。水道用、工業用、養魚用などを用途目的とした水利権が設定されており、公園区域内では、釧路市水道用（1,356立方メートル）、十條製紙の工業用（2,500立方メートル）、旧日本国有鉄道の雑用（0.0048立方メートル）が岩保木から下流の釧路川から取水されています。これらのほか、水系上流では数多くの水利用がなされており深く社会生活とかかわっています。

水の直接利用のほかに河川利用として内水面共同漁業権の設定があります。これは「北海道内水面漁業調整規則」という規則によって漁業権者、区域、魚種などが決められています。公園区域にかかるものとしては表にあるとおり釧路市漁業協同組合、塘路漁業協同組合の2つがあります。

さけ・ます（さくらます（やまべを除く）・からふとます・べにます・ぎんます及びますのすけという）。は周年禁漁であり、やまべの禁止期間は釧路支庁管内では5月1日から6がウ30日までとなっています。

魚介類を捕獲することは自然公園法で規制されていませんが、釣りを楽しむ人と水の公共利用、水産動植物保護などから有害なものを捨てるなどして水質の汚染、環境を損なうことはしてはいけません。

内水面共同漁業権の設定状況

漁業権番号	漁業権者	漁場の区域	漁業種類	漁業名称	漁業期間	存続期間
釧内共第3号	釧路市漁業協同組合（阿寒川）	釧路市桜田12線、桜田橋上流端の線から下流の阿寒川本流の区域	第5種共同漁業	ししゃも漁業	1月1日～12月31日	昭58.9.1 昭68.8.31
釧内共第4号	釧路市漁業協同組合（釧路川、雪裡川、達古武川）	標茶町と釧路町の境界線から下流の釧路川本流の区域、達古武沼の流出口から下流の達古武川の区域及び雪裡川と幌呂川の合流点から下流釧路川までの雪裡川本流の区域。	第5種共同漁業	ししゃも漁業	1月1日～12月31日	昭58.9.1 昭68.8.31
釧内共第7号	塘路漁業協同組合（塘路湖、シラルトロ沼）	シラルトロ沼の区域、塘路湖の区域、エオルト沼の区域、ポント沼の区域、マクントウ沼の区域、サルト沼の区域及びこれらの湖沼に流入する河川の本流及び支流の区域並びにシラルトロ沼と塘路湖を連絡する河川の区域	第1種共同漁業	ひし漁業 たにし	1月1日～12月31日	昭58.9.1 昭68.8.31
			第5種共同漁業	えび漁業 はぜ わかざぎ こい		

毎年8月の第一日曜日は「自然公園クリーンデー」の日とされていますが、その経緯と趣旨は次の通りです。

昭和56年に自然公園制度50周年を記念して「国立公園クリーン作戦」を実施し、公園利用者の集中する地区において、関係者の協力を得て、大規模な美化清掃運動が展開されました。この運動は自然公園の美化清掃活動を推進するとともに一般の公園利用者に対して美化思想を普及させるという点で、大きな成果を上げました。この運動を契機に、58年度より「国立公園クリーンデー」を「自然公園クリーンデー」とし、広く自然公園を対象として本運動を実施することによって、自然公園の美化思想をより広く普及させることを目的としています。

行事の内容は、環境庁、道、市町村、関係諸団体、一般ボランティアなど広く関係者が協力の上、利用者の集中する地区を中心として、ゴミ持ち帰りの呼びかけ、地区の一斉清掃などのほか、地域の特性に応じ、創意工夫をこらした美化清掃運動を実施するものとしています。また、この運動を効果的にするため、広報活動を積極的に行うことにしています。釧路湿原でも国立公園指定後、北斗、細岡、塘路などを中心として実施してきましたが、今後も公園利用者はもちろん、地区の方々にも理解を得て快適な公園になるよう努める必要があります。

●ナチュラリストのためのフィールドマナー10ヵ条



G-23 【自然解説の目的と考え方】

自然解説の目的は、それぞれの自然が持っている資質を訪れる人々が正しく理解し、効果的に利用するようその手助けを行うことです。

その目的と考え方は次の「6原則」にまとめられます。

自然解説の6原則

- (1) 自然解説は対象者の考えの違いや経験の度合いを考えて行わなければならない。
- (2) 自然解説は、情報に基づいて行われる啓発であって知識を与えることではない。
- (3) 自然解説は、いくつもの部門を組み合わせた複合芸術です。
- (4) 自然解説のねらいは、教えることなく興味を刺激することである。
- (5) 自然解説は自然の一部でなく全体を解説するよう努め、またあらゆる人を対象にしなければならない。
- (6) 子供を対象にする場合は、やさしくするだけでなく違った観点から考えなければならない。

自然解説の心得

自然観察会などの指導者はよりフィールドマナーが求められます。次の事に注意しよう。

- 1. 服装は特に決まったものはないが、野外活動にふさわしいもの、自然の色に溶け合うものが適当です。
- 2. 筆記用具、地図、図鑑類のほか、雨具、ごみぶくろ、時刻表なども持っているとし便利であり、たばこを吸う人は必ず携帯用灰皿を持ち歩くようにします。
- 3. ナチュラリストは当然ながら自然保護の姿勢が求められます。自然を傷つけ、損ねる結果とならないよう言動に注意する必要があります。
- 4. 自らがその自然を好きなることが聞く人にそのことが伝わり理解してもらう早道でもあると言えます。
- 5. 公園内で不審な場面に出会った場合どうするか、違反行為かそうでないかをよく確かめることも大切ですが、相手は知らないでやっていることも考えられるので、なぜいけないかを教え、理解させ注意する姿勢でのぞみます。

G-24 【自然解説（観察）の実際】

A.自然解説をするのは。

1. 自然を好きになってもらう。（自然とのふれあいを通訳する。）
2. 自然は素晴らしいと感じてもらう。（自然が大好きな人間）
3. 自然は大切、守りたいと思う人を増やす。（自然の中の人間）

B.自然が大好き、自然に感動する人を増やすには。

1. まず、自分自身が心底から自然にふれ、楽しみ、自然好き人間になる。（「自然大好き病」の伝染力を強める）

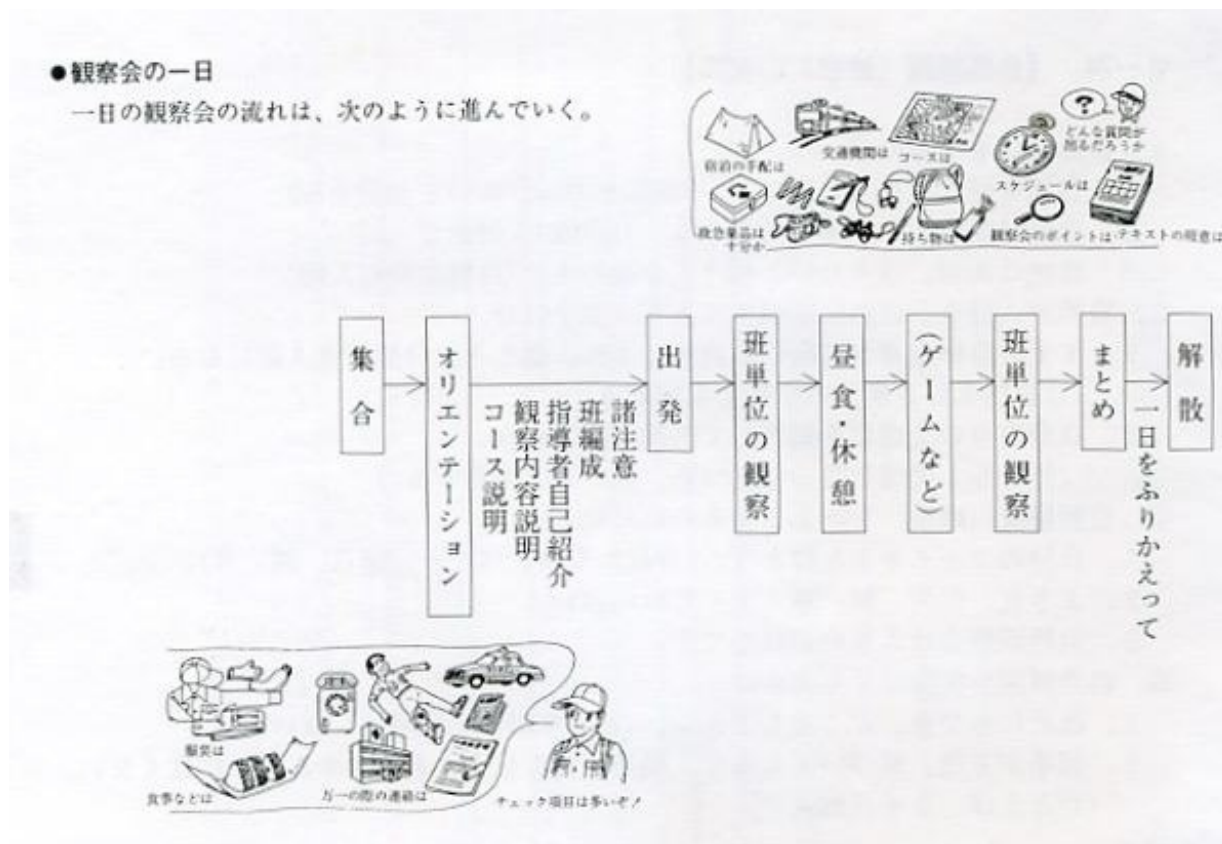
2. 自分自身の全感覚を動員して自然と向かい合う。（好奇心と愛情を持って見つめ、気づき、発見する。）

C.自然解説（観察）を向上させるためには。

1. 自分のフィールドを持とう。（身近なほどベター。毎日、週、月）
2. よき友、仲間、師、本etcとの出会い
3. 自然観察会は人集めが肝心です

D.自然解説を実際にするときには。

1. 誰にでもでき、どこでもできる。（あまり細かい説明はしない）
2. 相手が主役、気づいてもらう、発見してもらう、名前は簡単に教えない。（たとえばクイズ形式で）



[参考文献]

釧路叢書第11巻「釧路川」
釧路叢書第17巻「タンチョウの釧路」
釧路叢書第18巻「釧路湿原」
釧路叢書第14巻「釧根歳時記」
釧路叢書第16巻「釧路湿原」
滝田謙讓「東北海道の植物」
学研「日本の植生」
牧野「新日本植物図鑑」
犬養哲夫「北方文化研究報告」
田村道夫他「植物の系統と進化」
知里真志保「分類アイヌ語辞典」
合田勇太郎「釧路司法の植物総論」
荒澤勝太郎「釧路湿原の花」
養賢堂「家畜比較解剖図説」
保育社「原色日本哺乳類図鑑」
井上元則「北国の自然と野鳥」
世界文化社「生物大図鑑」
釧路地方気象台「釧路測候100年」
大日本図書「星座12か月」
東海林明雄「氷の世界」
北海道新聞社「北海道の地名」
角川書店「北海道地名大辞典」
北海道自然保護協会「森と私たち」
日本自然保護協会「自然観察ハンドブック」
北海道自然保護課「みんなのタンチョウ」
「青い星のツルたち」
新釧路市史、鳥取町史、鶴居村史、その他環境庁、国立公園協会、日本環境協会等資料、他。

釧路湿原ガイド

平成元年3月

環境庁釧路湿原国立公園管理事務所